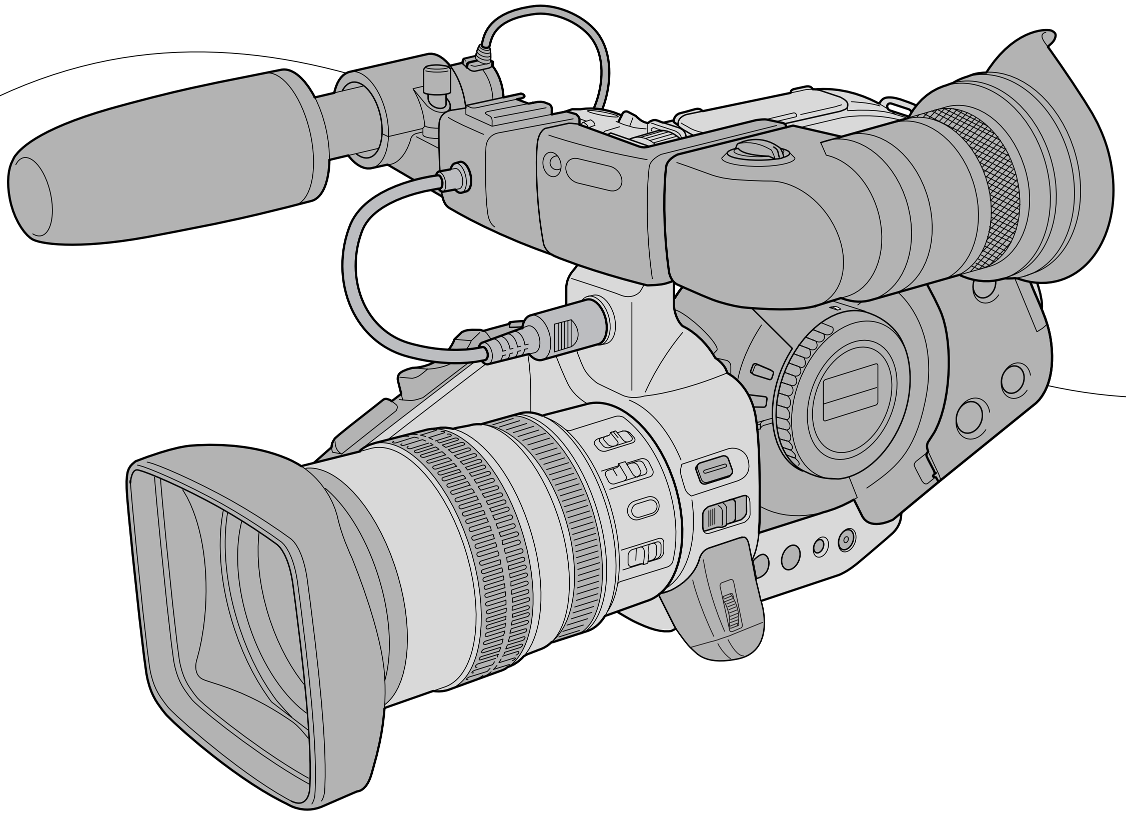
PUB. DIJ-108A

Canon

# DIGITAL VIDEO CAMERA

# XL1S





Mini DV Digital Video Cassette

# 使用説明書

**J 日本語版**

このたびはキヤノンXL1Sをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

**保証書別添付** 保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

**本書の表記について**

：関連のある操作が見出しになっています。

：表示の点滅を示しています。

# もくじ

## はじめに



## 準備編



## 撮影編

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

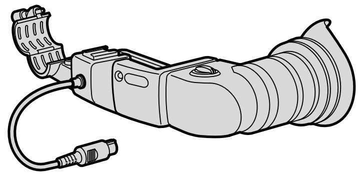
本機をパソコンと接続するときは、別売りのDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。

# 付属品をお確かめください

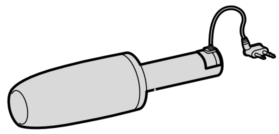
本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。
詳しい説明は（　）のページにあります。

※本機には、電源として、CA-910/DC-900またはCA-920/DC-920のいずれかが付属しています。

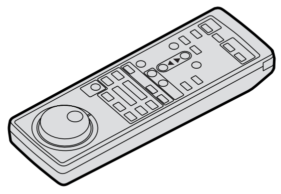
● ファインダー
（26ページ）



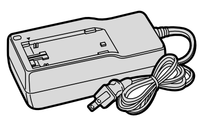
● マイク
（29ページ）



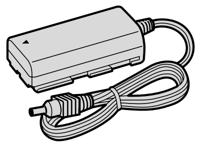
● リモコン
（ワイヤレスコントローラー）
WL-D3000（33ページ）



● コンパクトパワーアダプター
CA-910（21ページ）

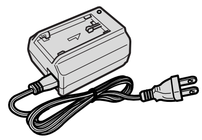


● 電源カプラー
DC-900（21ページ）

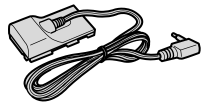


または

● コンパクトパワーアダプター
CA-920（21ページ）

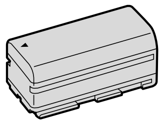


● 電源カプラー
DC-920（21ページ）

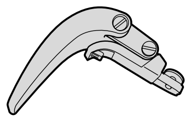


コンパクトパワーアダプター用電源コード

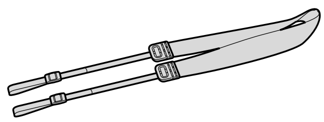
● バッテリーパック
BP-930（22ページ）



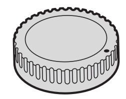
● ショルダーパッド
SP-100（31ページ）



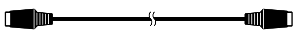
● ショルダーストラップ
SS-1000（31ページ）



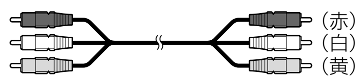
● マウントキャップ
（本体装着）（30ページ）



● Sビデオケーブル
S-150（109ページ）



● ステレオビデオケーブル
STV-150（109ページ）




● リモコン用単4乾電池2本
（33ページ）

● ボタン型リチウム電池
CR2025（32ページ）

# 必ずお読みください

**ためし撮り**
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

**録画内容の補償はできません。**
万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

**著作権について**
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

**本書内の写真について**
機能やファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

# 安全上のご注意

● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● 絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

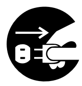
| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。 |

## ⚠ 警告

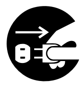
**●煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認してから、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですからおやめください。



**●本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。



**●本機器内部に水または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックを外してください。**
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。



**●本機器の外装を外さないでください。**
内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



## ⚠ 警告

●**本機器を分解、改造しないでください。**
発熱、火災、感電、けがの原因となります。

●**バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。**
皮膚の障害、失明、発火の原因となります。

●**雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。**
感電の原因となります。

●**本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないようにご注意ください。**
そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。

●**本機を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバータなどの電源に接続しないでください。また、240Vを超える電源に接続しないでください。**
火災、感電、けがの原因となります。

●**バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。**
⊕と⊖の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。
持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止端子カバーを取り付けてください。

●**バッテリーパック、乾電池、ボタン型リチウム電池などを分解や加熱をしたり、火や水の中へ投げ込まないでください。**
電池の破裂により、やけど、けがの原因となります。

●**ボタン型電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。**
万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| ●**自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。**<br>交通事故の原因となります。 | 🚫 |
| ●**撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。**<br>けがや交通事故の原因となります。 | ❗ |
| ●**海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。**<br>火災、感電の原因となります。 | ❗ |
| ●**海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。**<br>根元まで入れない場合、感電の原因となります。 | ❗ |
| ●**お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。**<br>感電、けがの原因となります。 | ❗ |
| ●**乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。**<br>感電、けがの原因となります。 | ⚠ |
| ●**バッテリーパックの充電は、指定されたコンパクトパワーアダプターなどの充電器を使用してください。**<br>それ以外のものを使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。 | ❗ |
| ●**電源コードに重いものを載せたり、また電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。**<br>電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。 | 🚫 |
| ●**電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。**<br>ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。 | ❗ |

## ⚠ 警告

**●バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。**
それ以外のものに使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

**●本機器や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。**
火災、けがの原因となります。

**●バッテリーパックを充電器や機器に接続するときに、プラス、マイナスの向きを確認してください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

**●本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

**●バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。

**●ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。**
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。

## ⚠ 注意

**●強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。**
破損により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となることがあります。

**●本機器や電源コードを、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。**
外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注意

**●直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上になる高温の場所で使用や放置しないでください。**
電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。高温の場所に放置しないでください。

**●充電するときは、0℃〜40℃の温度範囲で使用してください。**
低温または高温では、電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。

**●飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。**
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

**●指定されたコンパクトパワーアダプターやカーバッテリーアダプターを使用してください。**
DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、感電の原因となることがあります。

**●濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因となることがあります。

**●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

**●自動車からの電源でご使用の場合は、指定のカーバッテリーアダプターを使用してください。**
それ以外のものを使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

**●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま使用しないでください。**
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

**●テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。**
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

**●ＡＶケーブルを床の上に、はわせないでください。**
足を引掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

**●バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。**
緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。

**●ショルダーストラップを首または肩などにかけているときは、木や杭などに引っ掛からないようにご注意ください。**
転倒して、けがの原因となることがあります。

**●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**
火災、感電の原因となることがあります。

**●使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

**●コンパクトパワーアダプターは、目の届く安全な場所で使用してください。**

**●お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。**
けがの原因となることがあります。

**●指定された電池を使用してください。**
それ以外のものを使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**●コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。**
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となります。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

# 主な特長

## 画素ずらし方式による3CCD
27万画素CCDのG(緑)をハーフピッチずらすことで、高解像度と高感度を両立しました。

## XLマウント交換レンズ方式
3本の専用レンズに加え、EFレンズも使用可能。

## EFアダプター
別売のEFアダプターにより、EFレンズが使用可能。レンズの中央部のみを使用するため、画面周辺まで均一な高解像度とコントラストが良好な高画質が得られます。
※ 35mmフィルムと1/3インチCCDの結像面の大きさの違いにより焦点距離は約7.2倍相当になります（f値はかわりません）。
※ EFレンズではピント合わせはマニュアルになります。
※ マニュアルピント合わせのできないレンズは使用できません。

## スーパーレンジ手ぶれ補正機能
### (手ぶれ補正機能付きレンズ使用時)
レンズ単体だけでなく、CCD上での被写体のぶれを検知して手ぶれ補正を行うスーパーレンジ手ぶれ補正を採用。速い動きの車上撮影からゆっくりした動きの手持ち撮影まで効果的に補正します。

## ストロボ
別売の一眼レフカメラ　キヤノンEOS用E-TTLスピードライト420EX、550EXが使用可能です（フラッシュアダプターFA-200が必要です）。

## DV端子
1本のケーブルで音声、映像、コントロール信号をパソコン、ハードディスクユニットやほかのデジタルビデオ機器と通信が可能。しかもDV端子どうしを接続することで、画質、音質のほとんど劣化のないダビング編集ができます。

## 4チャンネル同時録音
12bit記録時には独立して4チャンネルを同時に録音可能。再生時にも独立して出力できます。

## 撮影モード
全自動、オート、Tv（シャッター優先）、Av（絞り優先）、マニュアル、スポットライトの6モードを搭載。

## ローアングル撮影
ハンドル部にもスタート/ストップボタン、ズームボタン、フォトボタンを搭載。ローアングル撮影も容易です。

## カスタムキー
さまざまな機能を2つの専用ボタンに設定できます（カメラモード、VCRモード独立）。

## クリアスキャン
パソコンの画面などを撮影するときに出る黒い帯を除去できます。

## カスタムプリセット
### (画質調整)
カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベルが調整可能。3通りの設定を記憶できます。

## ゼブラパターン
白とび警告のゼブラパターンが表示可能。表示レベルを5段階から選択できます

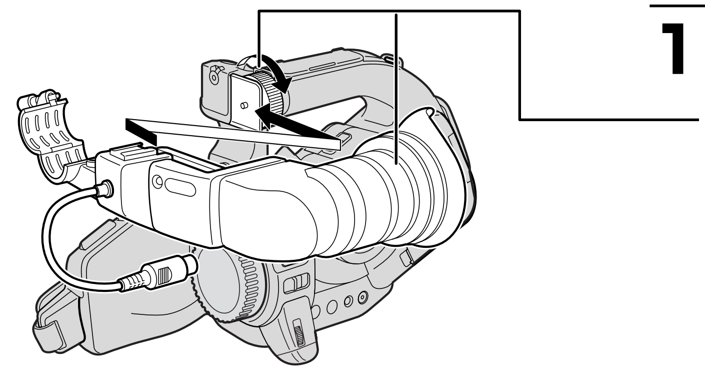
## VCRストップ
カメラモードで、任意にレコーダー部を停止可能。テープとヘッド保護のための5分タイマーに制限されずにカメラ部の設定ができます。

- インターバル撮影
- アフレコ
- アナログ入力
- AVインサート
- インデックス記録／サーチ
- DVコントロール

# システムチェック

本書では別売の16x IS Ⅱレンズと組み合せた場合で説明しています。

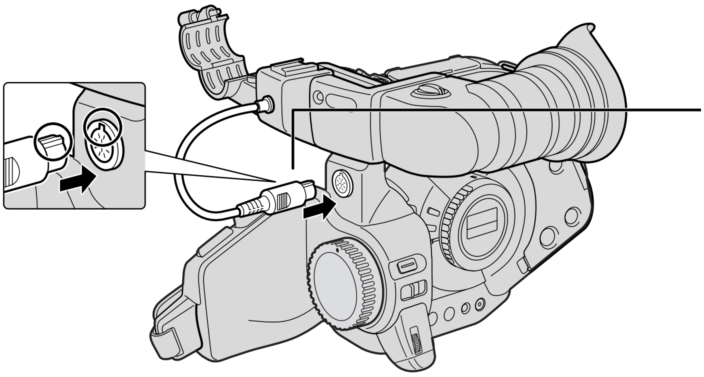
ご購入後、撮影などを始める前に本機が正常に動作することを確認してください。



## 1 ファインダーを取り付ける

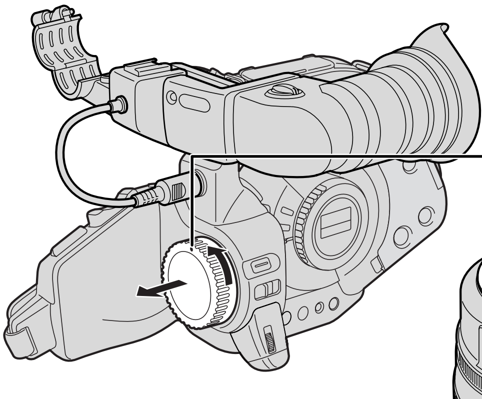
❶ ファインダー取り付け部にスライドさせて取り付け、固定ネジを回して

**固定する**



❷ ファインダーケーブルを

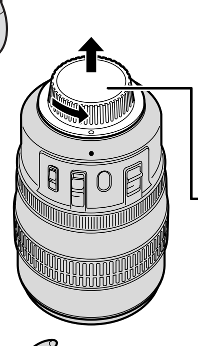
**接続する**



## 2 レンズを取り付ける

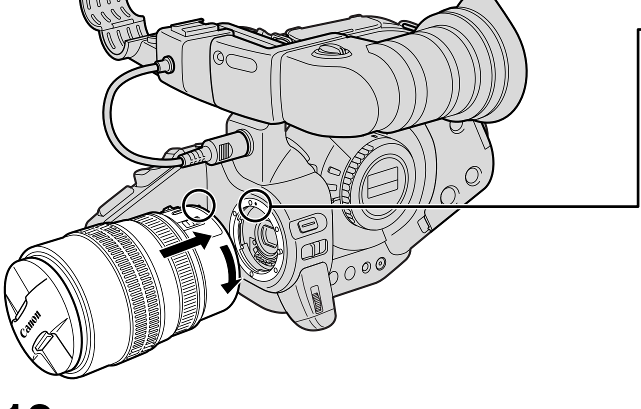
❶ 本機のマウントキャップを

**はずす**



❷ レンズのダストキャップを

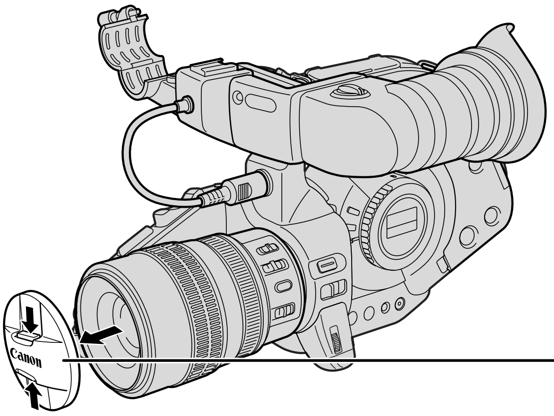
**はずす**





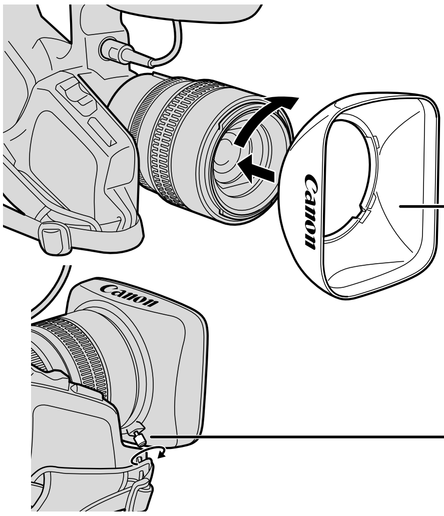
❸ 赤い指標に合わせ、レンズをはめ込み、時計方向にカチッと音がするまで回して

**取り付ける**




❹ レンズキャップを
**はずす**

❺ レンズフードを
**取り付ける**




❺-1 レンズ先端部にフードをはめ込み、Canon の文字が上にくるように時計方向に
**回す**

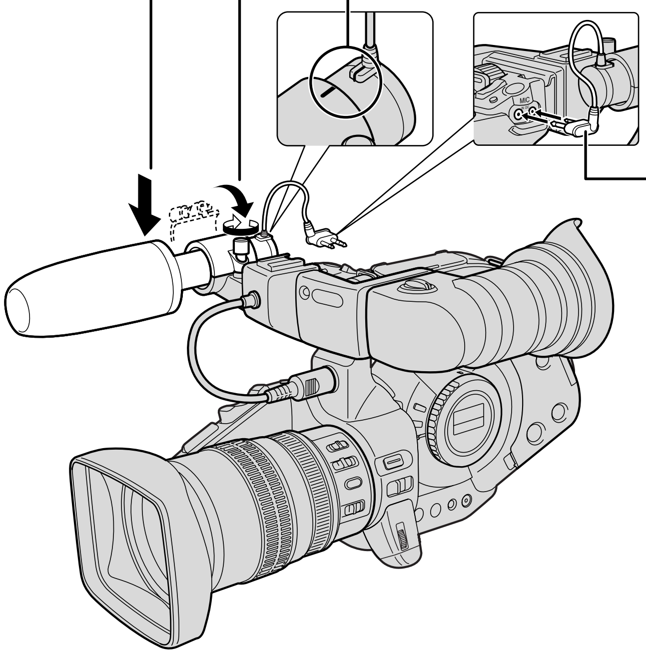
● フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

❺-2 固定ネジでフードを
**固定する**

はじめに

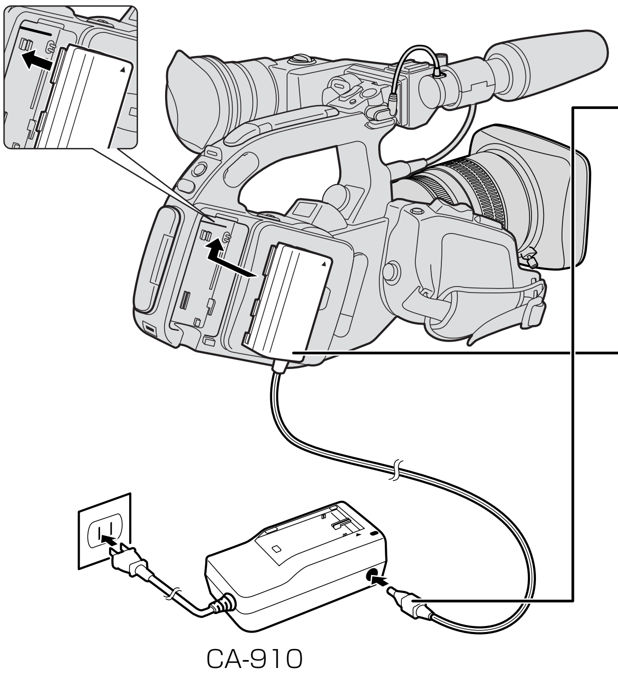
## 3 マイクを取り付ける

（マイク固定ネジをゆるめ、マイク取り付け部を開いておきます。）



❶ 指標を合わせ、取り付け部に差し込み、
**固定する**

❷ マイクケーブルを
**接続する**



CA-910

## 4 電源を取り付ける

❶ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに

**接続する**

❷ 電源カプラーの先端を、電源装着部のガイドラインに合わせ、押しつけながらカチッと音がするまで

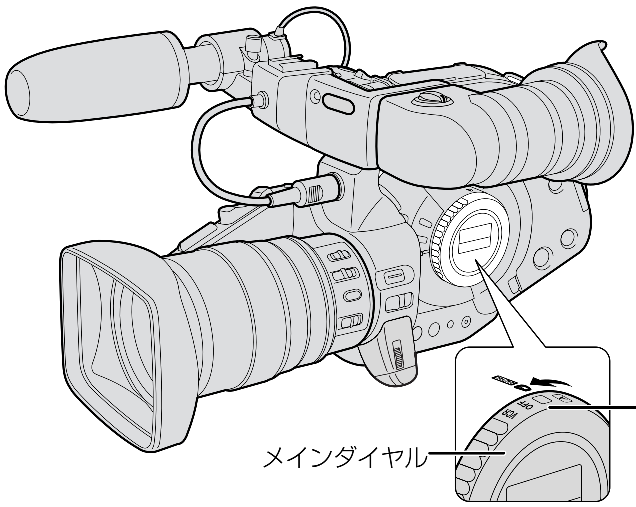
**スライドさせる**

❸ CA-910：コンパクトパワーアダプターをコンセントに

**接続する**

CA-920：コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、ACプラグをコンセントに

**接続する**



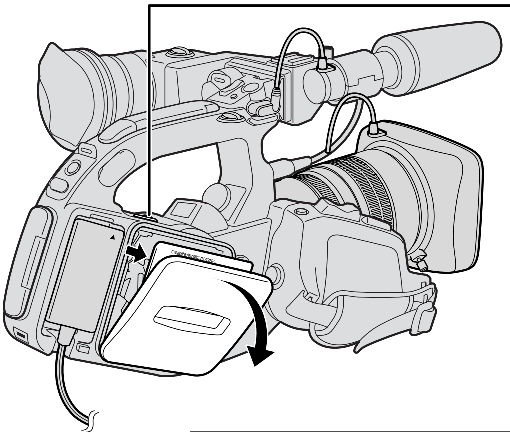

## 5 電源を入れる

メインダイヤルを回し、□に合わせる。

●電源ランプが点灯する。

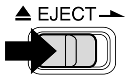
ファインダーに画像が映り、レベルメーターがマイクの音声入力レベルを表示する。

## 6 カセットを入れる

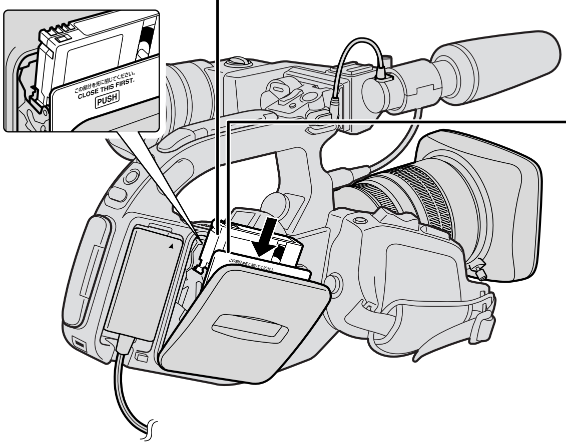


EJECTスイッチを

**スライドさせる**




●カセット入れカバーが開き、カセット入れが自動的に開く。



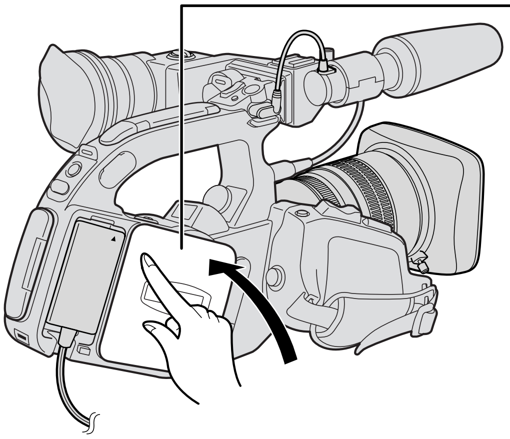

カセットを

**入れる**

●カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミがある面を上にして入れる。

**PUSH を押し、カセット入れを閉じる**

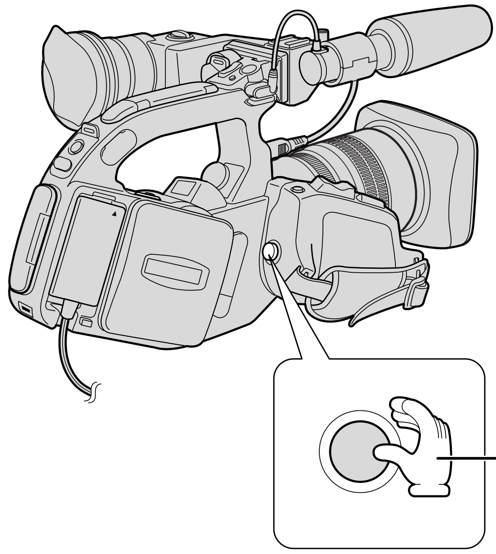
●カセット入れが自動的に収納される。



カセット入れが完全に収納されたら、カセット入れカバーを

**閉じる**

# システムチェック…つづき

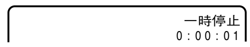


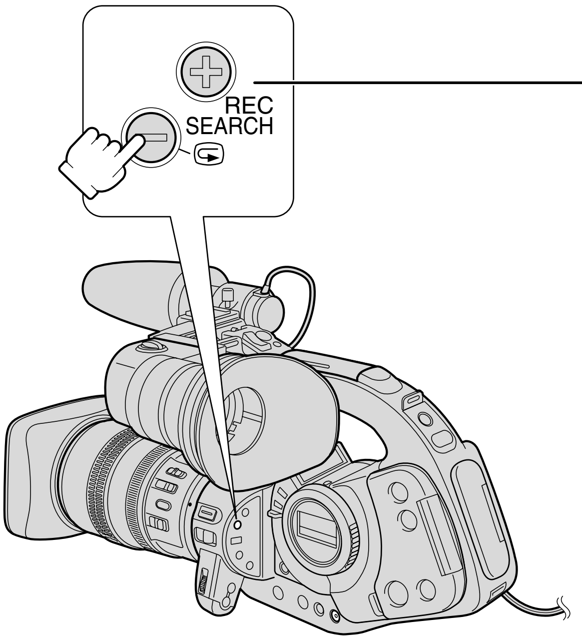
## 7 スタート／ストップボタンを押す

●撮影が始まり、ファインダーに「録画」が出る。




●録画ランプが点滅する。
もう一度スタート／ストップボタンを押すと、一時停止になる。




## 8 録画チェック⊜ボタンをポンと押す

撮影した映像をファインダーで確認できます。

### システムチェックの終了

**1**

❶EJECTスイッチを

**スライドさせる**

- カセット入れカバーが開き、カセット入れが自動的に開く。

❷ カセットを

**取り出す**

- PUSH を押してカセット入れを閉じ、カセット入れが完全に収納されたら、カセット入れカバーを閉じる。

## 2 メインダイヤルをOFFにする

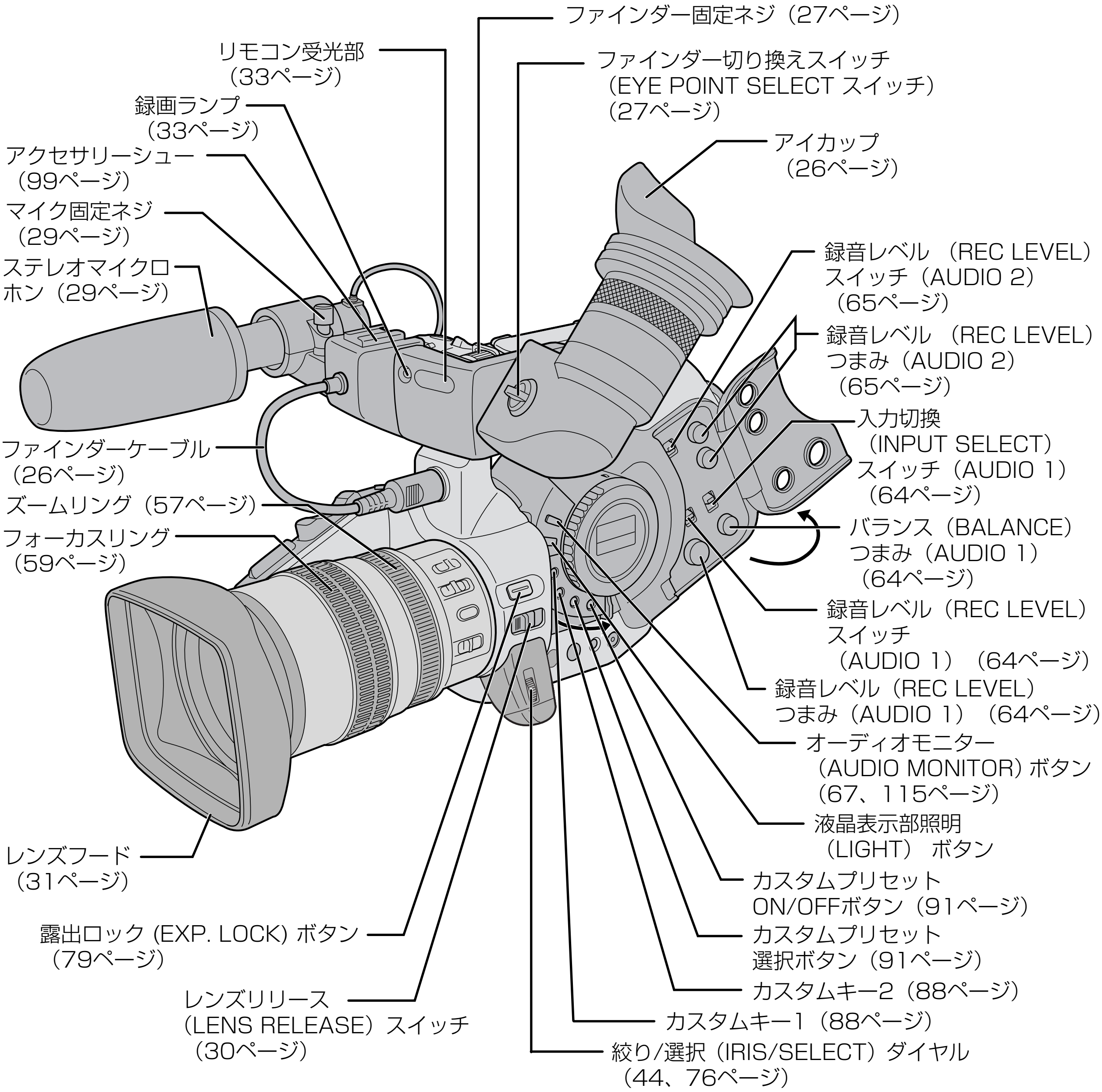
## 3 電源を取りはずす

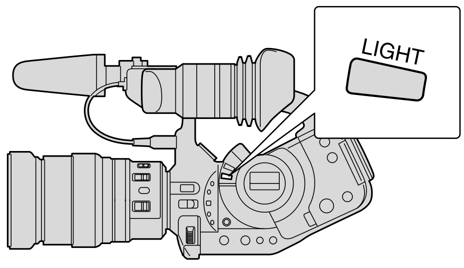
- BATT.RELEASEボタンを押しながら、DCアダプターをスライドさせて、はずす。

# 各部の名称

使い方の説明は(　)内のページにあります。

## 本　体



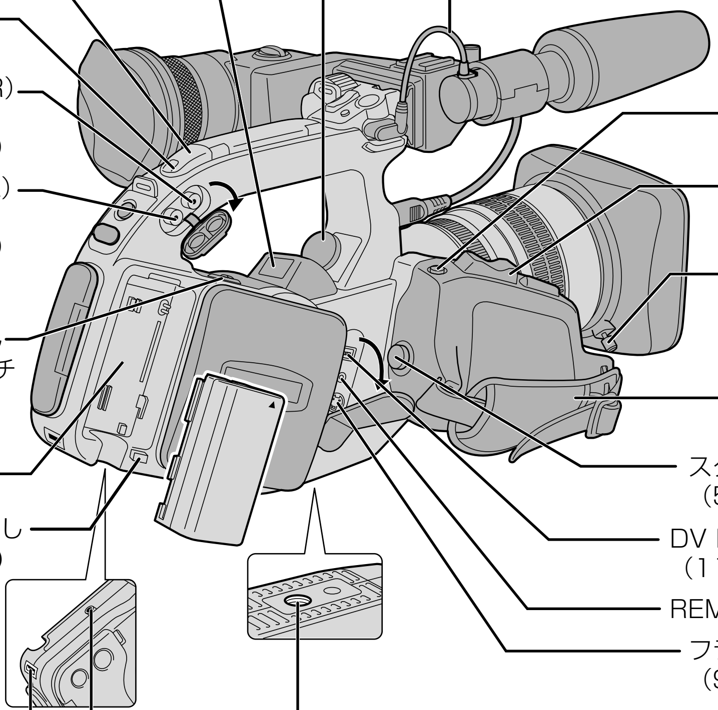

**液晶表示部照明（LIGHT）ボタン**

メイン、オーディオレベルメーター液晶表示部のバックライトの入／切を行います。

押すと、約10秒間バックライトが点灯します。

3秒以上押し続けると、ボタンを再度押すまでバックライトは点灯します。

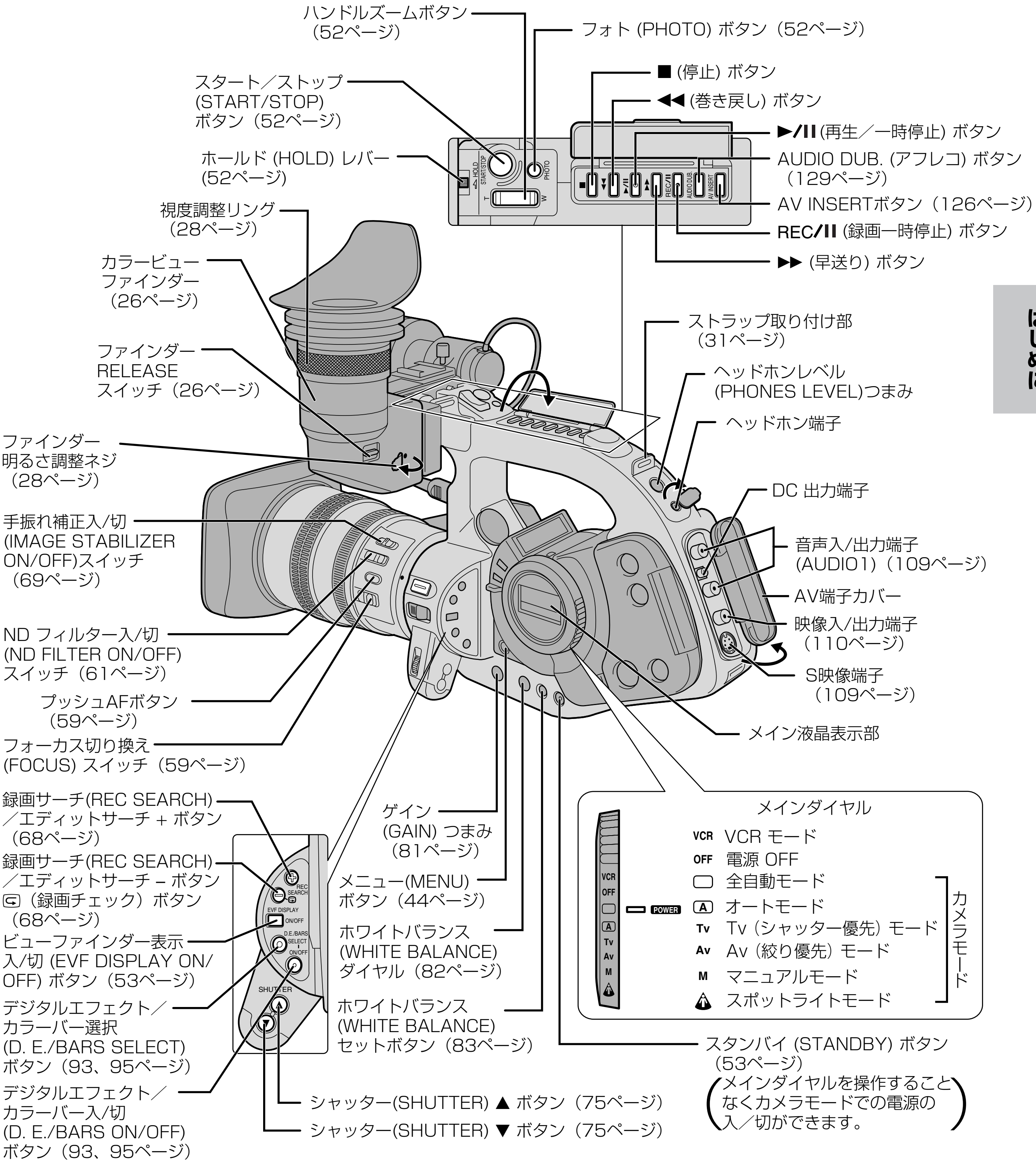
# 各部の名称…つづき



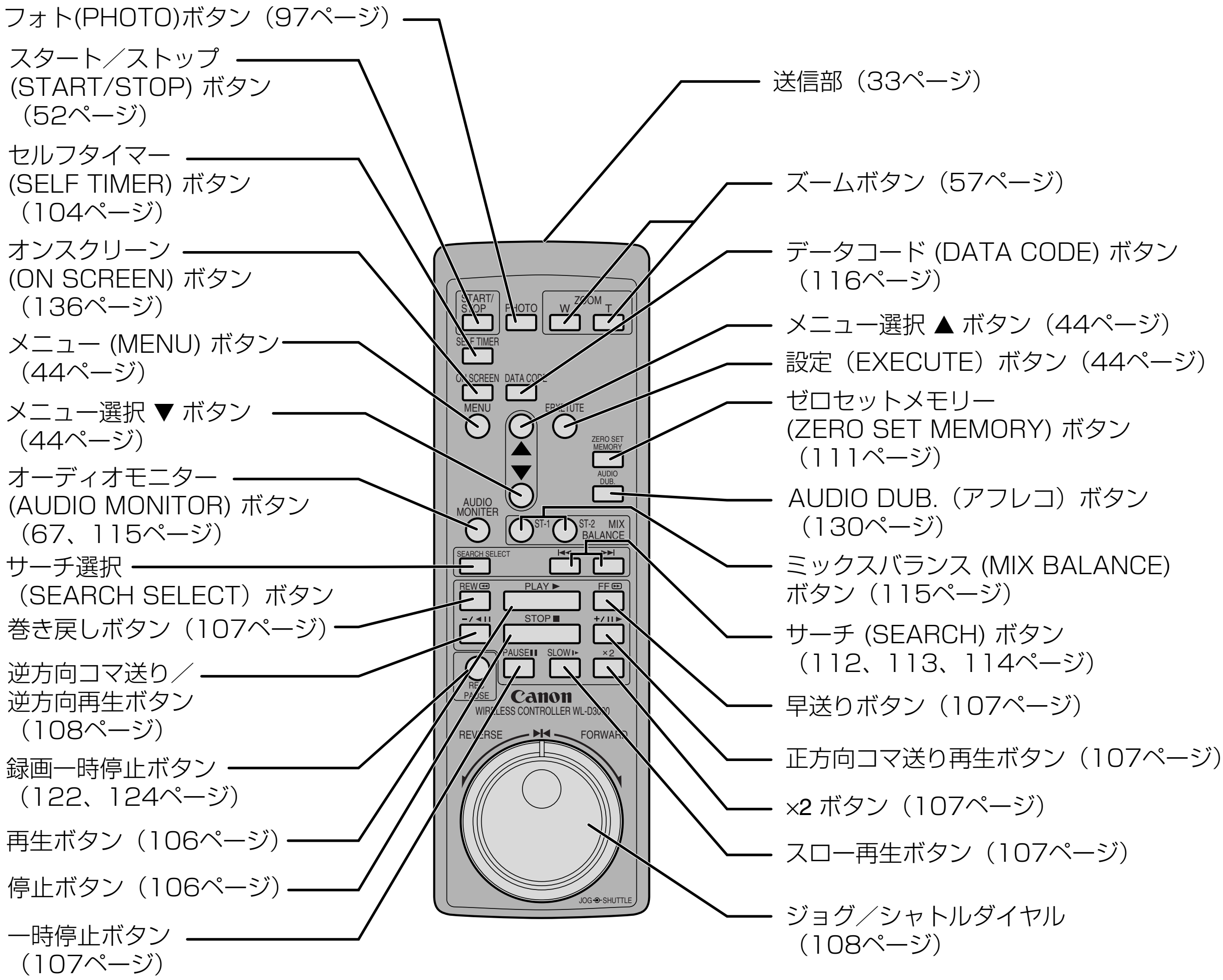

**マークについて**

は、LANC [Local Application Control Bus System （ローカル・アプリケーション・コントロール・バス・システム）]リモート端子のマークです。LANCリモート端子とは、ビデオ機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

- マークが表示されている機器と接続してください。
- 「LANC」ロゴおよび「LANC」マークは、商標です。
- LANCリモート端子で接続した周辺機器の操作ボタンの中には、動作しないもの、本機の動作と異なるものがあります。
- マークが表示されていない機器と接続した場合の動作については保証致しかねます。


ハンドルズームボタン（52ページ）
フォト (PHOTO) ボタン（52ページ）
スタート／ストップ (START/STOP) ボタン（52ページ）
■ (停止) ボタン
◀◀ (巻き戻し) ボタン
▶/II (再生／一時停止) ボタン
AUDIO DUB. (アフレコ) ボタン（129ページ）
ホールド (HOLD) レバー（52ページ）
AV INSERTボタン（126ページ）
REC/II (録画一時停止) ボタン
▶▶ (早送り) ボタン
視度調整リング（28ページ）
カラービューファインダー（26ページ）
ファインダーRELEASEスイッチ（26ページ）
ストラップ取り付け部（31ページ）
ヘッドホンレベル (PHONES LEVEL)つまみ
ヘッドホン端子
ファインダー明るさ調整ネジ（28ページ）
DC 出力端子
手振れ補正入/切 (IMAGE STABILIZER ON/OFF)スイッチ（69ページ）
音声入/出力端子 (AUDIO1)（109ページ）
AV端子カバー
映像入/出力端子（110ページ）
ND フィルター入/切 (ND FILTER ON/OFF) スイッチ（61ページ）
S映像端子（109ページ）
プッシュAFボタン（59ページ）
メイン液晶表示部
フォーカス切り換え (FOCUS) スイッチ（59ページ）
メインダイヤル
VCR VCR モード
OFF 電源 OFF
全自動モード
A オートモード
Tv Tv（シャッター優先）モード
Av Av（絞り優先）モード
M マニュアルモード
スポットライトモード
カメラモード
POWER
録画サーチ(REC SEARCH)／エディットサーチ + ボタン（68ページ）
録画サーチ(REC SEARCH)／エディットサーチ – ボタン
（録画チェック）ボタン（68ページ）
ゲイン (GAIN) つまみ（81ページ）
メニュー(MENU) ボタン（44ページ）
ビューファインダー表示入/切 (EVF DISPLAY ON/OFF) ボタン（53ページ）
ホワイトバランス (WHITE BALANCE) ダイヤル（82ページ）
デジタルエフェクト／カラーバー選択 (D. E./BARS SELECT) ボタン（93、95ページ）
ホワイトバランス (WHITE BALANCE) セットボタン（83ページ）
スタンバイ (STANDBY) ボタン（53ページ）
（メインダイヤルを操作することなくカメラモードでの電源の入／切ができます。）
デジタルエフェクト／カラーバー入/切 (D. E./BARS ON/OFF) ボタン（93、95ページ）
シャッター(SHUTTER) ▲ ボタン（75ページ）
シャッター(SHUTTER) ▼ ボタン（75ページ）

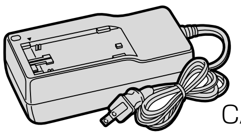
## リモコン　WL-D3000（33ページ）



# AC電源で使う

## コンパクトパワーアダプター CA-910/CA-920

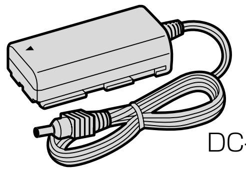
コンセントに接続して使用します。
（入力電圧はAC100～240Vまで対応しています）



CA-910

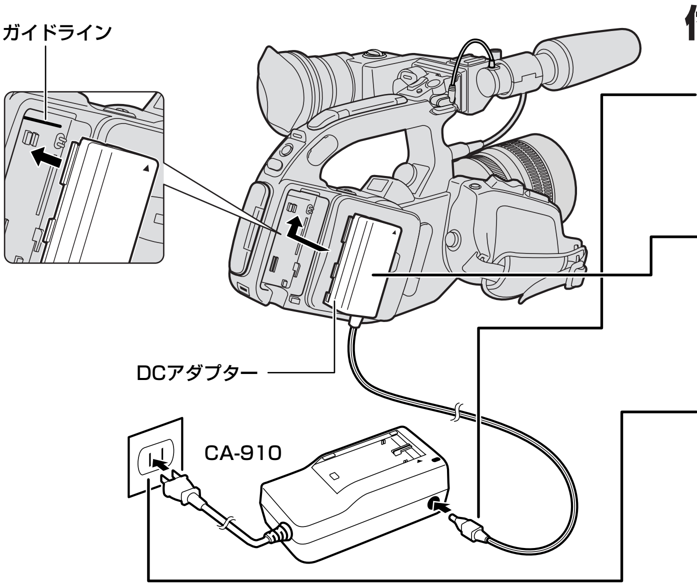
## 電源カプラー　DC-900/DC-920

コンパクトパワーアダプターやカーバッテリーアダプターに接続して使用します。



DC-900

## 使い方

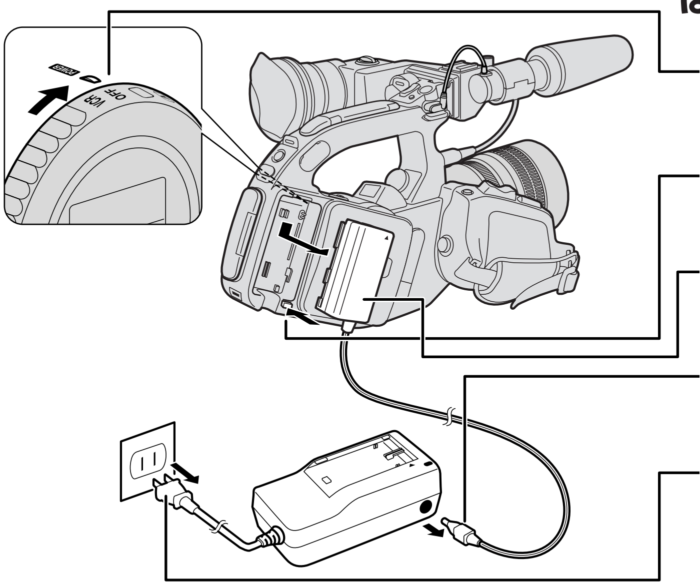



### 付けかた

❶ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターに
**接続する**

❷ 電源カプラーの先端を、電源装着部のガイドラインに合わせ、押しつけながらカチッと音がするまで
**スライドさせる**

❸ CA-910：ACプラグをコンセントに
**接続する**
CA-920：コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、ACプラグをコンセントに
**接続する**



### はずしかた

❶ ビデオカメラの電源を
**切る**

❷ BATT. RELEASEボタンを
**押しながら**

❸ 電源カプラーをスライドさせ
**はずす**

❹ 電源カプラーをコンパクトパワーアダプターから
**抜く**

❺ CA-910：ACプラグをコンセントから
**抜く**
CA-920：ACプラグをコンセントから抜き、電源コードを
**抜く**

**テレビの近くで使うときは**

● テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用するとテレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。

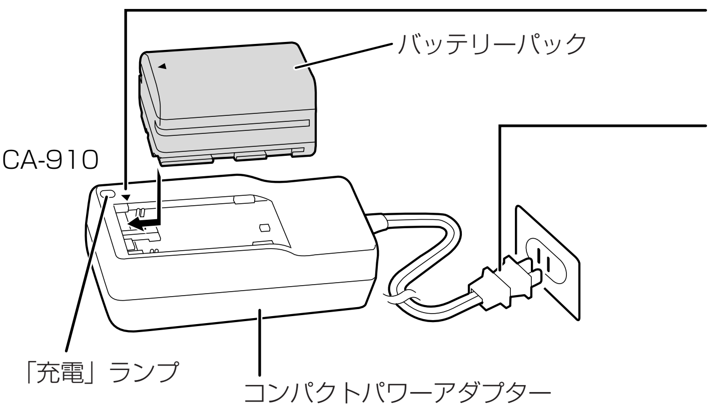
# バッテリーパックで使う

## バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電にはコンパクトパワーアダプターCA-910/CA-920を使用します。
別売のデュアルバッテリーチャージャー／ホルダーCH-910では2個のバッテリーパックを連続充電できます。また、充電したバッテリーパックを装着（2個まで）することにより、本機への給電ができ、しかも本機を使用したままバッテリーパックを交換できます。

### 充電のしかた

● バッテリーパックを充電する時は、電源カプラーをコンパクトパワーアダプターからはずしてください。




**1 充電する**

❶ ▼にバッテリーパックの先端を合わせて、押しつけながらカチッと音がするまで、
**スライドさせる**

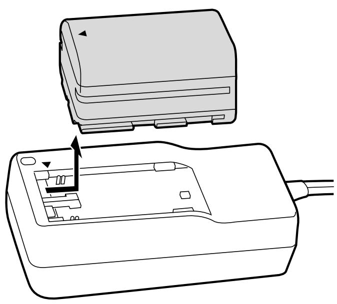
❷ CA-910：ACプラグをコンセントに
**接続する**

CA-920：コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、ACプラグをコンセントに
**接続する**

●「充電」ランプが点滅して、充電が始まる。

ランプの点滅／点灯が充電した量を示します。

0～50%　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50～75%　：約1秒間隔で2回ずつ点滅
75%以上　：約1秒間隔で3回ずつ点滅
100%　：点灯
※表示は目安です。



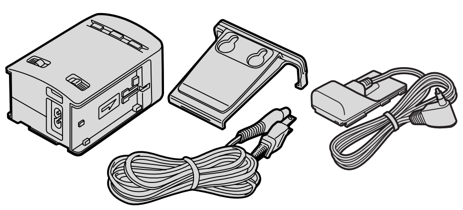
**2 「充電」ランプが点灯したら充電終了**
**スライドさせて取りはずす**

バッテリーパックの連続使用時間*とコンパクトパワーアダプターCA-910/CA-920を使用した場合の充電時間は次のとおりです。

| バッテリーパック | 使用時間 | 充電時間 |
|---|---|---|
| BP-930 | 約115分 | 約210分 |

*16×ズーム XL5.5-88mm IS Ⅱ使用時

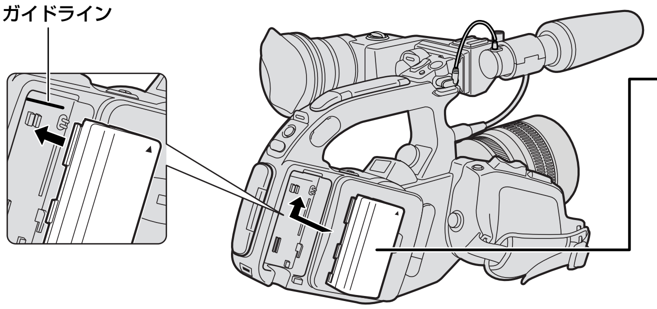
デュアルバッテリーチャージャー/ホルダー
CH-910（別売）



**バッテリーパックの残量を知りたいときは**

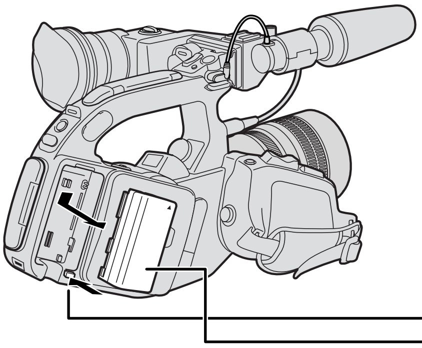
● コンパクトパワーアダプターに取り付けたときの「充電」ランプの点滅のしかたで、バッテリーの残量を確認できます。

## バッテリーパックの付けかた／はずしかた




### 付けかた

❶ バッテリーパックの先端を、電源装着部のガイドラインに合わせ、押しつけながらカチッと音がするまで
**スライドさせる**



### バッテリーパックのはずしかた

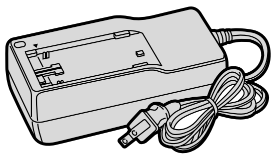
❶ BATT. RELEASEボタンを
**押しながら**

❷ バッテリーパックをスライドさせて
**はずす**



## コンパクトパワーアダプター　CA-910

※コンパクトパワーアダプターCA-920のおもな仕様は151ページをご覧ください。

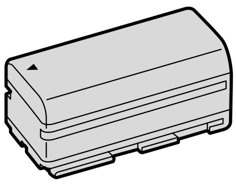


CA-910

**おもな仕様**

| | |
|---|---|
| 電　　源 | AC 100V-240V、50/60Hz |
| 出力電力／消費電力 | アダプターモード：6.0V、1.7A DC<br>チャージモード：8.4V、1.2A DC |
| 使用温度 | 0℃～+40℃ |
| 外形寸法 (幅×高さ×奥行き) | 約63×127.5×43㎜ |
| 本体質量 | 約310g |

## バッテリーパック　BP-930



BP-930

**おもな仕様**

| | |
|---|---|
| 使用電池 | リチウムイオン蓄電池 |
| 使用温度 | 0℃～+40℃ |
| 公称電圧 | DC7.2V(最大電圧DC8.4V) |
| 容　　量 | 3000mAh |
| 外形寸法 (幅×高さ×奥行き) | 38.2×39×70.5㎜ |
| 質　　量 | 約190g |

※仕様および外観は予告なく変更することがありますがご了承ください。

**バッテリーパックは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電流は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。また、温度の低い場所で撮影する場合も、使用時間が短くなります。
撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意していただくことをおすすめします。撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。スタンバイボタンでこまめに電源を切ることが使用を長くさせるコツです。

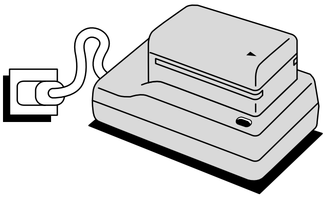
# バッテリーパックの上手な使いかた

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

## 必ず **充電してから、** お使いください

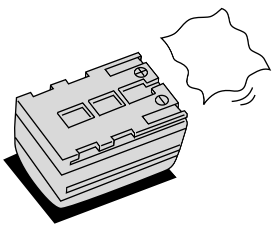
● バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。
長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、専用充電器(コンパクトパワーアダプター)で充電してから、お使いください。

● 詳しくはコンパクトパワーアダプターの使用説明書をご覧ください。



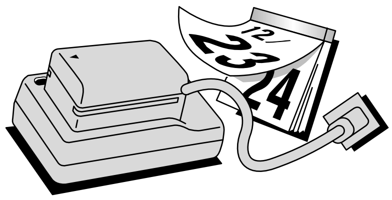
## **端子は**いつも**きれいに** しておいてください

● バッテリーパック、コンパクトパワーアダプター、ビデオカメラの「＋」「—」の端子は常にきれいにしておいてください。汚れていると接触不良の原因になります。充電や使用する前にティシューペーパーなどで乾拭きしてください。



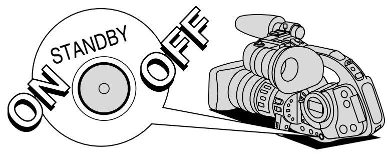
## **充電は**使用**直前に**

● 充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。
使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
フル充電（コンパクトパワーアダプターの充電ランプが点灯している状態）で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
長い間ビデオカメラを使用しないときは、バッテリーパックを使い切ってから取りはずして保管することをおすすめします。




## **こまめに**電源を**切って使う**

● 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。スタンバイボタンでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。

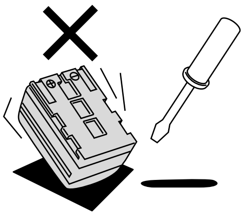



● バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。

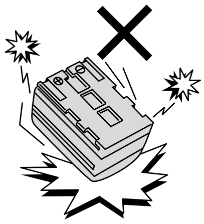
# バッテリーパックの取り扱いについて

## ていねいに取り扱ってください

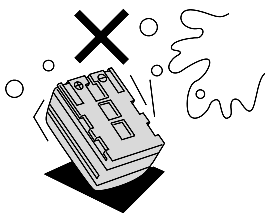
● 分解、改造をしないでください。



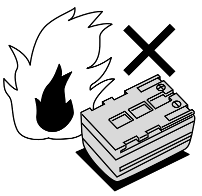
● 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。



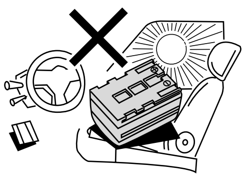
● 水にぬらさないでください。



● 火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。バッテリーパックが破裂するおそれがあります。

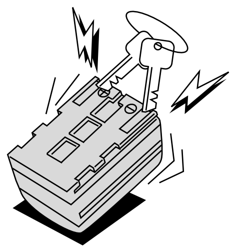


● 高温になった車内や炎天下、暖房器具の近くなど60℃以上になる場所に放置しないでください。

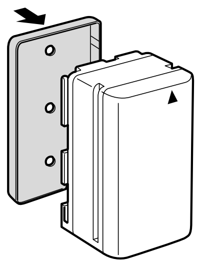


## 次のことを守ってください

● キーホルダーなどの金属で「+」「−」の端子をショートさせると(図A)、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用キャップを取り付けてください(図B)。



（図A）



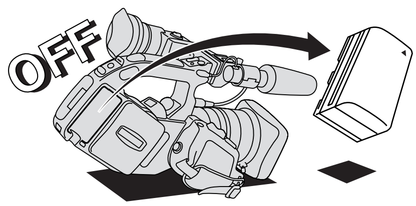
（図B）

使用しないときは

## 取りはずして

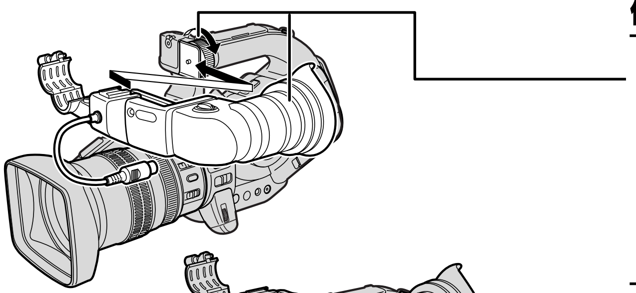
ください

● ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



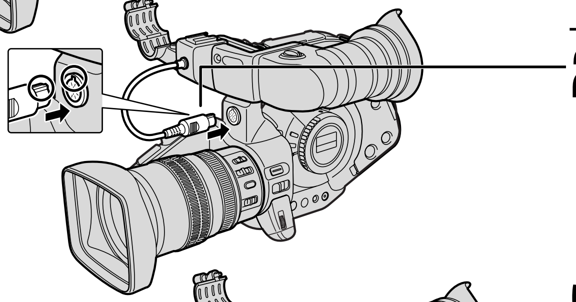
# カメラの準備

## ファインダーの取り付け／取りはずし

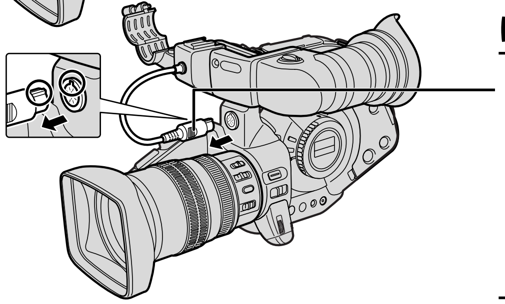


### 付けかた

**1** ファインダー取り付け部にスライドさせて取り付け、固定ネジを回して
**固定する**

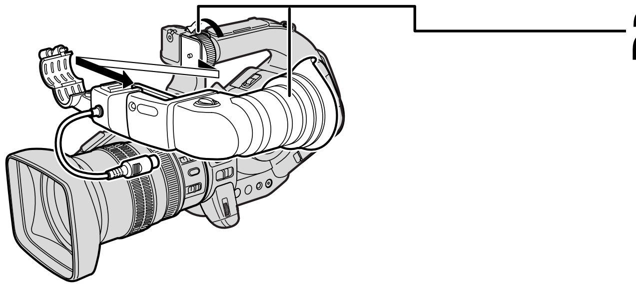


**2** ファインダーケーブルを
**接続する**



### はずしかた

**1** ファインダーケーブルを
**はずす**



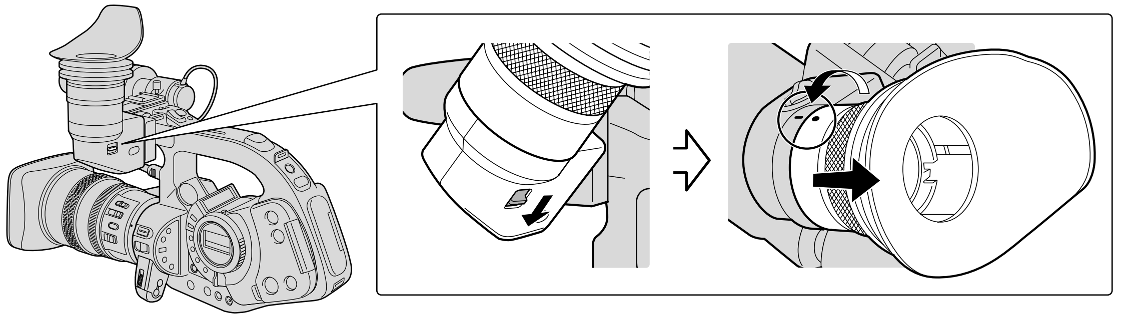
**2** 固定ネジを回してゆるめファインダー部をスライドさせて
**はずす**

## アイカップの取りはずし／取り付け

● ファインダーは目の位置や使う目（右目、左目）に合わせて、位置が調整できます。
左目を使う場合は、アイカップを逆向きに取り付けることができます。

### 取りはずし

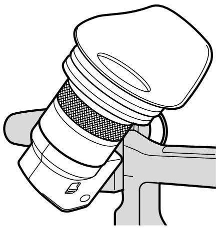
RELEASEスイッチを押しながら、アイカップを反時計方向に回します。



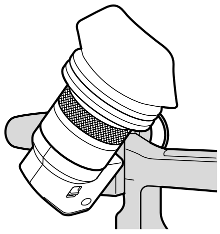
### 取り付け

ファインダーとアイカップのマークを合わせてはめ込み、回して固定します。
使う目に合わせ（右目／左目）取り付けられます。

**右目用**

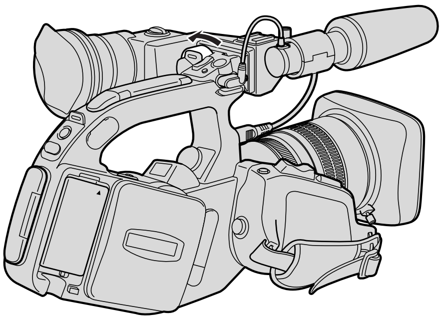


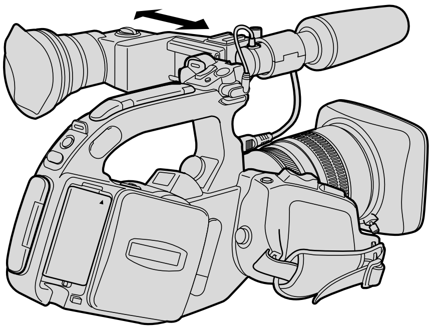
**左目用**



## ファインダー位置の調整

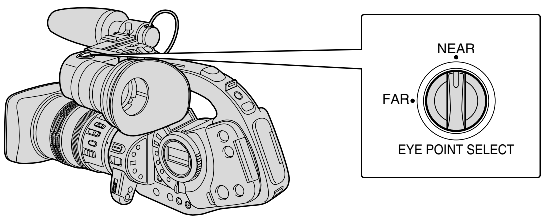
固定ネジをゆるめ、ファインダー部をスライドさせることで、右目／左目の最適なファインダー位置が設定できます。





## ファインダーの切り換え

本機では、ファインダーに目を近づけて覗く「NEAR」と目を離して覗く「FAR」の2種類が選択できます。撮影する状況に応じて選択してください。
切り換えはスイッチで行います。

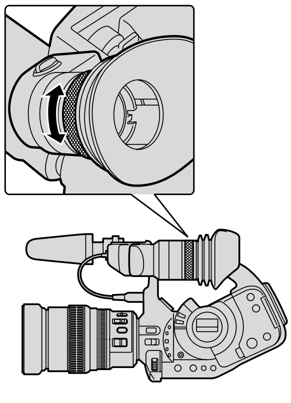



直射日光がビューファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合は EYE POINT SELECT の「FAR」を選択するか、ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

準備編

## ファインダーの視度調整

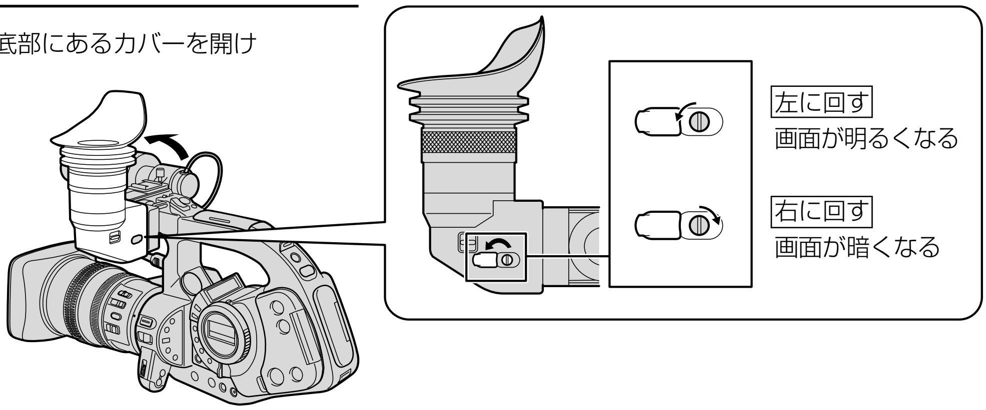
電源を入れ、ファインダーの表示がはっきり見えるように
リングを回して調整します。



## ファインダーの明るさ調整

ファインダーの明るさは標準に調整されていますが、必要に応じてミニマイナスドライバーで調整できます。
●ファインダーの明るさ調整と撮影する画面の明るさは関係がありません。視覚上一致するように調節してください。

ファインダーの底部にあるカバーを開け
**調整する**



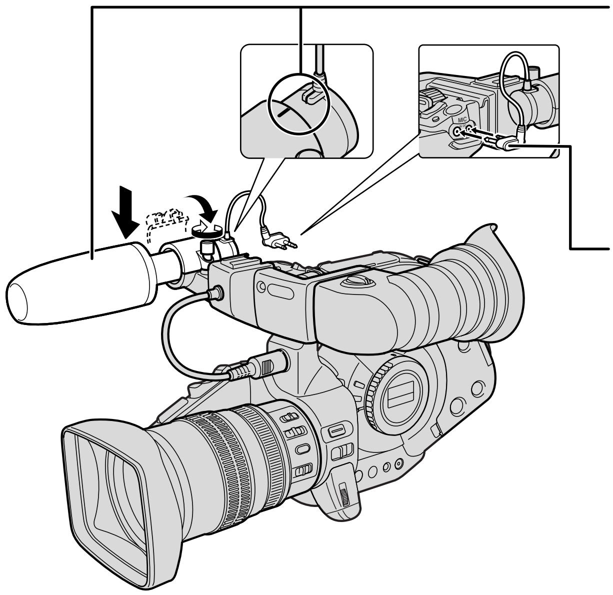

## ファインダーの色の濃さ調整

ファインダーの色の濃さ（クロマゲイン）は標準に調整されていますが、必要に応じて調整できます。
●ファインダーの色の濃さ調整と撮影する画面の濃度は関係がありません。視覚上一致するように調整してください。

設定を変更するときは、メニューの「表示設定」サブメニューの「EVFカラー調整」で設定してください。（39、42ページ）
＋側にすると色が濃くなり、－側にすると色が薄くなります。
●カメラモード、VCRモードのいずれでも設定できます。

## マイクの取り付け

マイク固定ネジをゆるめ、マイク固定部を開いておきます。



**1** 指標を合わせ、
### 固定する

**2**
### マイクケーブルを接続する

●付属のマイク以外をお使いになる場合には、ファインダー上部のアクセサリーシューに取り付けてください。

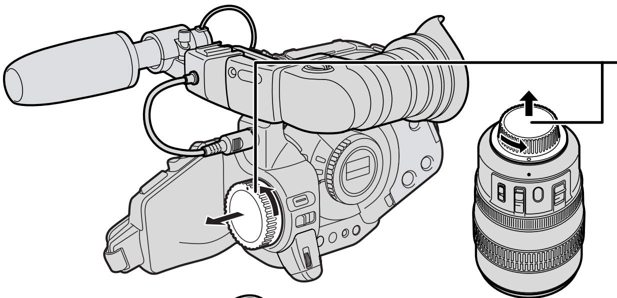
準備編

# カメラの準備…つづき

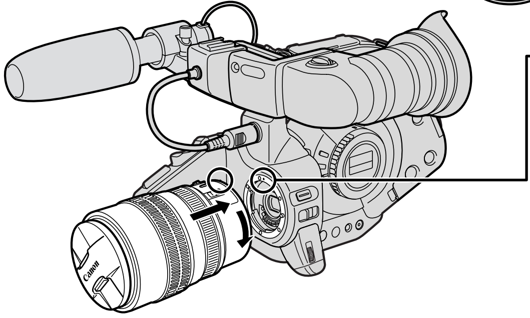
## XLマウントレンズの取り付け／取りはずし

●取り付けるレンズの使用説明書もあわせてご覧ください。

### 取り付けかた

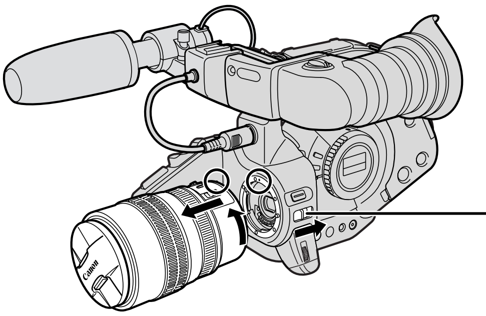


**1** ビデオカメラ本体のマウントキャップとレンズのダストキャップを
**取りはずす**

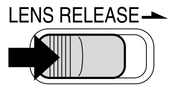


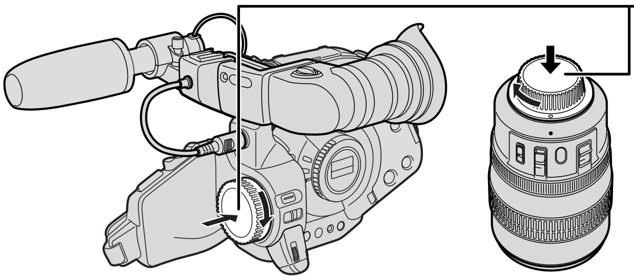
**2** ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ、レンズをはめ込み、
**時計方向にカチッと音がするまで回して取り付ける**

### 取りはずしかた



**1** レンズRELEASEスイッチをスライドさせながらレンズを反時計方向に回し、ビデオカメラとレンズの赤い指標を合わせ
**取りはずす**



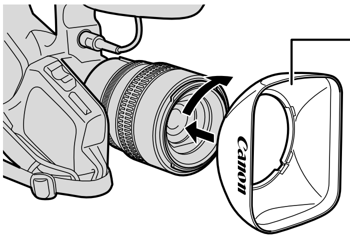



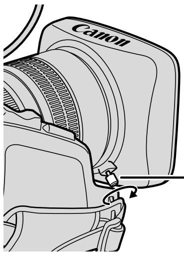
**2** ビデオカメラ本体にマウントキャップを、レンズにダストキャップを
**取り付ける**

**ご注意**

- レンズの取り付け／取りはずしなどは、ビデオカメラやレンズを落とさないようにして行ってください。
- レンズの取り付け、交換などは直射日光や強い照明を避けて行ってください。
- XLマウントはVLマウントと互換性はありません。
- レンズを取り付けずにビデオカメラの電源を入れると、ビューファインダーに「LENS」表示が点滅します。
- レンズを取りはずしたときに、レンズ、本体のマウント部およびその内部に手で触れたり、汚れたりしないようにしてください。汚れたときなどは、柔らかい乾いた布で乾拭きしてください（クリーニングを行うときは必ずビデオカメラの電源を切ってください）。

## レンズフードの取り付け




**1** レンズ先端部にフードをはめ込み、Canon の文字が上にくるように時計方向に

### 回す

● フードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け／取りはずしにくくなります。

**2** 固定ネジでフードを

### 固定する

**ご注意**

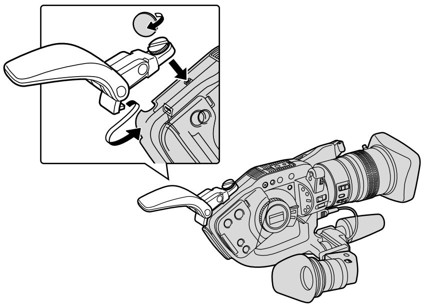
● 撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。
● レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

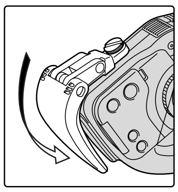


## ショルダーパッド SP-100 の取り付け

本体底面にネジで取り付けます。

● 取り付けるときは、コインなどで確実にネジをしめてください。
● 収納するときや、机などに置くときは後ろにはね上げてください（収納するときは、必ずAV端子カバーを閉じてから、行ってください）。
● 落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

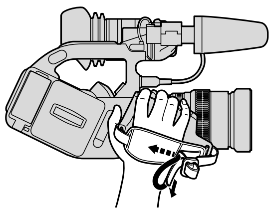




## グリップベルトの調節

親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がズームボタンに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。

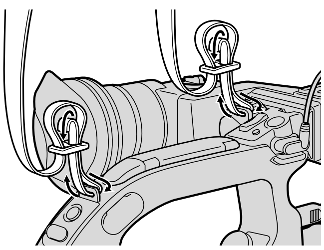
● 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

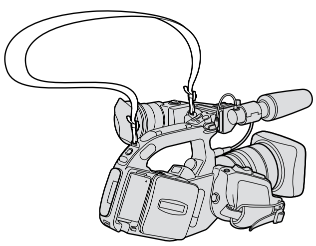


## ストラップの付けかた

直射日光がビューファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるために、ファインダー内の液晶部が損傷することがあります。特にストラップや三脚を使用しているときや持ち運ぶときはご注意ください。このような場合は EYE POINT SELECT の「FAR」を選択するか、ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

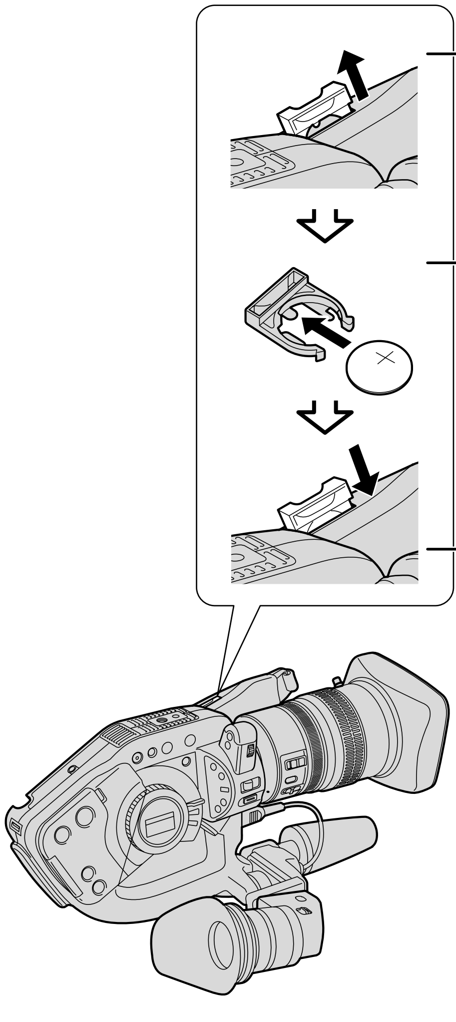
● 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。





# ボタン型リチウム電池を入れる

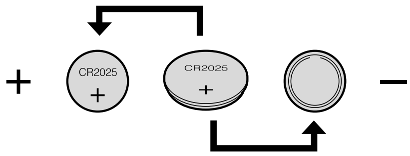
世界時計のエリア（47ページ）や日付・時刻（50ページ）などを記憶するにはボタン型リチウム電池が必要です。
お使いになる前に、付属のボタン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、ボタン型リチウム電池ＣＲ2025をお求め下さい。



**1** 電池ホルダーを
**引き抜く**

●電池ホルダーはグリップ部底面にあります。

**2** 電池の+側を上にして、電池ホルダーに
**入れる**




**3** 電池ホルダーを
**もとに戻す**

### ボタン型リチウム電池の交換時期

● ボタン型リチウム電池は約1年使用できますが、電池が取り付けられていなかったり、電池の容量が低下すると、ビューファインダーに「 」表示が点滅して電池の交換時期を知らせます。

### ボタン型リチウム電池を交換するときは

● バッテリーパックなどの電源を装着しておくことをおすすめします。日付の設定などがそのまま保持されます。

### ボタン型リチウム電池のご注意

● プラス（＋）とマイナス（ー）を確認して、正しく入れてください。
● 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください。（地域によって異なります。）
● 金属のピンセットなどでつかまないでください。ショートします。
● 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れてください。

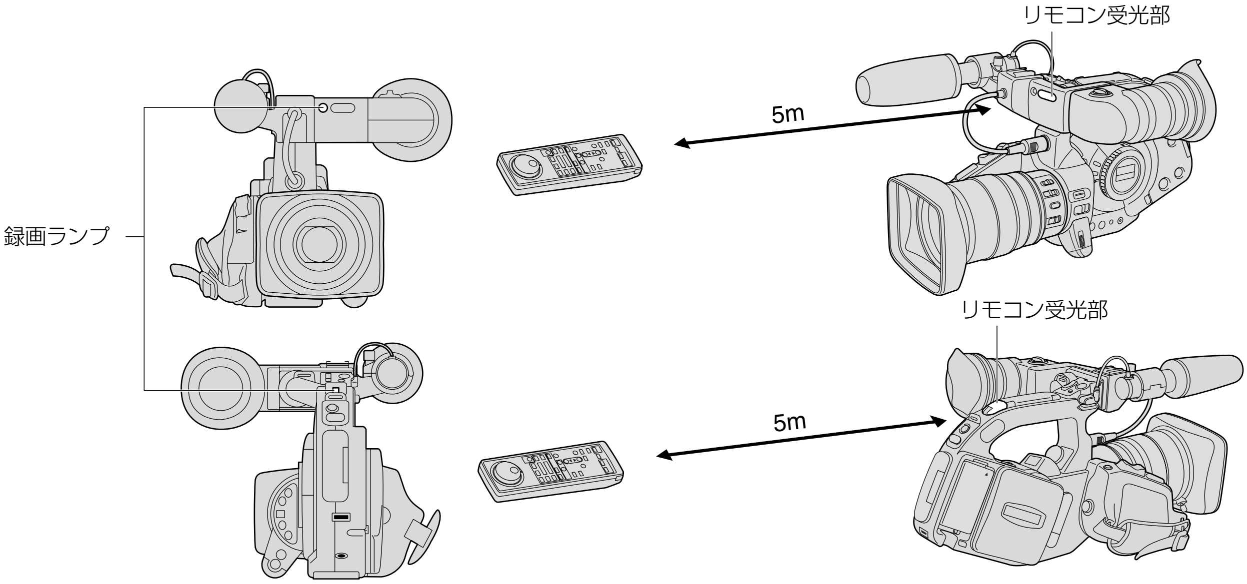
# リモコン

リモコンを使うと、離れたところから本体を操作できます。

## 操作のしかた

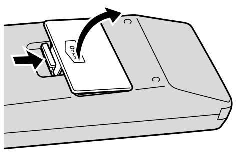
リモコン受光部に向けて操作ボタンを押します。本体がリモコンの信号を受信すると、録画ランプが点灯します。
本機のリモコン受光部は前後に2箇所あります。

リモコンは2本の単4（R6）乾電池で動作します。ボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったりしたときは、電池を交換してください。
※ ストラップでリモコン受光部をふさがないようにしてください。



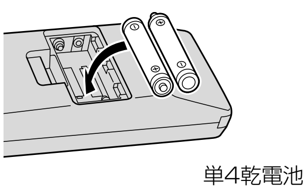

## 電池の入れかた

**1** 電池カバーを押しながら
**取りはずす**

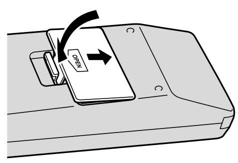


**2** ＋、−を表示に合わせて
**正しく入れる**

● 電池は2本とも新しいものと交換してください。




**3** 電池カバーを
**取り付ける**



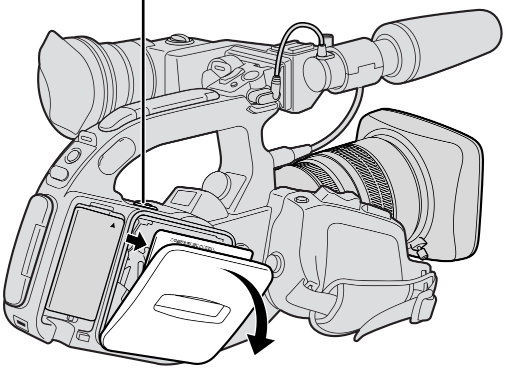
**リモコンを使うときに**

● 直射日光の下や蛍光灯に近い場合、またリモコンが本体に近すぎる場合には、正常に動作しにくい場合があります。
● 屋外などリモコンの受光部に強い光が当たるような場所では、受光部範囲が狭くなり、距離が短くなることがあります（逆光撮影など）。
● ストラップが受光部をさえぎらないようにしてください。

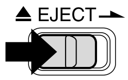
# カセットの入れかた／出しかた

ビデオカセットは MiniDV マークの付いたものをお使いください。
（バッテリーパックなどの電源を取り付けているとメインダイヤルが「OFF」でもカセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます）。
カセットが入っていないと「📼」がファインダーに点滅します。
●“MiniDV”ロゴは商標です。

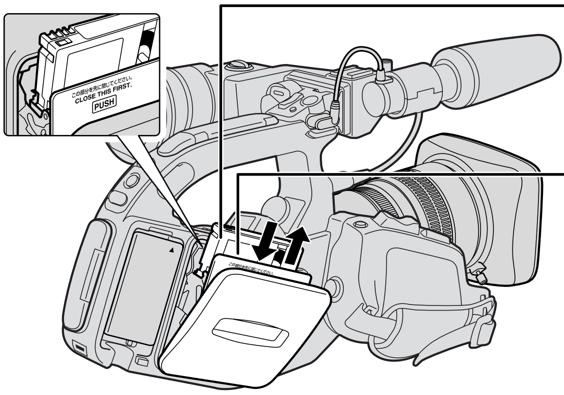
## カセットを入れる／出す



**1** EJECTスイッチを
**スライドさせる**




●カセット入れカバーが開き、カセット入れが自動的に開く。

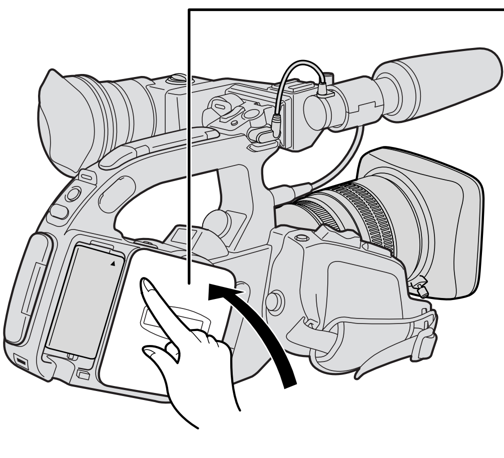



**2** カセットを
**入れる／出す**

●カセットの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。
●カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜く。

**3** **PUSH を押し、カセット入れを閉じる**

●カセット入れが自動的に収納される。



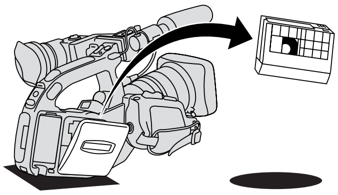
**4** カセット入れが完全に収納されたら、カセット入れカバーを
**閉じる**

**テープを出し入れするときは**
● カセット入れが自動的に動いている間は、動きを妨げたりしないでください。故障の原因となります。
● カセット入れが動作中に止まって動かない場合は、バッテリーパックを交換してください。
●指をはさまないようにご注意ください。

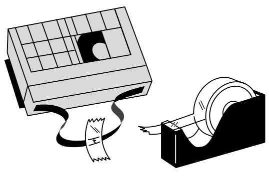
# ミニDVカセットについて

## 取り扱い上のご注意

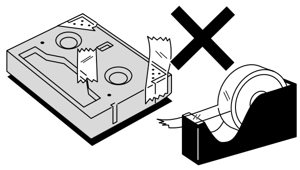
● カセットとヘッドを保護するためにカセットを本体に入れたまま放置しないでください。



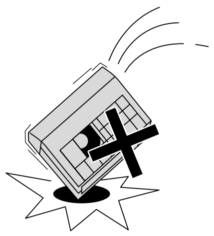
● つなぎ合わせたテープや規格外のテープは、故障の原因となりますので、使用しないでください。



● カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。セロハンテープなどで穴をふさがないでください。



● カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えないでください。内部のテープがたるみ故障の原因となります。



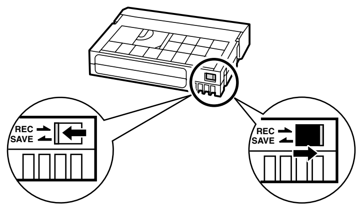
● テープを長期間保管するときは、テープを始めまで巻き戻して、ケースに入れ、立てて保管してください。

● カセットメモリー機能付きのカセットの場合、カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着すると、カセットメモリーの機能が正しく動作しないことがあります。カセットを10数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにしてください。

## 間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止ツマミを左に切り換えSAVEにしてください。誤消去防止ツマミを右に戻せば、再び録画できます。

● カメラモードの時に、録画できない状態のカセットを本体に入れると、ビューファインダーに「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後が点滅します。



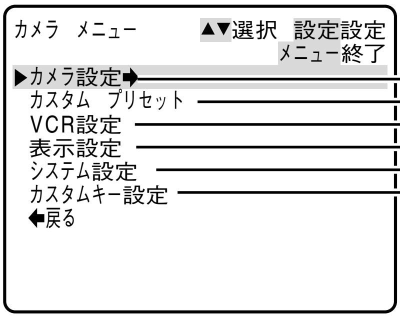

SAVE (録画できない)　　REC (録画できる)

# ご購入時の設定を変える（メニュー）

さまざまな機能をビューファインダー上のメニューから選ぶことで、ご購入時の設定を変更できます。
メニューにはカメラ（メインダイヤルがカメラモードのとき）とVCRの2種類があります。

## カメラメニュー

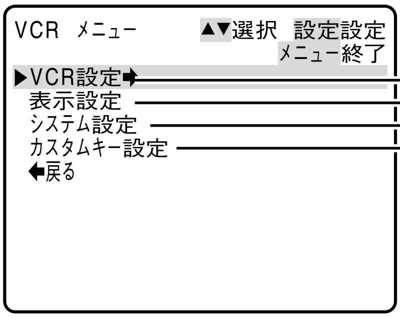
メインダイヤルがカメラモード
にあるとき：




- **カメラ設定：**
  ドウガモード、16：9、ゼブラパターン、
  ゼブラパターンレベル、グリップズームスピード、
  ハンドルズームスピード、クリアスキャン
- **カスタムプリセット：**
  プリセットNo.、カラーゲイン、シキソウ、シャープネス、
  セットアップレベル
- **VCR設定：**
  録画モード、オーディオモード、AUDIO 1 IN、
  AUDIO 2 IN、パワーセーブ、セルフタイマー、インターバル設定
- **表示設定：**
  EVFカラー調整、16：9エリアマーカー、
  オンスクリーン、ガイド
- **システム設定：**
  リモコンセンサー、録画ランプ、表示もじ記録
  DVコントロール、エリア/サマータイム、日時設定
- **カスタムキー設定：**
  KEY 1、KEY 2

## VCRメニュー

メインダイヤルがVCR
にあるとき：




- **VCR設定：**
  録画モード、OUTPUT CH、AUDIO 1 IN、
  AUDIO 2 IN、ミックス選択、オーディオモード
- **表示設定：**
  EVFカラー調整、再生時もじ表示、日付オート表示
  データコード、日時選択、カスタムキー
- **システム設定：**
  リモコンセンサー
- **カスタムキー設定：**
  KEY 1、KEY 2

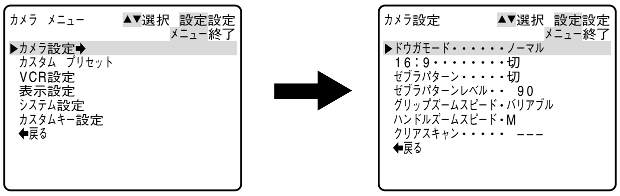
**各項目の設定内容について（📖 37～43）**

ご購入時には、太文字の内容に設定されています。
（例： **入** ）
各メニューで「戻る」を選ぶと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

## カメラメニュー（メインダイヤルがカメラモードのとき）

### カメラメニュー①（カメラ設定）

メインメニュー　　サブメニュー



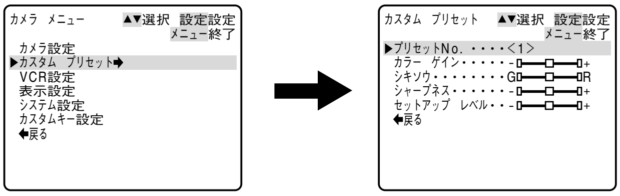

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| ドウガモード | **ノーマル** | 動画をフィールド記録する。 | 詳しくは96ページへ |
| | フレーム | 動画をフレーム記録する。 | |
| 16：9 | 入 | ワイドテレビ用に撮影する。<br>●横長画面（画面の横、縦の比が16：9）のワイドテレビ用に撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくはテレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比率が4：3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式に対応しているテレビに接続すると、自動的にワイドテレビ用の画面に切り換わります。 | |
| | **切** | 通常の4：3のテレビ用に撮影する。 | |
| ゼブラパターン | 入 | ゼブラパターンを表示するかどうかを選択する。 | 詳しくは85ページへ |
| | **切** | | |
| ゼブラパターンレベル | | ゼブラパターンの表示レベル調整をする。 | |
| グリップズームスピード | **バリアブル** | グリップにあるズームボタンのズームスピードの調整。バリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。 | |
| | L | | |
| | M | | |
| | H | | |
| ハンドルズームスピード | L | ハンドルにあるズームボタンのズームスピードをL（低速）、M（中速）、H（高速）から選択する。 | |
| | **M** | | |
| | H | | |
| クリアスキャン | | パソコンなどの画面を撮影するときに選択する。 | 詳しくは86ページへ |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

準備編

# ご購入時の設定を変える（メニュー）…つづき

## カメラメニュー②（カスタムプリセット）

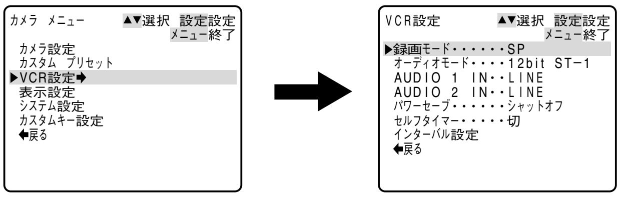
メインメニュー　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| プリセットNo | **1** | カスタムプリセットで設定する番号を選択する。 | 詳しくは<br>91ページへ |
| | 2 | | |
| | 3 | | |
| カラーゲイン | | カラーゲインを変更して撮影する。 | |
| シキソウ | | 画像の色相を変更して撮影する。 | |
| シャープネス | | 画像のシャープさを変更して撮影する。 | |
| セットアップレベル | | セットアップレベルを変更して撮影する。 | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## カメラメニュー③（VCR設定）

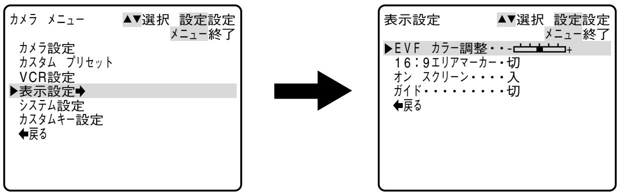
メインメニュー　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 録画モード | **SP** | SP(標準）モードで録画する。 | |
| | LP | LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。カメラモード、VCRモードで設定できます。<br>LPモードについて…LPモードでの録画/再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。<br>LPモードでつなぎ撮りしたときに画像が乱れることがあります。<br>●本機でLPモードで記録したテープを他のデジタルビデオ機器で再生すると画像が乱れることがあります。 | |
| オーディオモード | 16bit | 1つのステレオ音声を高音質で記録する。 | 詳しくは<br>62ページへ |
| | **12bit ST-1** | 1つのステレオ音声をステレオ1に記録する。 | |
| | 12bit ST-1, 2 | 2つのステレオ音声（4チャンネル）を同時に記録する。 | |
| AUDIO 1 IN | MIC | オーディオ1の入力レベルをマイクレベル、マイクレベル20dBのアッテネーター、ラインレベルから選択する。 | 詳しくは<br>64ページへ |
| | MIC ATT 20 | | |
| | **LINE** | | |
| AUDIO 2 IN | MIC | オーディオモードが12bit ST1,2に設定された4チャンネル同時録音時に、オーディオ2の入力レベルをマイクレベル、マイクレベル20dBのアッテネーター、ラインレベルから選択する。 | 詳しくは<br>65ページへ |
| | MIC ATT 20 | | |
| | **LINE** | | |
| パワーセーブ | **シャットオフ** | 撮影一時停止5分後に電源が切れる。 | 詳しくは<br>53ページへ |
| | VCRストップ | 撮影一時停止5分後にレコーダー部が停止する。 | |
| セルフタイマー | 入 | セルフタイマーを使用するかどうかを選択する。 | 詳しくは<br>101ページへ |
| | **切** | | |
| インターバル設定 | | インターバルタイマー設定画面へ | 詳しくは<br>104ページへ |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## カメラメニュー④（表示設定）

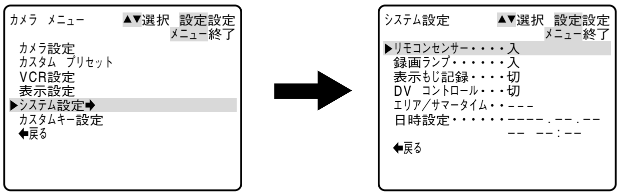
メインメニュー　　　　　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | |
|---|---|---|---|
| EVFカラー調整 | | ビューファインダーの色の濃さ調整をする。VCRモードでも設定できます。 | 詳しくは28ページへ |
| 16：9<br>エリアマーカー | 入 | 16：9撮影時に撮影できるエリア表示をするかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| オンスクリーン | 入 | ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示するかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| ガイド | **切** | ガイド情報をビューファインダーに表示しない。 | |
| | カスタムキー | カスタムキーのガイド（設定）情報をビューファインダーに表示する。 | |
| | 日時表示 | 日時情報をビューファインダーに表示する。 | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## カメラメニュー⑤（システム設定）

メインメニュー　　　　　　サブメニュー

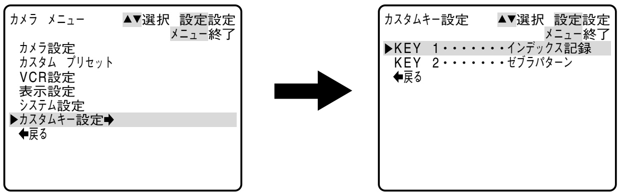



| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | |
|---|---|---|---|
| リモコンセンサー | **入** | リモコンでの操作を受け付けるかどうかを選択する。<br>リモコンセンサーを止めることで、編集など複数のキヤノン製ビデオカメラを操作するときに誤動作を防ぐことができます。本機にはリモコンセンサーが前後にあり、同時に入/切を設定します。 | |
| | 切 | | |
| 録画ランプ | **入** | 撮影中に録画ランプを点滅させるかどうかを選択する。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときにガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止めることができます。<br>●録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。 | |
| | 切 | | |
| 表示もじ記録 | 入 | ビューファインダーに表示される文字を映像に重ねて記録するかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| DVコントロール | 入 | DVコントロール機能を使用するかどうかを選択する。 | 詳しくは101ページへ |
| | **切** | | |
| エリア/サマータイム | | 世界時計のエリアを設定する。 | 詳しくは47ページへ |
| 日時設定 | | 日時を設定する。 | 詳しくは50ページへ |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

# ご購入時の設定を変える（メニュー）…つづき

## カメラメニュー⑥（カスタムキー設定）

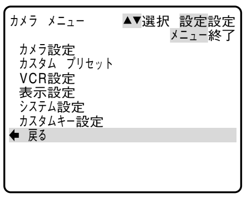
メインメニュー　　　　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| KEY1 | **インデックス記録** | カスタムキー1で使用する機能を選択する。<br>カスタムキー1を使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 詳しくは88ページへ |
| | ゼブラパターン | | |
| | VCRストップ | | |
| | オン　スクリーン | | |
| | AUDIO 1 IN | | |
| | AUDIO 2 IN | | |
| | グリップズームスピード | | |
| | ハンドルズームスピード | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |
| KEY2 | インデックス記録 | カスタムキー2で使用する機能を選択する。<br>カスタムキー2を使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | 詳しくは88ページへ |
| | **ゼブラパターン** | | |
| | VCRストップ | | |
| | オン　スクリーン | | |
| | AUDIO 1 IN | | |
| | AUDIO 2 IN | | |
| | グリップズームスピード | | |
| | ハンドルズームスピード | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## 戻る

メインメニュー

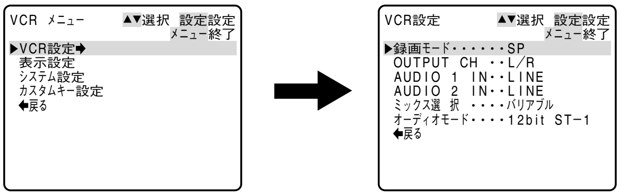



| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 戻る | | メニュー画面を終わる。 | |

## VCRメニュー（メインダイヤルが「VCR」のとき）

### VCRメニュー①（VCR設定）

メインメニュー　　　　　　　サブメニュー



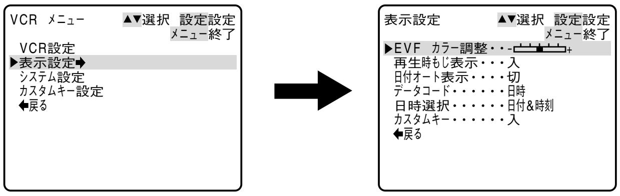

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 録画モード | **SP** | SP(標準）モードで録画する。 | |
| | LP | LPモード(標準の1.5倍の録画時間）で録画する。カメラモード、VCRモードで設定できます。<br>LPモードについて…LPモードでの録画/再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。<br>LPモードでつなぎ撮りしたときに画像が乱れることがあります。<br>●本機でLPモードで記録したテープを他のデジタルビデオ機器で再生すると画像が乱れることがあります。 | |
| OUTPUT CH | **L/R** | 音声出力の組み合わせを選択する。 | 詳しくは115ページへ |
| | L/L | | |
| | R/R | | |
| | L+R/R | | |
| AUDIO 1 IN | MIC | オーディオ1の入力レベルをマイクレベル、マイクレベル20dBのアッテネーター、ラインレベルから選択する。 | 詳しくは64ページへ |
| | MIC ATT 20 | | |
| | **LINE** | | |
| AUDIO 2 IN | MIC | アナログ入力で、オーディオモードが12bit ST1,2に設定された4チャンネル同時録音時に、オーディオ2の入力レベルをマイクレベル、マイクレベル20dBのアッテネーター、ラインレベルから選択する。 | 詳しくは65ページへ |
| | MIC ATT 20 | | |
| | **LINE** | | |
| ミックス選択 | **バリアブル** | オーディオ1、オーディオ2の音声のバランスを選択する。 | 詳しくは115ページへ |
| | 1：1 | | |
| オーディオモード＊ | 16bit | 1つのステレオ音声を高音質で記録する。 | 詳しくは62ページへ |
| | **12bit ST-1** | 1つのステレオ音声をステレオ1に記録する。 | |
| | 12 bit ST-1, 2 | 2つのステレオ音声（4チャンネル）を同時に記録する。 | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

＊オーディオモード：DV端子からの入力には設定できません。

# ご購入時の設定を変える（メニュー）…つづき

## VCRメニュー②（表示設定）

メインメニュー　　　　　　　　サブメニュー



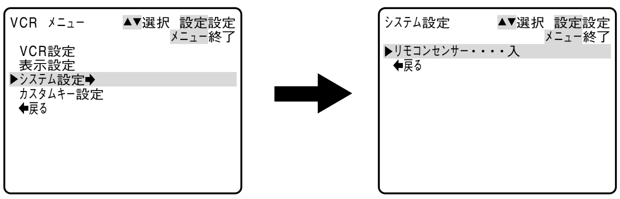

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| EVFカラー調整 | | ビューファインダーの色の濃さ調整をする。カメラモードでも設定できます。 | 詳しくは28ページへ |
| 再生時もじ表示＊ | **入** | 再生時に画面に文字が出る。 | |
| | 切 | 再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 | |
| 日付オート表示＊ | 入 | テープの再生を始めたとき、または再生中に日付/エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 | |
| | **切** | (約6秒間の)日付表示をしない。 | |
| データコード | **日時** | データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。 | 詳しくは116ページへ |
| | カメラデータ | カメラデータを表示する。 | |
| | 日時&カメラデータ | 日時とカメラデータを表示する。 | |
| 日時選択 | 日時 | 「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。 | 詳しくは116ページへ |
| | 時刻 | 「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。 | |
| | **日時&時刻** | 「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。 | |
| カスタムキー | 入 | 設定したカスタムキーを表示するかどうかを選択する。 | |
| | **切** | | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

＊再生時もじ表示：「切」にすると、再生中のみ文字表示を消すことができます。ビューファインダーのデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。「切」にしていても再生が始まると、約2秒間表示が出ます。再生画が出ていないときは、表示が出ます。

＊日付オート表示：「入」になっていると、「再生時もじ表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。

## VCRメニュー③（システム設定）

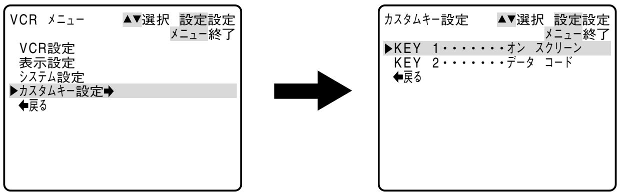
メインメニュー　　　　　　　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| リモコンセンサー | **入** | リモコンでの操作を受け付けるかどうかを選択する。リモコンセンサーを止めることで、編集など複数のキヤノン製ビデオカメラを操作するときに誤動作を防ぐことができます。本機にはリモコンセンサーが前後にあり、同時に入/切を設定します。 | |
| | 切 | | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## VCRメニュー④（カスタムキー設定）

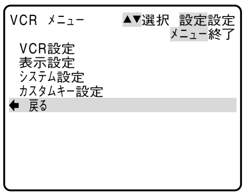
メインメニュー　　　サブメニュー




| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| KEY1 | **オンスクリーン** | カスタムキー1で使用する機能を選択する。<br>カスタムキー1を使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | |
| | データコード | | |
| | AUDIO 1 IN | | |
| | AUDIO 2 IN | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |
| KEY2 | オンスクリーン | カスタムキー2で使用する機能を選択する。<br>カスタムキー2を使用しないときは「表示なし」を選んでください。 | |
| | **データコード** | | |
| | AUDIO 1 IN | | |
| | AUDIO 2 IN | | |
| | (表示なし：カスタムキーを選ばない) | | |
| 戻る | | メインメニューに戻る。 | |

## 戻る

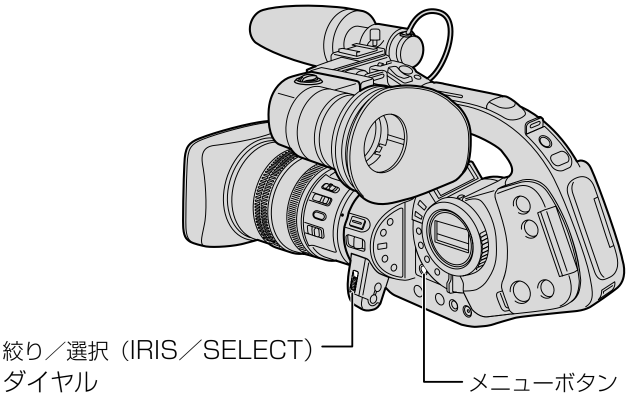
メインメニュー

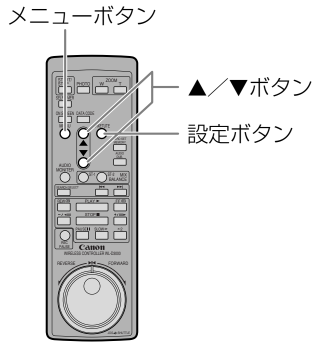


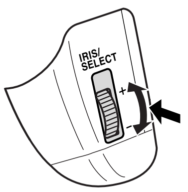
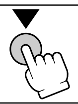

| サブメニュー項目 | 設定内容 | 意　　味 | 📖 |
|---|---|---|---|
| 戻る | | メニュー画面を終わる。 | |

# メニューの使い方

本体のIRIS／SELECTダイヤルとリモコンの▲、▼、EXECUTE（設定）ボタンは同じ操作になります。

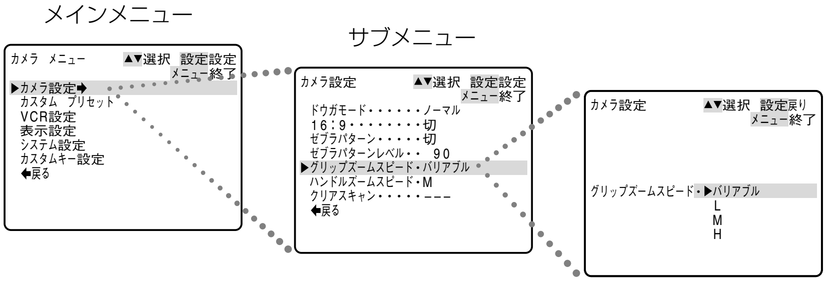



| 本体のIRIS／SELECTダイヤル | | リモコン | | |
|---|---|---|---|---|
|  | 上に回す |  | 押す | メニュー項目や機能の設定内容を選びます。 |
| | 下に回す |  | 押す | |
| | 押す |  EXECUTE | 押す | 選んだ項目や設定内容を決定したり、次の画面に移ったりします。 |

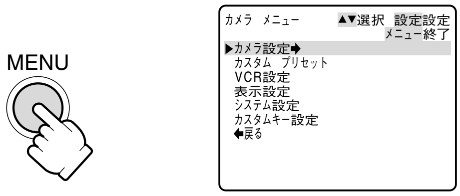
メニューで設定を変えるときは、順番に項目を選んでいきます。

例：カメラメニュー



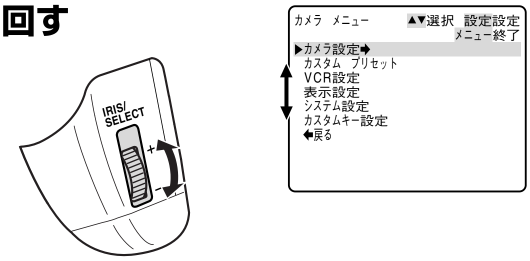
●テープの状態や他のメニューの設定などにより設定できない項目は紫色で「- - -」で表示されます。
●ここでは、メインダイヤルをカメラモードにして、本体で操作する場合で説明しています。

**1** MENUボタンを
**押す**



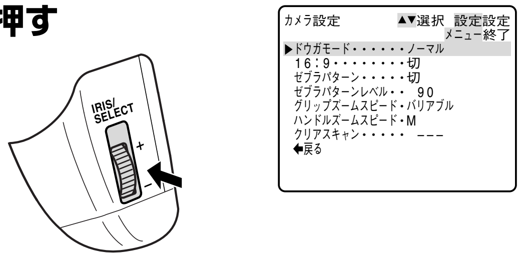

● メインメニューが出る。

**2** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**



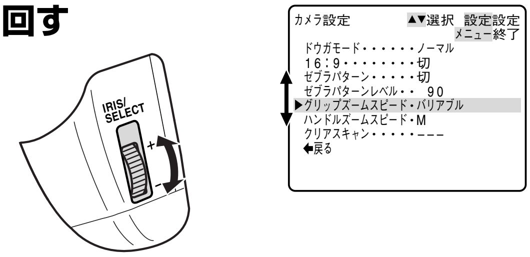

● 項目を選ぶ。

**3** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**



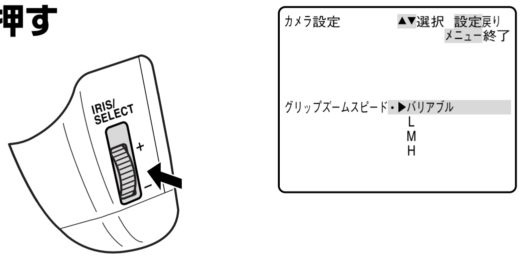

● 選んだ項目のサブメニューが出る。

**4** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**



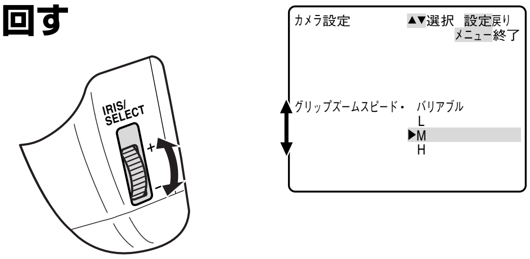

● 機能を選ぶ。

**5** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




● 選んだ機能だけが表示される。

**6** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**

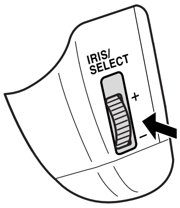


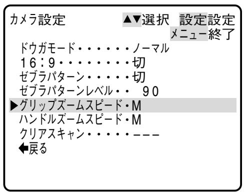

● 機能の設定を選ぶ。

準備編

# メニューの使い方…つづき

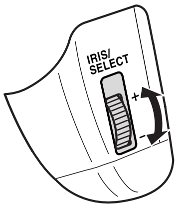
**7** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**

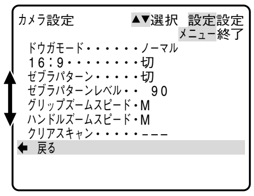



- 機能を設定する。
- サブメニューに戻る。

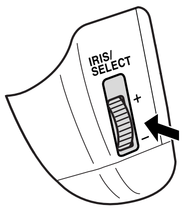
**8** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**

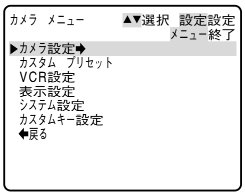



- サブメニューの「←戻る」を選ぶ。

**9** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




- メインメニューに戻る。

**10** MENUボタンを
**押す**




- メニュー表示が消える。
- 6の操作のあとにMENUボタンを押しても設定できます。

●MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

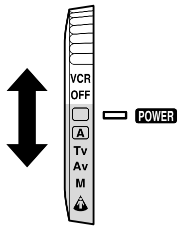
# 世界時計のエリアを選ぶ

はじめてお使いになる場合や、ボタン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア/日時を設定してください」が表示されます。日時/時刻を設定する前に世界時計のエリアを設定してください。

## 世界時計のエリアについて

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ヶ所の標準時間を表示できます。都市名（エリア）を選ぶと、日付などを設定しなおすことなく、旅行先の現地の時刻を記録できます。
また、旅行先が夏時間（summer timeまたはdaylight saving time）のときは、世界時計を夏時間に変更できます。
●撮影を行う前に、変更してください。

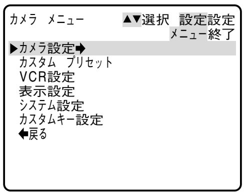
**1** メインダイヤルを
**カメラモードにする**




● 電源ランプが点灯する。

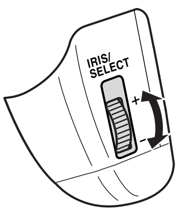
**2** MENUボタンを
**押す**

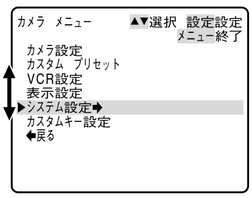



● カメラメインメニューが出る。

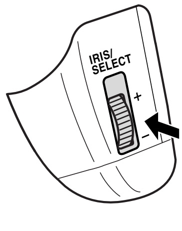
**3** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**

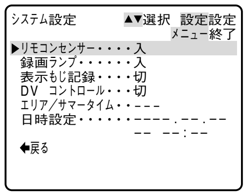



● ▶を「システム設定」に合わせる。

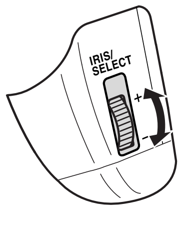
**4** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**

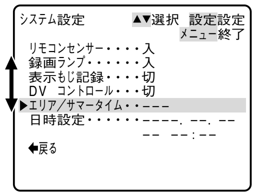



●「システム設定」サブメニューが出る。

**5** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**

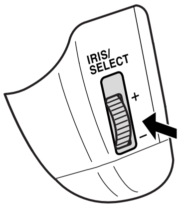


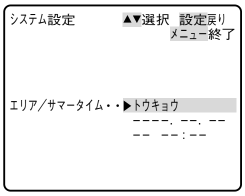




● ▶を「エリア/サマータイム」に合わせる。

# 世界時計のエリアを選ぶ…つづき

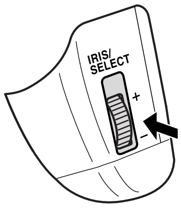
**6** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**

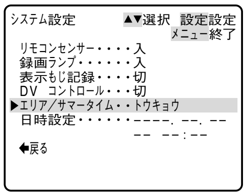



- 「エリア/サマータイム」だけの表示になる。
- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

**7** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




- 「システム設定」サブメニューに戻る。

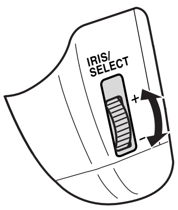
「日付／時刻を設定する」操作5に進んでください。（50ページ）

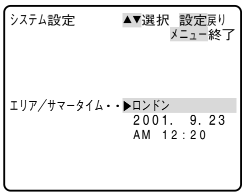
## 旅行先のエリアを選ぶ

あらかじめ日時を設定しておくと、海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

**操作6のあと**

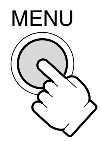
**1** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**

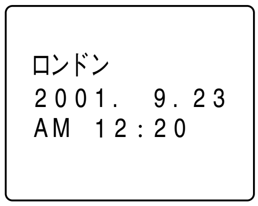



- 回すたびに都市名が変わり、その都市の日付/時刻が表示される。

**2** MENUボタンを
**押す**

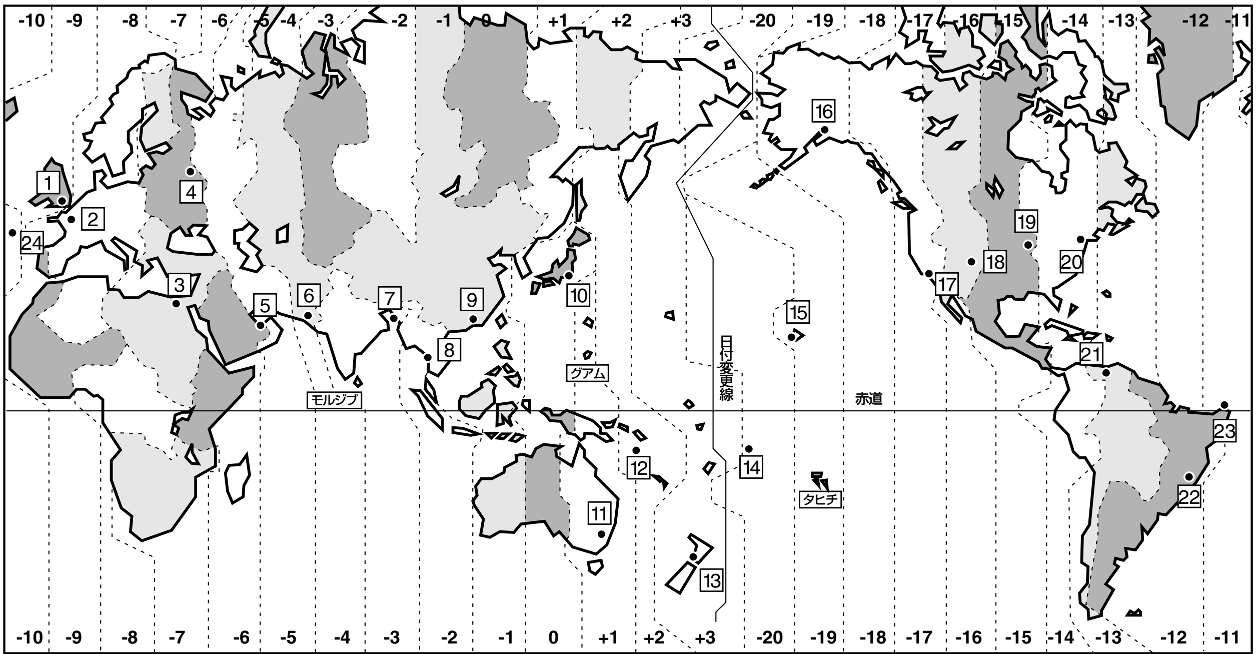



- メニュー表示が消える。

**夏時間を設定するときは**
- 都市名の右に☀マークが付くものを選んでください。

## 世界時計の都市と代表国




| 都市番号と都市名と日本との時差 | | | 代表国/代表地域 |
|---|---|---|---|
| 1 | ロンドン | グリニッチ標準時 -9 | イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル |
| 2 | パリ | -8 | イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET） |
| 3 | カイロ | -7 | エジプト、ギリシャ、トルコ |
| 4 | モスクワ | -6 | イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア |
| 5 | ドバイ | -5 | アラブ首長国連邦 |
| 6 | カラチ | -4 | パキスタン、モルジブ |
| 7 | ダッカ | -3 | インド、バングラデシュ、ミャンマー |
| 8 | バンコク | -2 | カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ島、バリ島 |
| 9 | ホンコン | -1 | オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島 |
| 10 | トウキョウ | 日本標準時(JST) | 日本、韓国 |
| 11 | シドニー | +1 | オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン |
| 12 | ソロモン | +2 | ニューカレドニア |
| 13 | ウェリントン | +3 | ニュージーランド、フィジー |
| 14 | サモア | -20 | 西サモア |
| 15 | ホノルル | -19 | タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST） |
| 16 | アンカレジ | -18 | アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST） |
| 17 | ロサンゼルス | -17 | サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸 |
| 18 | デンバー | -16 | デンバー/米国山地標準時（MST） |
| 19 | シカゴ | -15 | シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ |
| 20 | ニューヨーク | -14 | ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー |
| 21 | カラカス | -13 | チリ、ベネズエラ |
| 22 | リオ | -12 | アルゼンチン、ブラジル |
| 23 | フェルナンド | -11 | フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル） |
| 24 | アゾレス | -10 | アゾレス諸島（ポルトガル） |

# 日付/時刻を設定する

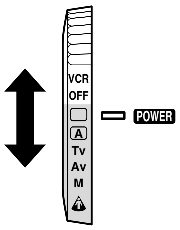
はじめてお使いになる場合や、ボタン型リチウム電池を交換した場合には、世界時計のエリアを選んでから、日付/時刻を設定します。

はじめて日時を設定するときは、世界時計のエリア（47ページを参照）を設定したあと、操作5からはじめてください。

各月の日数やうるう年は自動的に判別します。

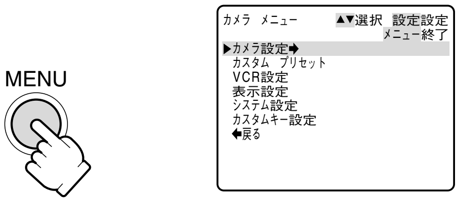
● ここではははじめてお使いになる場合の画面表示で説明しています。

**1** メインダイヤルを
**カメラモードにする**



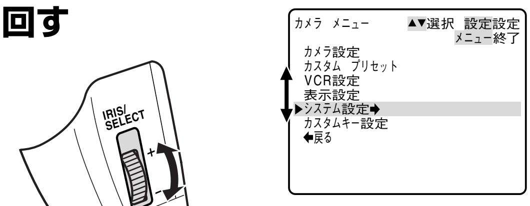

● 電源ランプが点灯する。

**2** MENUボタンを
**押す**



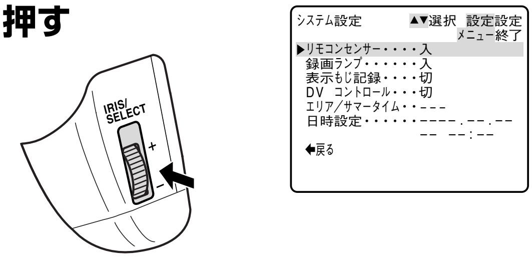

● カメラメインメニューが出る。

**3** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**



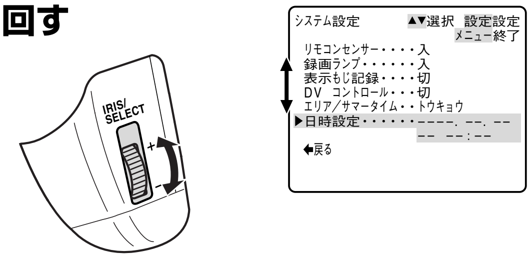

● ▶を「システム設定」に合わせる。

**4** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**



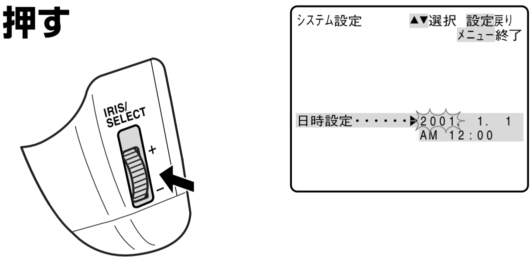

●「システム設定」サブメニューが出る。

**5** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**




● ▶を「日時設定」に合わせる。

**6** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**

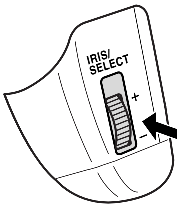


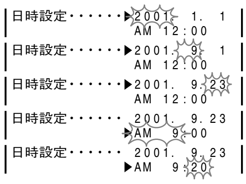

●「日時設定」だけの表示になる。

## 7 年/月/日/時/分を **設定する**

❶ IRIS／SELECTダイヤルを押して

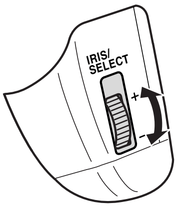
**項目を選ぶ**



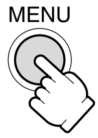




❷ IRIS／SELECTダイヤルを回して

**数字を選ぶ**

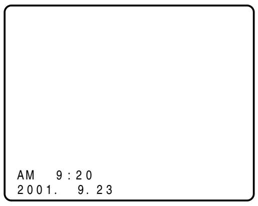



## 8 時報などに合わせてMENUボタンを **押す**




- 内蔵の時計が動き始める。
- メニューが消える。

●日付/時刻を設定すると、電源を入れるたびに約4秒間エリア（トウキョウ以外に設定したとき）と日付/時刻が表示されます。




### 日付・時刻表示は次のように変わります。

**（IRIS／SELECTダイヤルを上に回した場合）**

年：→2001→2002→…2010…→2031

月：→1→2→3→…………→12

日：→1→2→3→…………→31

時：→AM12→AM1→AM2→…………→AM11
PM11←…………←PM2←PM1←PM12

分：→00→01→02→…………→59

- 下に回した場合は、矢印と逆方向に変わります。

### 日付や時刻の一部を変更するときは

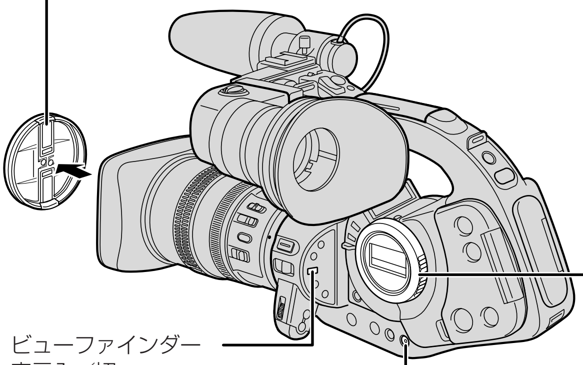
- 7の操作で、IRIS／SELECTダイヤルを押して項目を選びます。次にIRIS／SELECTダイヤルを回して変更します。終了したら、MENUボタンを押します。

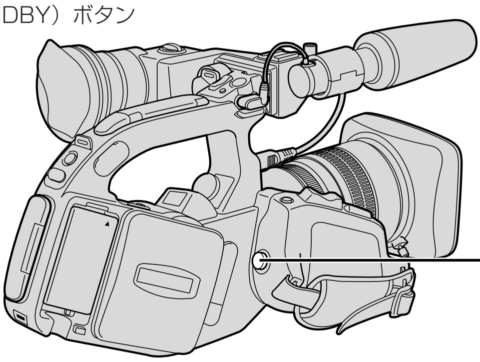
準備編

# 撮影する

撮影する前に

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には、市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。



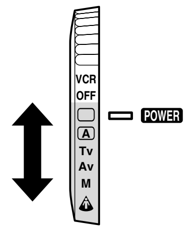



## 準備

● レンズ、マイク、ビューファインダーを取り付ける。
● バッテリーパックなどの電源を取り付ける。
● カセットを入れる。

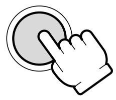
**1** レンズキャップを
**はずす**

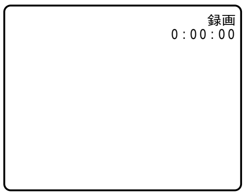
**2** メインダイヤルを
**カメラモードにする**




●電源ランプが点灯する。
●撮影一時停止になる。

**3** スタート／ストップボタンを
**押す**

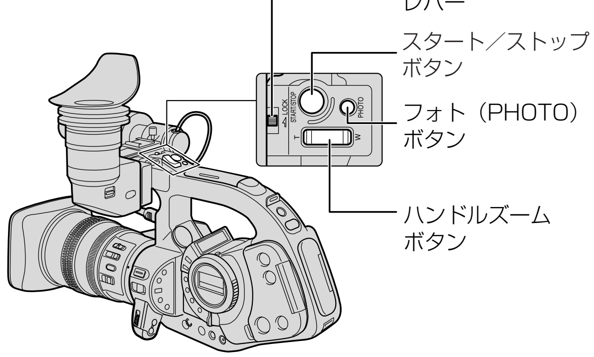





●撮影が始まる。
●録画ランプが点滅する。

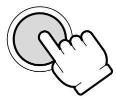
## ローアングル撮影

本機にはローアングル撮影用に、ハンドル上部にスタート／ストップボタン、ハンドルズームボタン、 フォト（PHOTO）ボタンがあります。
ロック（LOCK）レバーを右にスライドさせると、この3つのボタンは無効になりますので誤操作を防止できます。




## 撮影をちょっと止めるとき（一時停止）

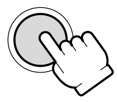
スタート／ストップボタンを
**押す**



## 撮影をやめてビューファインダーも消すとき

スタート／ストップボタンを

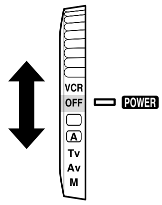
**押す**



● 撮影一時停止になる。

メインダイヤルを

**OFF にする**




● **STANDBY（スタンバイ）ボタン**
撮影一時停止で1秒以上押すとパワーセーブモードになり（ビューファインダーに「パワースタンバイします」の表示が出ます）、電源が切れます。もう一度押すと電源が入ります。
メインダイヤルと異なり、露出ロックの入／切、選択したデジタルエフェクト、デジタルエフェクトの入／切は、そのまま保持されます。

● **5分タイマー**
通常、撮影一時停止が約5分間続くと、テープとヘッドの保護のために電源が切れます。
本機では、この「5分タイマー」について、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューで、電源を切るか（シャットオフ）、レコーダー部だけを停止させるか（VCRストップ）が選択できます。
「VCRストップ」では、カメラ部は電源が入っていますので、絞り、シャッタースピードなどのカメラ部の設定をそのまま続けて行えます。
この状態から撮影をするときは、スタート/ストップボタンを押してください。録画一時停止にするときは、カスタムキーの「VCRストップ」ボタンを押してください（88ページ）。
「シャットオフ」を選んでいて電源が切れた場合は、STANDBYボタンを押すか、メインダイヤルを一度「OFF」にしてからカメラモードに戻し、電源を入れなおしてください。

● **VCRストップ**
カメラメニューの「カスタムキー設定」サブメニューで、CSTM KEY1または2を「VCRストップ」に設定することで、カメラ部に電源を入れたまま、レコーダー部だけを任意に停止させることができます（88ページ）。
「VCRストップ」ボタンを押すことで、5分タイマーに制限されずに、カメラ部の設定などを行えます。
撮影するときは、「VCRストップ」ボタンをもう一度押して、撮影一時停止にしてください。

● **EVF DISPLAY ON/OFF（ビューファインダー表示入／切）ボタン**
撮影時のビューファインダー表示はEVF DISPLAY ON/OFFボタンを押すたびに下記のように変わります。

↓
通常の表示
↓
録画モード、録画などの動作モード、
カウンター、警告表示、
日時＊
↓
日時＊
↓
表示なし

＊カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」を「日時表示」に設定すると日時も表示します。

●メインダイヤル、STANDBYボタンで電源を切ると通常の表示に戻ります。

●接続したテレビなど出る表示も同じになります（ON SCREEN機能）。

● 長時間使用しないときは、メインダイヤルを必ず「OFF」にしてください。
● カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

撮影編

# 撮影する…つづき

## 撮影が終わったら

**1** メインダイヤルを
**OFFにする**

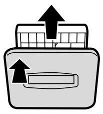
**2** レンズキャップを
**はめる**

## ビデオカメラをしまうときは

**1** カセットを取り出す

❶ EJECTボタンを
**スライドさせる**

● カセット入れカバーが開き
カセット入れが自動的に開く。



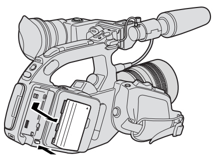
❷ カセットを
**出す**

● カセット入れからまっすぐに引き抜く。

❸ PUSH を押して、カセット入れを
**閉める**

● カセット入れが自動的に収納される。
● カセット入れカバーを閉じる。

**2** （ビューファインダーが消灯したのを確認して）
バッテリーパックを
**取りはずす**



❶ BATT. RELEASEボタンを押しながら、

❷ バッテリーパックをスライドさせながらはずす。

# 撮影中のビューファインダー表示

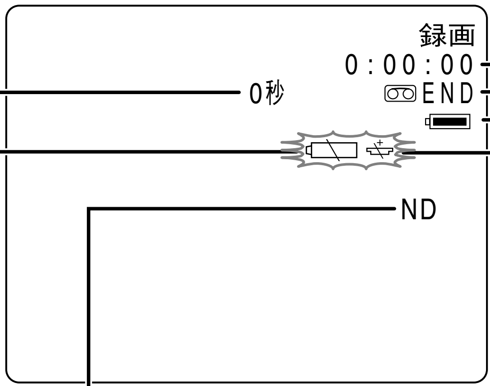
### タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。本機は30フレーム／秒でカウントするタイムコードとフレーム周期が29.97／秒のNTSC映像信号の間に生じるズレを自動的に補正するドロップフレーム方式を採用しています。

### お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。

● 1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影することをおすすめします。




### テープ残量と“ END ”の点灯

テープ残量を「分」単位で表示します。

撮影中／再生中にテープが終端になると「END」が点灯し、停止状態になります。

● 短い時間の撮影／再生では残量表示は出ないことがあります。

### バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。

● 残量表示はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により一定ではありません。

### NDフィルター

晴れた日の屋外などで撮影するときにNDフィルターの使用について表示します。(61ページ)

### “ ”の点滅

ボタン型リチウム電池が取り付けられていなかったり、電池の容量が低下すると、「 」が点滅します。新しいボタン型リチウム電池CR2025と交換してください。(32ページ)

### “ ”の点滅

バッテリーパックが消耗すると“ ”が点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。

● 消耗したバッテリーパックを装着すると、“ ”が出ずに、すぐに電源が切れることがあります。

# よりよいビデオ撮影のために

## ビデオカメラ本体の持ちかた

一番安定した構え方の方法

- 右手でズームグリップを持ち、右脇をしめる。
- ショルダーパッドを肩に当て、ビデオカメラを固定する。
- 左手をカメラまたはレンズ側面にそえる。



## ローアングル撮影

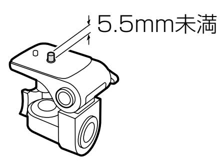
- 親指でスタート／ストップボタン、ズームなどが操作できるようにハンドルを握る。
- 左手は軽くカメラの底部にそえて安定させる。



## 三脚を使うときは

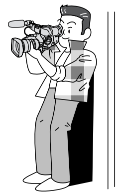
直射日光がビューファインダー内に入らないようにしてください。レンズが光を集めるためファインダー内の液晶が損傷することがあります。
EYE POINT SELECT スイッチを「FAR」にするか、ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

- 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。ネジ長が5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。




## 安定した撮影をするために

状況にあわせて構えかたを変えましょう。
ビューファインダーは角度や位置が変えられますので姿勢に合わせて調節します。



- 壁に寄りかかる



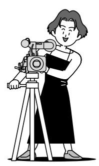
- テーブルなどを利用して本体を置く



- ひじを立てて地面に伏せる



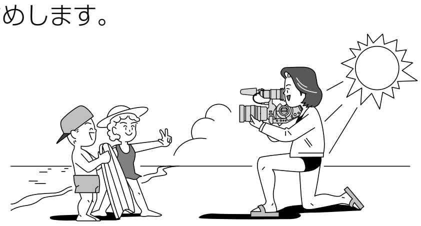
- 片膝立ちになる



- 三脚を使う

## ライティング

戸外の撮影では、一般的に太陽を背に撮影することをおすすめします。

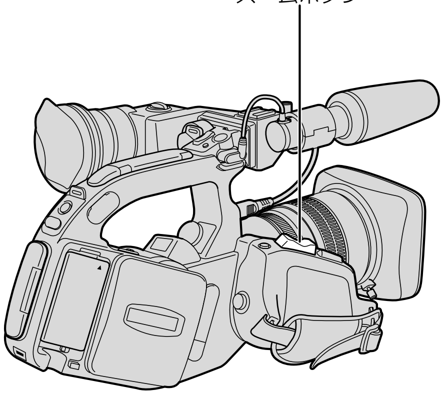


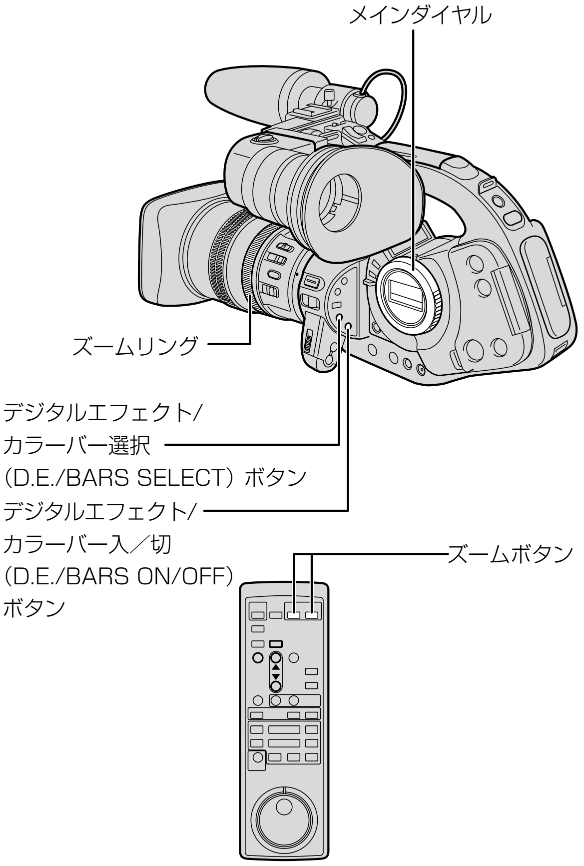
# ズーム

本機は光学ズームに加え、2倍までのデジタルズームを装備しています。*
光学ズーム、デジタルズームともに、本体のズームボタン（グリップ部とハンドル部）*、レンズのズームリング、リモコン*で操作できます。

＊ 一部操作できないレンズがあります。

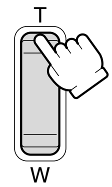
- グリップ部のズームボタンはカメラメニューの「カメラ設定」サブメニューでバリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）が選択できます。バリアブルを選んだときには、軽く押すと低速ズームに、深く押すと高速ズームになります。
- ハンドル部のズームボタンはカメラメニューの「カメラ設定」サブメニューで、L（低速）、M（中速）、H（高速）が選択できます。
- レンズのズームリングはゆっくり回すと低速ズームに、早く回すと高速ズームになります。
- リモコンのズームボタンではズームスピードは一定です。



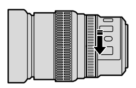




## ズームインするとき

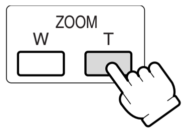
ズームボタンを
**押す**（本体）



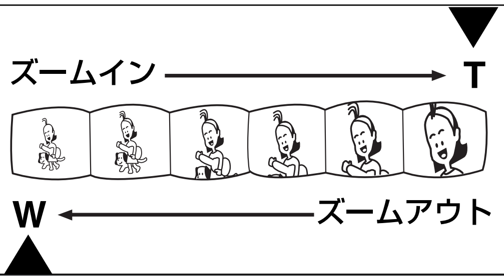

ズームリングを
**回す**（レンズ）



ズームボタンを
**押す**（リモコン）

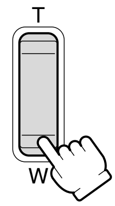



- 被写体が大きくなり、ズームインになる。
- Tはtelephoto（テレフォト）（望遠）の頭文字で、画面の一部を大きく拡大できます。

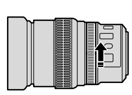



## ズームアウトするとき

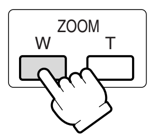
ズームボタンを
**押す**（本体）




ズームリングを
**回す**（レンズ）



ズームボタンを
**押す**（リモコン）



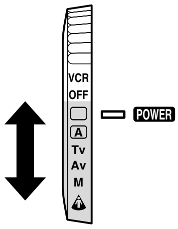

- 被写体が小さくなり、ズームアウトになる。
- Wはwide（ワイド）（広角）の頭文字で、広い範囲が撮影できます。

# ズーム…つづき

## デジタルズーム

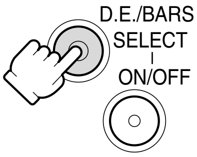
**1** メインダイヤルを

### カメラモードにする

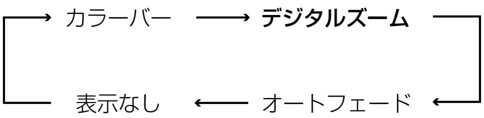



**2** D.E./BARS（デジタルエフェクト／カラーバー）SELECTボタンを

### 押す



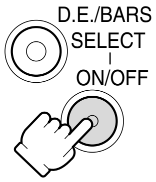

●押すたびに順番にデジタルエフェクトが表示される。




●「デジタルズーム」を選択する。表示は点滅する。

**3** D.E./BARS（デジタルエフェクト／カラーバー）ON/OFFボタンを

### 押す

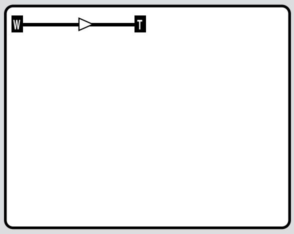



●ズーム表示が変わる。
●「デジタルズーム」表示が点灯に変わる。
●光学ズーム域を越えると、自動的にデジタルズームになる。

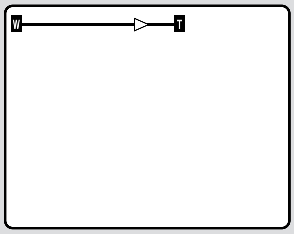
**デジタルズーム域では**
● 通常より画質が粗くなります。

### ビューファインダーの表示

ズームを操作するとズームのおよその位置を表示します。操作をやめると約3秒後に消えます。



光学ズームの時



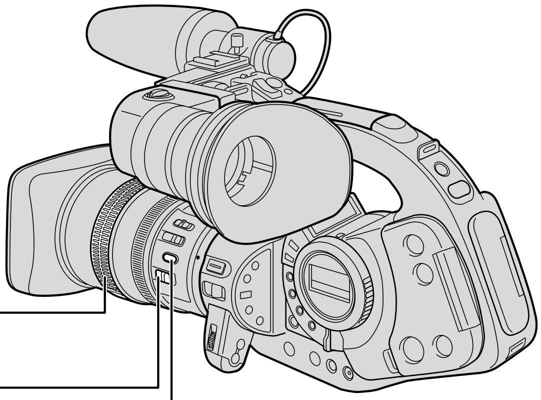
デジタルズームの時

**デジタルズームを解除するには**
● D.E./BARS（デジタルエフェクト／カラーバー）ON/OFFボタンを押して表示を点滅に戻す。

**高速ズームは**
● 構図などの設定に効果的ですが、オートフォーカスがわずかに遅れることがあります。

# ピント合わせ（フォーカス）

本機のピント合わせには、自動でピントを合わせるオートフォーカスとマニュアルでピントを合わせるマニュアルフォーカスの2種類があります。




## オートフォーカス

本機のオートフォーカスには、通常のオートフォーカスとプッシュAFの2種類があります。

### 1　通常のオートフォーカス

レンズのFOCUSスイッチがAFのときに機能します。
TTL方式のオートフォーカスで2cm（ワイドの端、レンズ先端から）〜∞（無限遠）までの被写体に自動的にピントを合わせます。
ビューファインダーの中央部にある被写体にピントが合います。

**ご注意**

- 晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込み、小絞りによるボケが生じます。このボケは、Ｔ側よりW側の方が被写体が小さく撮影されるため目立ちます。
  ＮＤフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは、カメラの警告指示に従って、ＮＤフィルターを入／切してください。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- マニュアルフォーカス時にズームを操作するときは、Ｔ側でピントを合わせてからW側にズームしてください。W側でピントを合わせてからＴ側にズームすると、ピントがボケることがあります。
  W側からＴ側へズームして撮影するときは、オートフォーカスでの撮影をお勧めします。

### 2　プッシュAF (PUSH AF)

マニュアルフォーカス時にプッシュAF（PUSH AF）ボタンを押している間だけオートフォーカスが動作します。

**オートフォーカスでは**

- Avモードで、被写界深度を考慮すると、より効果的に撮影できます。背景を大きくぼかして被写体を引き立たせたいときには絞り値を小さく設定します。
  被写体とその前後、または近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときには、絞り値を大きく（F8〜F16など）設定します。

# ピント合わせ（フォーカス）…つづき

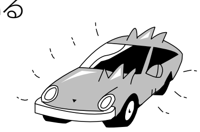
## マニュアルフォーカス

まれにオートフォーカスではピントの合いにくい場合がありますので、そのときにはマニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

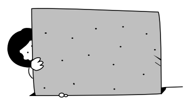
● オートフォーカス中でも、フォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

### オートではピントの合いにくい被写体

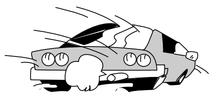
● 輝いたり、強い光が反射している



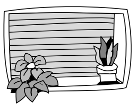
● 白い壁など、明暗の差がない



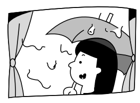
● 動きが速い



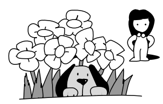
● 横じまがある



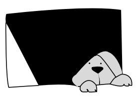
● 水滴や汚れのついたガラス越し



● 被写体が遠くと近くにある



● 暗い

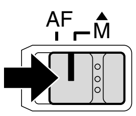


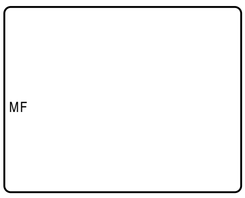
● 夜景



## 操作のしかた

**1** レンズのFOCUSスイッチを
### Mにする



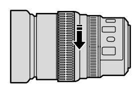

● MF 表示が出る。

**2** ズームを操作して
### T（望遠）側をいっぱいにする

**3** フォーカスリングを回して
### ピントを合わせる

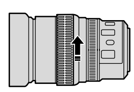
― 無限遠方向にピントを合わせる ―

**下に回す**



― 近距離方向にピントを合わせる ―

**上に回す**



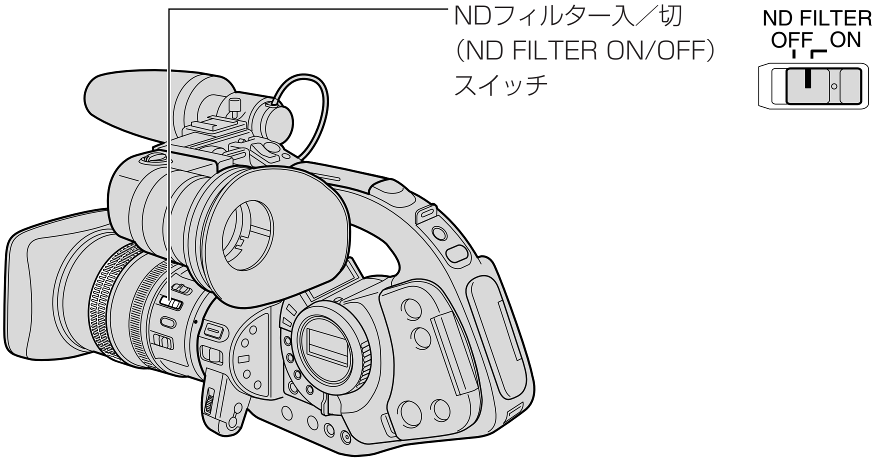
**4** ズームを操作して
### 被写体を撮りたい大きさにする

●T側でピントを合わせておくと、そのままズーム全域でピントの合った撮影ができます。

●マニュアルフォーカス時に電源を入れた状態で放置するとピントがぼける場合があります。これはレンズおよびカメラ内部の温度上昇によりピント面がわずかですが移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

# NDフィルターを使う（NDフィルター内蔵レンズ使用時）

晴れた日の屋外など、明るいシーンを撮影するときに、絞りが絞り込み小絞りによるボケ*が生じます。
このようなとき、NDフィルターを使用すると、このボケを防ぐことができます。
NDフィルターが内蔵されているレンズを使用するときは以下の警告表示に従って、NDフィルターを入／切してください。




### □（全自動）または Ⓐ（オート）モードで撮影一時停止中または撮影中

| 表示 | 表示内容 | 操作 |
|---|---|---|
| 表示なし | 内蔵NDフィルターが入っていない | ――― |
| ND点灯 | 内蔵NDフィルターが入っている | ――― |
| “ND ON”点滅 | 内蔵NDフィルターが必要 | NDフィルタースイッチを「ON」にする |
| ND “ON”点滅 | 外付けのNDフィルターが必要 | レンズにNDフィルターを装着する※ |
| ND “OFF”点滅 | 内蔵NDフィルターは不要 | NDフィルタースイッチを「OFF」にする |

※ 外付けNDフィルターがない場合には Tvモードでシャッタースピードを速めに設定するか、Avモードで絞りを開いてください。

● NDフィルターを入／切すると絞りの設定が変わります。必要に応じてAvモードで絞りを調整してください（76ページ参照）。
● シーンによってはNDフィルターを入／切するとわずかに発色が変化する場合があります。このような場合はホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（82ページ参照）。

* 小絞りによるボケとは
屋外などの明るい場所で撮影すると、光の量を調整するために絞りが閉じてゆき絞り径が極端に小さくなったときに、ボケが生じることがあり、この現象を小絞り回折、または小絞りによるボケと呼びます（使用するレンズの種類によりボケが発生する絞り径は異なります）。
● NDフィルターを入れたり、シャッターを高速にして光の量を減らすと絞りが開き、ボケを防ぐことができます。

# 音声の記録

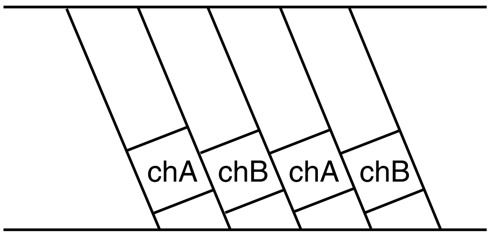
録音レベル調整は必ず市販のヘッドフォンでモニターをしながら行ってください。

本機では音声記録は16bitと12bitが選択でき、さらに12bitでは アフレコなどのために2チャンネルを残したモード(12bit ST-1) と最大4チャンネルまで同時に記録できるモード(12bit ST-1、2)が選択できます。

## 本機での音声の記録方式

### 16bit

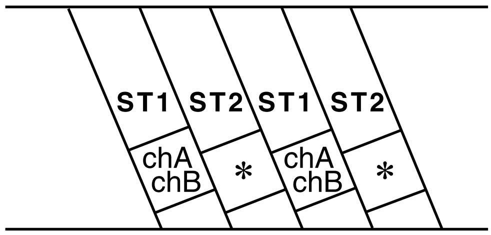
チャンネルAにL、チャンネルBにRが記録されます。




1. 16bit 2チャンネル

### 12bit ST-1

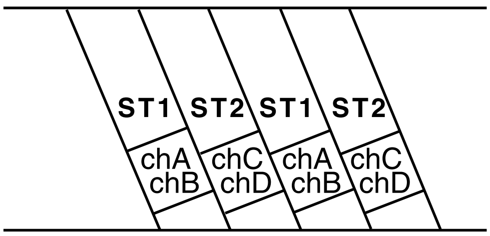
ステレオ1 （ST1）にチャンネルA、Bが記録されステレオ2はあきになります。




2. 12bit 2チャンネル

### 12bit ST-1,2

ステレオ1 （ST1）にチャンネルA、Bが記録され、ステレオ2（ST2）にチャンネルC、Dが記録されます。

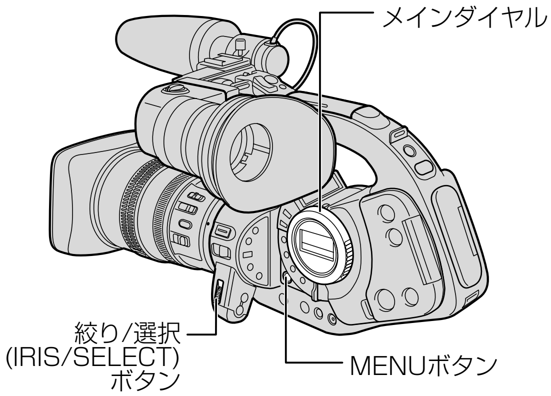



3. 12bit 4チャンネル

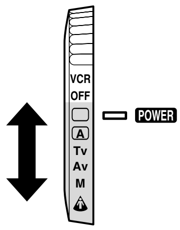
## オーディオモードの選択

3種類のオーディオモードの選択はメニューの「VCR設定」サブメニューの「オーディオモード」で行います。

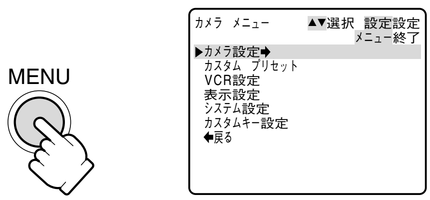
### 設定のしかた




**1** メインダイヤルを
**カメラモードにする**

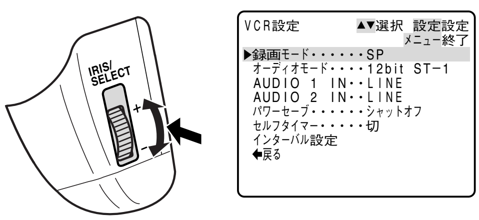



**2** MENUボタンを
**押す**



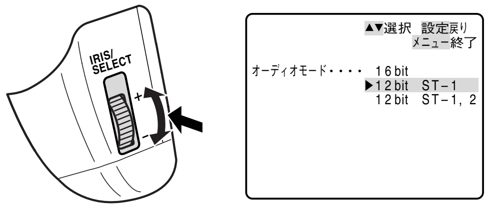

- メインメニューが出る。

**3** メインメニューから
**「VCR設定」を選ぶ**



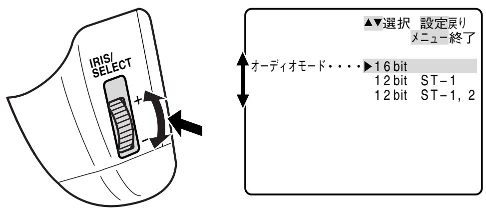

- 「VCR設定」サブメニューが出る。

**4** 「VCR設定」サブメニューから
**「オーディオモード」を選ぶ**

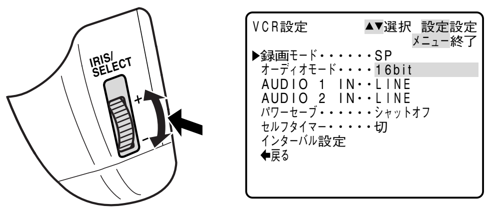



- 「オーディオモード」だけの表示になる。

**5** **オーディオモードを選ぶ**

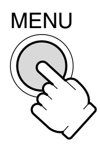



**6** **設定する**




- サブメニューに戻る。

**7** MENUボタンを
**押す**




- メニュー表示が消える。

撮影編

# 音声の記録…つづき

## 2チャンネルで録音する

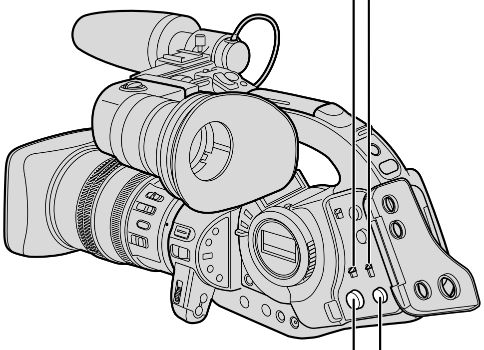
### 付属のマイクで録音する

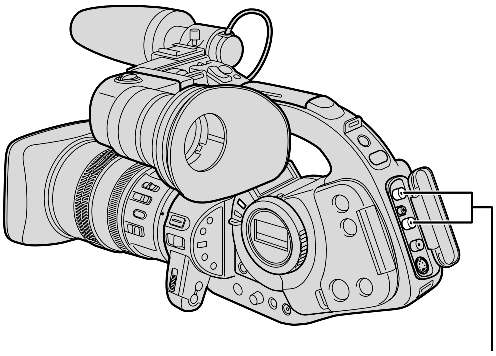
付属のマイクの音声端子／DC端子を本機に接続します。

● 付属のマイクの代わりに市販のステレオミニプラグのマイクロホンを接続して録音することもできます。
市販のマイクを使用する場合はインピーダンス600Ωのステレオマイクをお使いください。

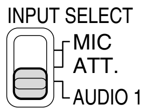
### AUDIO 1（RCA端子）から入力して録音する

マイクの出力端子をAUDIO 1のRCA端子に接続します。AUDIO 1（RCA端子）から入力して録音する場合には別売のマイクロホンアダプター／ショルダーパッドMA-100またはMA-200を使用して2本のモノラルマイクでL、Rに独立した音声を録音することもできます。




**1** INPUT SELECTスイッチを
**AUDIO 1にする**




**2 カメラメニューの「VCR設定」サブメニューのAUDIO 1 INで入力信号のレベルを選択する**




LINE：VTRやマイクミキサーなどのラインレベルの信号を録音する場合
MIC ATT 20：感度の高いマイクの信号や大きな音を録音する場合
MIC：通常のマイクレベルの信号を録音する場合

●あとでアフレコをする場合はメニューの「VCR設定」サブメニューの「オーディオモード」で「12bit ST-1」を選んでください。

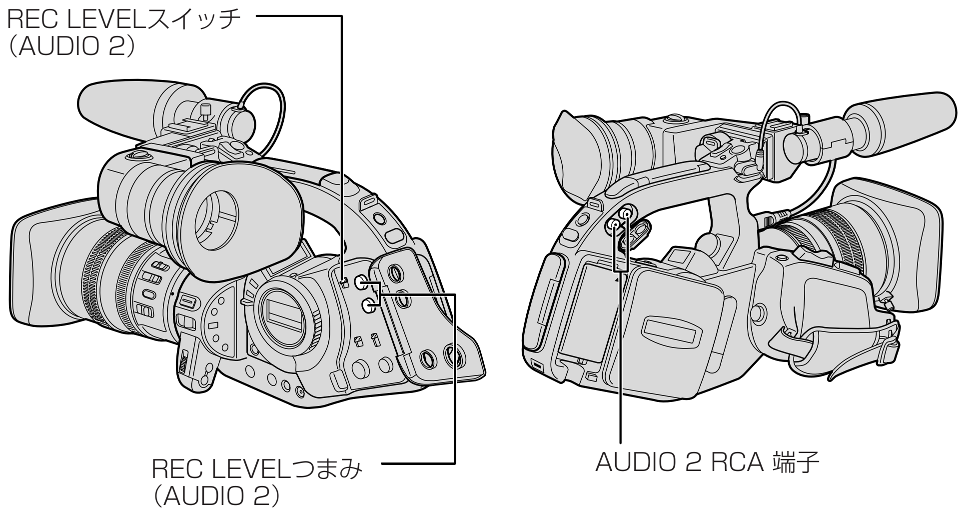
## 4チャンネルで録音する

本機では最大4チャンネルの同時収録ができます。
ステレオ1（ST1）へは2チャンネル録音と同様に、
❶ ステレオミニジャックマイク端子を使用して付属マイクまたは外部マイク、
❷ RCA端子のAUDIO 1 を使用してマイクレベルまたはラインレベル信号が入力できます。

● ステレオ1（ST1）については、64ページと同じ操作をしてください。

ステレオ2（ST2）へは、
RCA端子のAUDIO2を使用してマイクレベルまたはラインレベル信号が入力できます。

また、別売のマイクロホンアダプター/ショルダーパッドMA-200を使用するとステレオ1とステレオ2に同時に4本のバランス出力マイクから入力することもできます。




### ステレオミニプラグの外部マイク、または付属のマイクを使用する場合

● ステレオミニプラグ→RCAステレオの変換ケーブルを使用してマイクを接続します。

カメラメニューの「VCR設定」サブメニューにある AUDIO 2 INで入力信号のレベルを選択する

| | |
|---|---|
| LINE | ：VTRやマイクミキサーなどのラインレベルの信号を録音する場合 |
| MIC ATT 20 | ：感度の高いマイクの信号や大きな音を録音する場合 |
| MIC | ：通常のマイクレベルの信号を録音する場合 |




### 別売のマイクロホンアダプター／ショルダーパッドMA-100またはMA-200を使用してバランス出力マイクから入力する場合

カメラメニューの「VCR設定」サブメニューにある AUDIO 2 INで入力信号のレベルを選択する

| | |
|---|---|
| MIC ATT 20 | ：感度の高いマイクの信号や大きな音を録音する場合 |
| MIC | ：通常のマイクレベルの信号を録音する場合 |



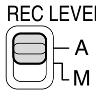
# 音声の記録…つづき

## 録音レベルの調整

### 2チャンネル録音

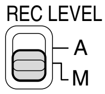
**レベル調整をオートで行う**

**1** REC LEVELスイッチを
**Aにする**



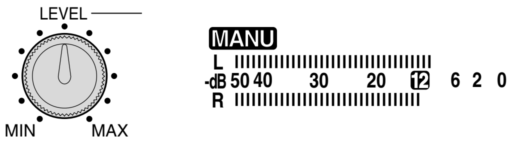

**レベル調整をマニュアルで行う**

**1** REC LEVELスイッチを
**Mにする**




●AUDIO MONITORボタンを押してST1を選択するか、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューでAUDIO 1 INを選択すると、ステレオ1（ST1）のオーディオモニターができます。

**2** REC LEVELつまみを回し
**オーディオレベルメーターの12より右が時々点灯するようにする**



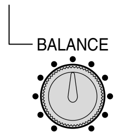

・REC LEVELつまみでレベルを下げても、入力レベルが高すぎる場合には、音声が歪むことがあります。

**音声が歪むときは**

❶ 付属のマイクやステレオミニプラグのマイクロホンを使用しているとき：
AUDIO 1 INPUT SELECTスイッチを ATTにしてください。

❷ AUDIO 1のRCA 端子を使用しているとき：
カメラメニューの「VCR設定」サブメニューでAUDIO 1 INの設定をMICにしている場合はMIC ATT 20に、MIC ATT 20の場合はLINEに設定してください。

**3** 必要に応じてBALANCEつまみで
**L、Rのバランスを調整する**



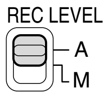

### 4チャンネル録音

チャンネルA、Bのレベル調整のしかたは「2チャンネル録音」と同じです。

**チャンネルC、Dのレベル調整**

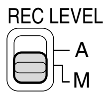
**レベル調整をオートで行う**

**1** REC LEVELスイッチを
**Aにする**



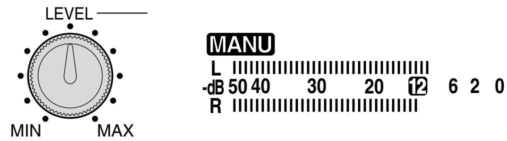

**レベル調整をマニュアルで行う**

**1** REC LEVELスイッチを
**Mにする**




●AUDIO MONITORボタンを押してST2を選択すると、ステレオ2（ST2）のオーディオモニターができます。

**2** REC LEVELつまみを回し
**オーディオレベルメーターの12より右が時々点灯するようにする**




REC LEVELつまみでレベルを下げても、入力レベルが高すぎる場合には、音声が歪むことがあります。このようなときは、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューでAUDIO 2 INの設定をMICにしている場合はMIC ATT 20に、MIC ATT 20の場合はLINEに設定してください。
AUDIO 2 では録音レベルのコントロールは左右独立しています。

## オーディオモニター（カメラモード）

カメラモードでのヘッドフォン端子でのオーディオ出力は下記のようになります。

### ● 2チャンネル録音時

16bit ：AUDIO MONITORボタンは機能せず、チャンネルAがLに、チャンネルBがRに出力されます。
オーディオレベルモニターにモードの表示はありません。

12bit ST-1 ：AUDIO MONITORボタンは機能せず、ステレオ1のチャンネルAがLに、チャンネルBがRに出力されます。
オーディオレベルメーターにST1が表示されます。

### ● 4チャンネル録音時

12bit ST-1,2 ：AUDIO MINITORボタンを押すたびに、ステレオ 1、ステレオ 2、ステレオ 1 ／ステレオ 2のミックスが切り換わります。
オーディオレベルメーターにST1、ST2、MIX がそれぞれ表示されます。

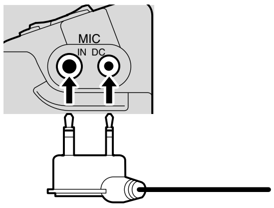
・ カメラモードでは、VCRメニューの「VCR設定」サブメニューのミックス選択をバリアブルにしていても1：1の固定出力になります。

● レベル調整を行うときはオーディオモニターはMIXを選択しないでください。音声が合成され、正しいレベル調整ができません。

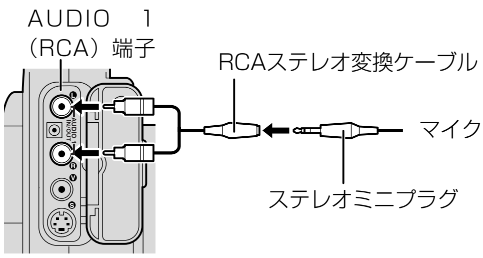
## 使用する音声入力端子について

### 2チャンネル録音時

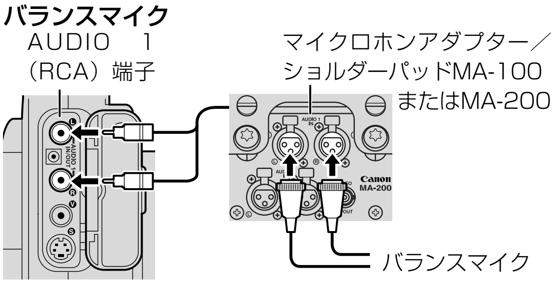
● 付属マイク




● ステレオミニプラグマイク




● バランスマイク

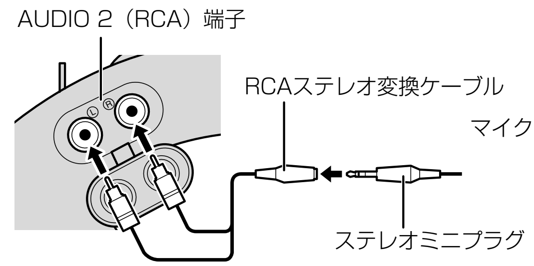



### 4チャンネル録音時

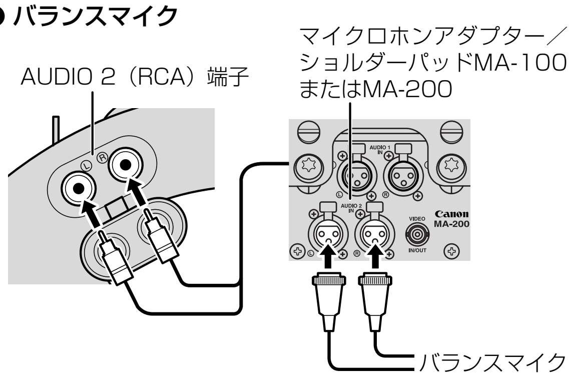
AUDIO 1端子は2チャンネル録音時と同じです。

AUDIO 2端子

● ステレオミニプラグマイク



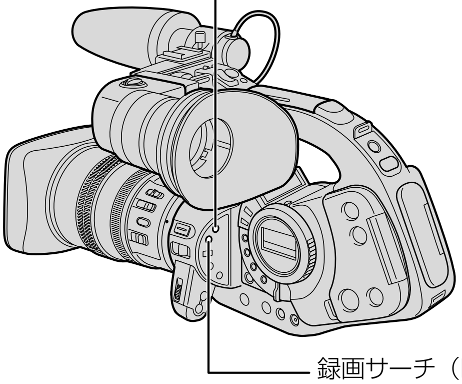

● バランスマイク




撮影編

# 撮影内容を確認する（録画チェック）／つなぎ撮り（録画サーチ）

● 音声は聞こえません。



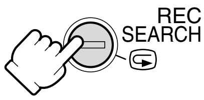

## 録画チェック ⊡

最後に撮影した場面(約3秒間)を再生して、ビューファインダーで確認できます。

**撮影一時停止中**

録画チェックボタン⊡を

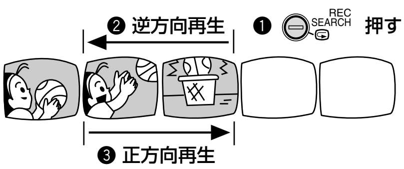
**ポンと押す**




● 最後に撮影した場面が約3秒間再生され、一時停止に戻る。

**録画チェックとは**

撮影一時停止状態で、撮影した最後の場面（3秒間分）を❷、❸ の順番で再生する機能です。




## 録画サーチ

撮影した場面を正方向、逆方向に再生して撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

**撮影一時停止中**

**ー正方向の再生ー**

録画サーチ＋ボタンを

**押し続ける**




**ー逆方向の再生ー**

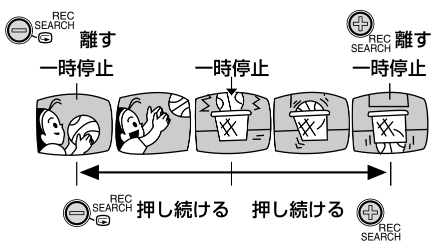
録画サーチーボタンを

**押し続ける**




**録画サーチとは**

一時停止状態で、続けて撮影したい場面などを探す機能です。



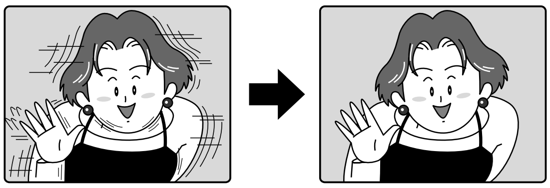

**録画サーチ中は**

● 画面が多少乱れます。

# 手ぶれの少ない画面で撮影する

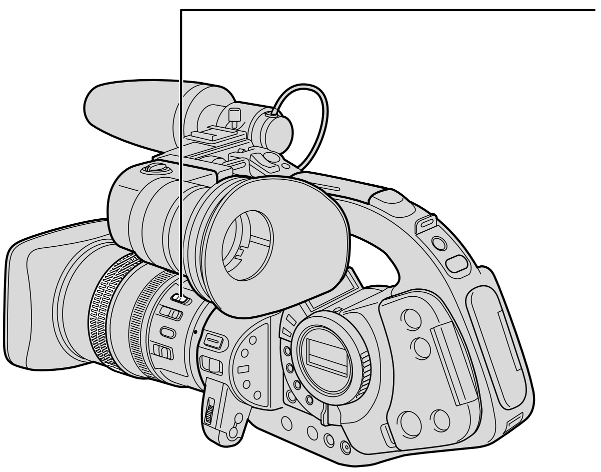
## （手ぶれ補正機能付きレンズ使用時）

手持ちや肩に載せて撮影するときに手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

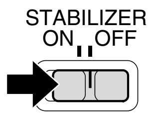



通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除することができます。

### 手ぶれ補正の解除のしかた



**1** レンズのIMAGE STABILIZERボタンを
**OFFにする**




- □（全自動）モードでは、手ぶれ補正は解除できません。
- 手ぶれ補正機能を使用するときは、IMAGE STABILIZERスイッチをONにする。
- 手ぶれが大きすぎると、補正されないことがあります。
- 別売のエクステンダーを取り付けると、手ぶれ補正がききにくくなります。

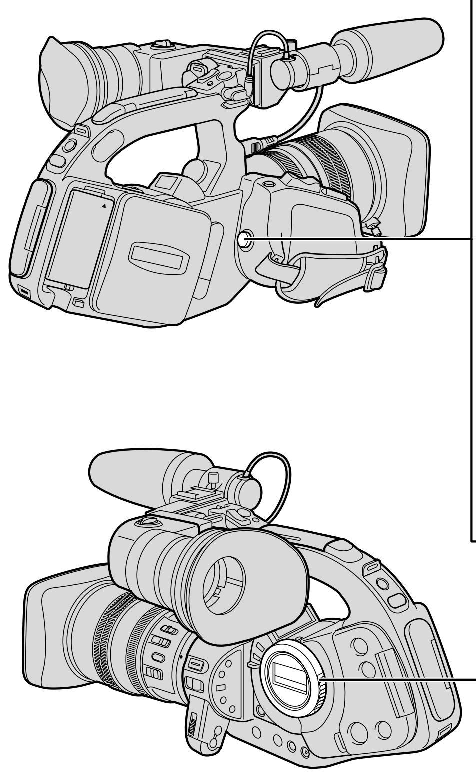
撮影編

三脚などを使用して撮影をするときは
- 手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

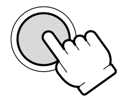
# 撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

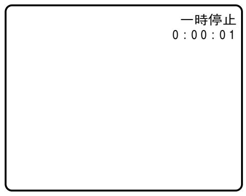
被写体の条件に合わせて最適なモードが選べる6種類の撮影モードを搭載しています。

## 操作のしかた

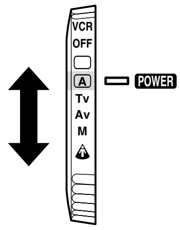


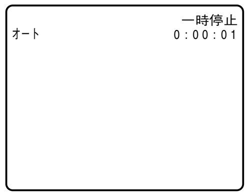
**1** 撮影一時停止にする





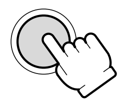

**2** メインダイヤルを回す

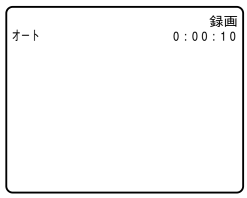



- 撮影モードを選択する。
- 選んだモード表示が出る。

**3** スタート／ストップボタンを
**押す**






- 撮影が始まる。

**撮影中は**

- メインダイヤルを切り換えないでください。撮影モードを変えると映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。

## 撮影モードの選択

□（全自動）モード、スポットライトモードは、撮影場面に合った撮影ができるようにすべてが自動設定されています。Ⓐ（オート）モード、Tvモード、Avモード、マニュアルモードでは撮影の状況に合わせて細かく設定できます。

● 撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

<table>
<tr><th>撮影モード</th><th>□（全自動）モード</th><th>Ⓐ（オート）モード</th><th>Tvモード</th><th>Avモード</th><th>マニュアルモード</th><th>スポットライトモード</th><th>露出ロック時</th></tr>
<tr><td>EXP LOCKボタン</td><td>×</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>―</td></tr>
<tr><td>IRISダイヤル</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>○＊1</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>SHUTTERボタン</td><td>×</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×＊1</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>AE LEVEL ダイヤル</td><td>×（0に固定）</td><td colspan="3">○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>GAINつまみ</td><td>×（オートに固定）</td><td colspan="4">○</td><td>×（0dBに固定）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE ダイヤル</td><td>×（オートに固定）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>WHITE BALANCE セットボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>カラー、シャープネス、セットアップレベルの調整</td><td>○</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CSTM PRESET SELECTボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CSTM PRESET ON/OFFボタン</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CSTM KEY1 ボタン</td><td>○</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>CSTM KEY2 ボタン</td><td>○</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>動画モード</td><td>×（ノーマルに固定）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>16：9</td><td>×（切に固定）</td><td colspan="6">○</td></tr>
<tr><td>クリアスキャンの周波数選択</td><td>×</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>○＊2</td><td>×</td><td>○＊2</td></tr>
<tr><td>クリアスキャンの実行</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×＊3</td></tr>
<tr><td>カラーバー</td><td colspan="7">○</td></tr>
<tr><td>デジタルズーム</td><td colspan="7">○</td></tr>
<tr><td>オートフェード</td><td>×</td><td colspan="6">○</td></tr>
</table>

＊1：露出ロックをすると使用できます。
＊2：クリアスキャン実行中に周波数が選択できます。
＊3：Tvモードでクリアスキャン実行中に露出ロックすると、シャッターボタンは無効になります。

# 撮影場面や目的に合わせて撮る(撮影モード)…つづき

● 組み合わせるレンズによって、撮影モードで使用できる機能が異なります。

### 16xIS Ⅱ/16xISレンズと3xワイドレンズの場合

| | □（全自動）モード | □（全自動）モード以外 |
|---|---|---|
| マニュアルフォーカスリング | ○ | |
| ズームリング | ○ | |
| 手ぶれ補正（入/切）＊1 | ×（ONに固定） | ○ |
| NDフィルター（入/切） | ○ | |
| フォーカスモード切り換え | ×（オートフォーカスに固定） | ○ |
| プッシュAFボタン | × | ○ |

*1：16xIS Ⅱ/16xISレンズの場合

### 16xマニュアルレンズの場合

| | □（全自動）モード | □（全自動）モード以外 |
|---|---|---|
| ズームリング | ○ | |
| NDフィルター選択リング | ○ | |
| ズームスピード切り換えスイッチ | × | ○ |

### □（全自動）モード

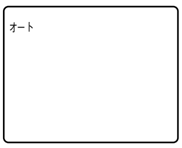
すべてをカメラまかせで撮影できます。ズームとスタート／ストップボタンを押すだけで簡単に撮影できるモードです。





### A（オート）モード

すべてをカメラまかせで撮影できるモードです。

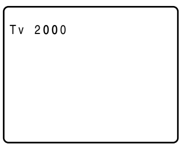






### Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードをマニュアルで設定できます。スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。
Tvモードでは絞りは自動で調節されます。






## Av（絞り優先：Aperture Value）モード

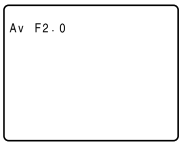
絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立てることができます。

Avモードではシャッタースピードは自動で調節されます。

### こんなときに使います

屋外で被写体を引き立てて撮影する場合。奥行きのある映像のなかで被写体を引き立てて撮影する場合。

- ズームの望遠側で撮影すると、背景のボケの効果がより大きくなります。

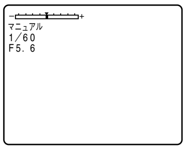






## M マニュアルモード

絞り、シャッタースピードがマニュアルで設定できます。ねらい通りの画創りに最適です。







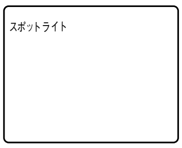
## スポットライト

スポットライトなど範囲の狭い照明が当っている被写体を鮮明に撮影できます。

こんなときに使います

### こんなときに使います

結婚式のスポットライトで照明されたシーンや、発表会の舞台などを撮影する場合





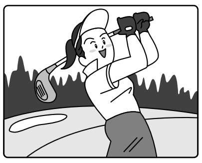

# Tvモードによる撮影

シャッタースピードをマニュアルで設定し、低照度からスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。12段階のシャッタースピード（1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒、1/4000秒、1/8000秒、1/15000秒）がありますので、下記の目安を参考にして選んでください。

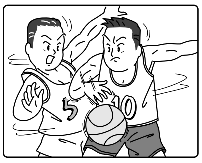
● 1/100秒以上の高速シャッターを使うことで、晴天下などの明るい場所で絞りが自動的に絞られることによる小絞りを防ぐことができます。

**高速シャッターで撮影するときの目安**

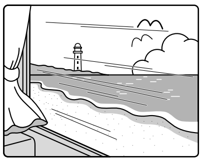
● 晴天下で、テニスやゴルフなどのスポーツをしている人を撮影するとき
～1／4000秒



● 屋内でスポーツをしている人を撮影するとき
1／100秒



● 自動車や列車などから外を撮影するとき
● ジェットコースターなどの動きの速い乗り物などを撮影するとき
1／1000秒、1／500秒、1／250秒



**蛍光灯下での撮影について**

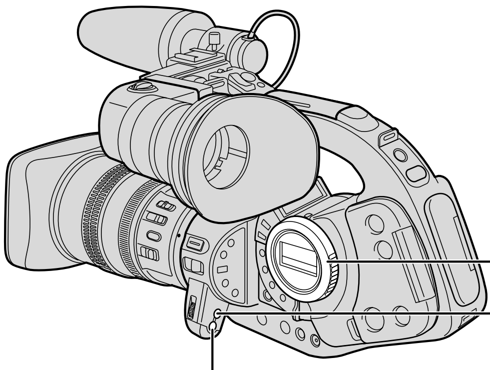
ビューファインダーの画面がちらつくときは、Tvモードを選び1／100秒の高速シャッターを選んでください。

**スローシャッターによる撮影**

1/8秒、1/15秒、1/30秒のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

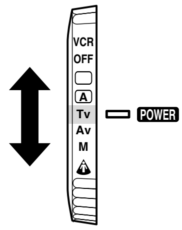
● スローシャッターを低照度下で使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
● ピントはオートのままでは合いにくいことがあります。

## 操作のしかた

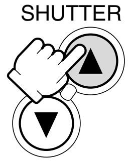


**1** 撮影を一時停止して

### Tvモードを選ぶ

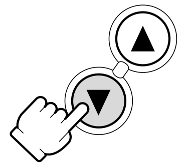



### 2 ▲を押す




- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

### ▼を押す




- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

ボタンを押すとシャッタースピードは次のように変わります。

1/8秒 ↔ 1/15秒 ↔ 1/30秒 ↔ 1/60秒 ↔ 1/100秒 ↔ 1/250秒 ↔ 1/500秒
↕
1/1000秒
↕
1/2000秒
↕
CS（クリアスキャン） ↔ 1/15000秒 ↔ 1/8000秒 ↔ 1/4000秒

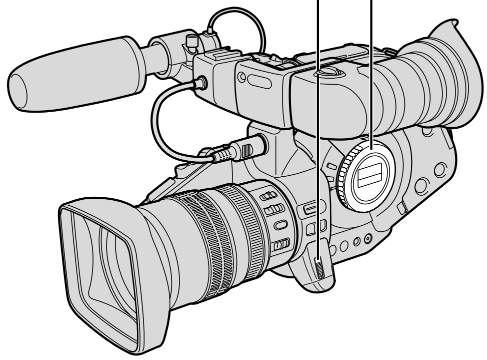
- SHUTTERボタンで調節したシャッタースピード以外（絞り値など）はオートで調節されます。
- 設定したシャッタースピードは露出ロックを操作して露出を変更すると設定された値はバックアップされません。
- 選択したシャッタースピード表示が点滅することがあります。これは、選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
  このようなときは、表示が点灯になるようにSHUTTERボタンで設定を変えてください。
  また、内蔵NDフィルターを使用している場合は、「切」にしてから再設定してください。

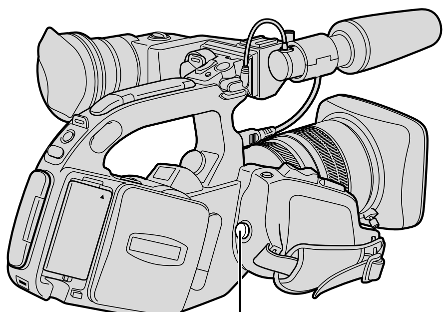
# Avモードによる撮影

絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。9段階の絞り（F1.6、F2.0、F2.8、F4.0、F5.6、F8.0、F11、F16、CLOSE：XL5.5-88mm ISⅡレンズの場合）がありますので、場面に応じて選んでください。

絞り/選択(IRIS/SELECT)ダイヤル

メインダイヤル



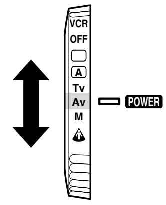


スタート／ストップボタン

## 1

撮影を一時停止して

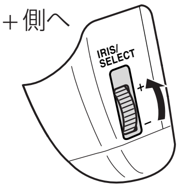
**Avモードを選ぶ**




## 2

IRIS/SELECTダイヤルを＋側へ

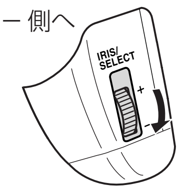
**回す**




- 絞りが開き、被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

IRIS/SELECTダイヤルを－側へ

**回す**




- 絞りが閉じ、被写界深度（ピントの合う範囲）が深くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

ダイヤルを回すと絞りは次のように変わります。

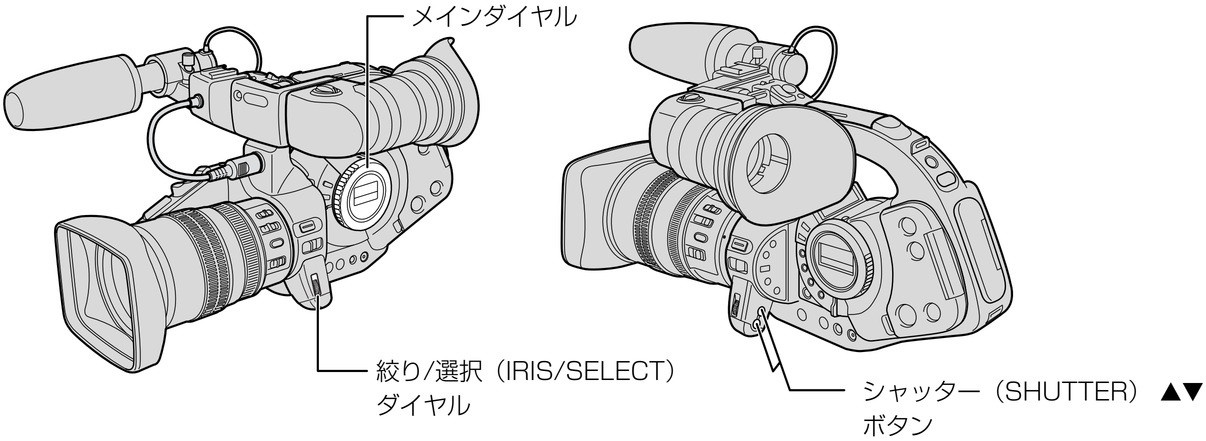
F1.6 ↔ F2.0 ↔ F2.8 ↔ F4.0 ↔ F5.6 ↔ F8.0 ↔ F11 ↔ F16 ↔ CLOSE

- IRIS/SELECTダイヤルで調節した絞り値以外（シャッタースピードなど）はオートで調節されます。
- 設定した絞り値は露出ロックを操作して露出を変更すると設定した値はバックアップされません。
- ゲインがAUTO（オート）になっているときに、選択した絞り値表示が点滅することがあります。これは選んだ絞り値が適切でないことを示しています。
  このようなときは、表示が点灯になるように IRIS/SELECTダイヤルで絞り値を変えてください。
- 絞り値をF11などに設定することにより被写界深度を深く、開放F1.6にすることにより被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。
  - ・レンズの内蔵NDフィルターが ON になっているときに、絞りこんでいくと画面が暗くなることがあります。このようなときは、レンズの内蔵NDフィルターを「切」にして、再設定してください。
  - ・晴れた日の屋外などで撮影中（□（全自動）モード、A（オート）モード）に“ND ON”／ND“OFF”の警告が頻繁に出るような場合には、Avモードで絞りの設定をF5.6〜F11などに変えて撮影することも有効です（シャッターは標準より速くなります）。

# マニュアルモードによる撮影

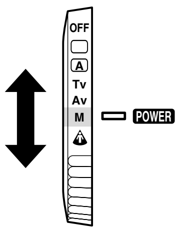
マニュアルモードではシャッタースピード（27段階）と絞り（28段階：16× ISⅡレンズの場合）が自由に設定できます。
被写界深度を維持しながら明るさを変えたり、場面の転換に明るさを変えたりなどクリエイティブな画創りができます。

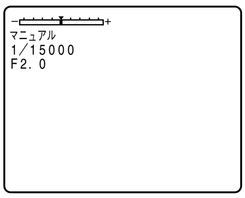
## 操作のしかた




**1** 撮影を一時停止して

**M（マニュアル）モードを選ぶ**




- ビューファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標：▼
　標準の露出レベルを表示します。

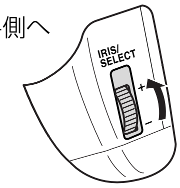
② 露出レベルの指標：▮
　現在の露出レベルを表示します。（+）（−）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。

- 露出メーターは目安としてお使いください。

### 絞りを調節する

**2** 絞りを調節する
IRIS/SELECTダイヤルを+側へ

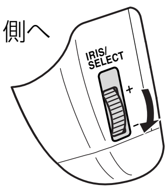
**回す**




- 絞りが開き、被写界深度（ピントの合う範囲）が浅くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

IRIS/SELECTダイヤルを－側へ

**回す**




- 絞りが閉じ、被写界深度（ピントの合う範囲）が深くなる。
- 選んだ絞り値表示が出る。

ダイヤルを回すと絞りは次のように変わります。

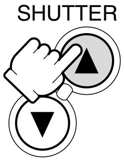
F1.6 ↔ F1.8 ↔ F2.0 ↔ F2.2 ↔・・・
F8.0
CLOSE ↔ F16 ↔ F15 ↔ F14 ↔・・・

撮影編

# マニュアルモードによる撮影…つづき

## シャッタースピードを調節する

▲ を
**押す**




- シャッタースピードが速くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

▼ を
**押す**




- シャッタースピードが遅くなる。
- 選んだシャッタースピード表示が出る。

ボタンを押すとシャッタースピードが次のように変わります。

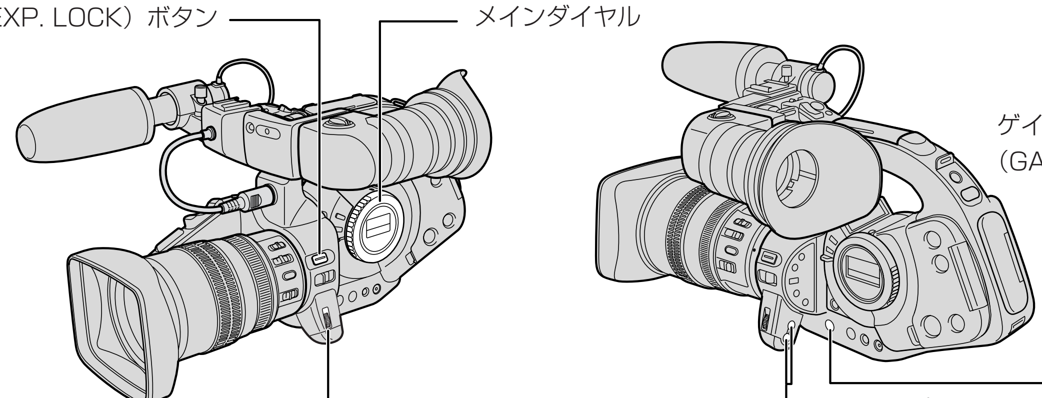
1/8秒 ⟷ 1/15秒 ⟷ 1/30秒 ⟷ 1/60秒 ⟷ 1/75秒 ⟷ 1/90秒 ⟷ ・・・

1/1000秒
↕
1/2000秒

CS（クリアスキャン）⟷ 1/15000秒 ⟷ 1/8000秒 ⟷ 1/4000秒 ⟷ 1/3000秒 ⟷ ・・・

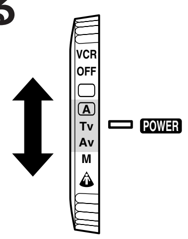
# 露出ロック

EXP. LOCKボタンを押して露出をロック（固定）すると、画面はそのときの明るさで固定されます。
また、露出ロックしたあと任意にシャッタースピード、絞り値やゲインの変更ができます。

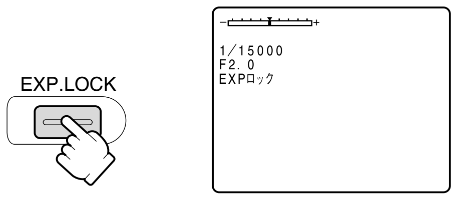



## 露出をロックする

**1** メインダイヤルを
**Ⓐ（オート）、 Tv、Av のいずれかにする**




**2** EXP. LOCKボタンを
**押す**




- 露出がその明るさのままロック（固定）される。
- ビューファインダーに露出メーターが表示される。

① 標準露出レベル指標： ▼
　標準の露出レベルを表示します。
② 露出レベルの指標： ▮
　現在の露出レベルを表示します。（＋）（－）両方向とも、2段まで表示し、2段以上の場合は点滅します。
- 露出メーターは目安としてお使いください。

### 露出ロックをしたあと絞り値を変える

- 露出ロックで絞り値を変える場合は、28段階（16× ISⅡレンズの場合）で調整できます。
- 絞りは1/4段で調整できますがビューファインダーの表示は下記のようになります（16× ISⅡレンズの場合）。

F1.6 ←→ F2 ←→ F2.8 ←→ F4
↕
F5.6
↕
CLOSE ←→ F16 ←→ F11 ←→ F8

### 露出ロックをしたあとシャッタースピードを変える

- 露出ロックでシャッタースピードを変える場合は、12段階（16× ISⅡレンズの場合）で調整できます。

### 露出ロックをしたあとゲインを変える

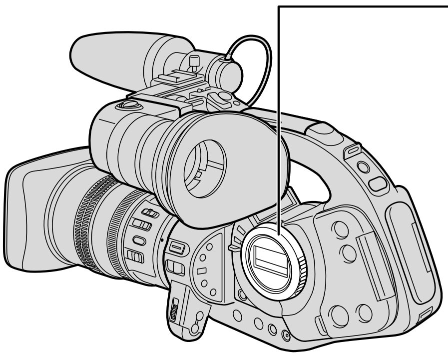
- 露出ロックでゲインを変える場合も6段階で調節できます。

撮影編

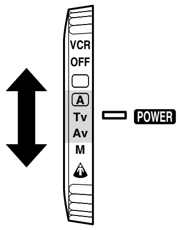
# AEレベル補正

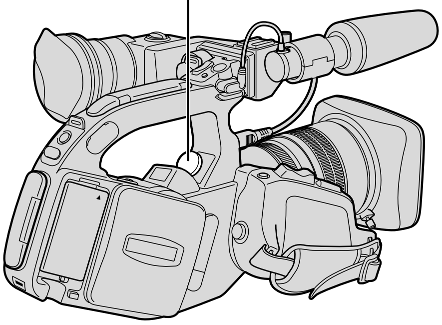
AEレベルを13段階（+2.0、+1.5、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、±0、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.5、−2.0 ）で調節でき、明るめや暗めに撮影するときに使用します。
逆光の補正や被写体の白とびをおさえるときに有効です。

## 操作のしかた

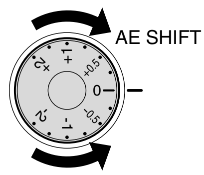


**1** メインダイヤルを
**[A]（オート）、Tv、Av のいずれかにする**



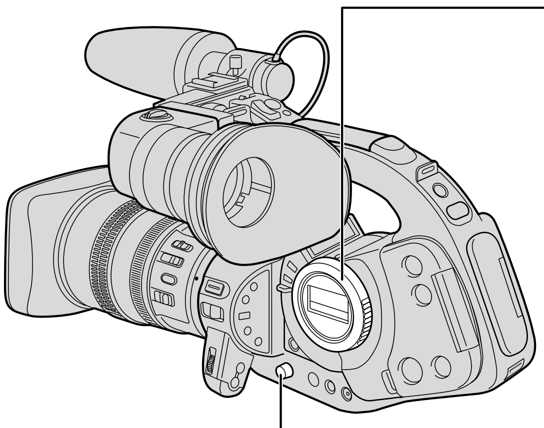
**2** AE SHIFTダイヤルを
**回す**




- 明るめに撮影するときは、＋方向に回す。
- 暗めに撮影するときは、ー方向に回す。

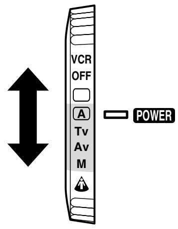
# ゲインを調整する

● GAINつまみは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとつまみが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。



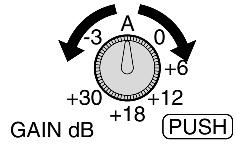
**1** メインダイヤルを

**□（全自動）モードとスポットライトモード以外のカメラモードにする**




**2** GAINつまみを回して

**調整する**




| | |
|---|---|
| −3dB： | 室内、低照度やコントラストの低いシーンでノイズの少ない撮影ができます。 |
| A(Auto)： | ゲインは自動調整になります。 |
| 0dB： | 夜景などの撮影のときに、ノイズが少なく、色のりのよい撮影ができます。 |
| +6dB／+12dB／+18dB／+30dB： | 暗いとき（絞り解放時）、室内や低照度のシーンで明るく撮影できます。 |

また、ゲインを上げることにより、絞りを絞る動作になり、被写界深度を深くできます。

**ゲイン値を上げすぎると**

●画面が多少ざらつくことがあります。

# ホワイトバランス

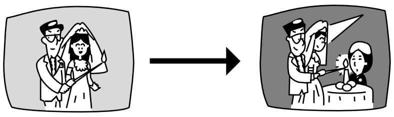
白い紙は、いつも白く見えているようですが、蛍光灯、太陽光など光源が変わると微妙に色は変化しています。人の目は順応性がありますので、その微妙な色合いを同じ色として見ています。ビデオカメラではこのような順応性がないため、そのままでは光源によって画面が青くなったり、赤くなったりしてしまいます。そこで白い紙が白く映るように調整するのがホワイトバランスの調整です。

本機ではホワイトバランスはオートのほかに、屋外 ☼（5600Kの太陽光）と室内 💡（3200Kのランプ）があり、さらにホワイトバランスセットでは3つまで登録することができます。

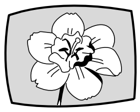
● 蛍光灯は、オートまたはセットで撮影してください。

## オートではホワイトバランスの調節がしにくい場合

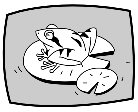
次のような場合は自動では色合いを調節できないことがあります。ビューファインダーで色が不自然に見えるときは、ホワイトバランスのセットなどをしてください。



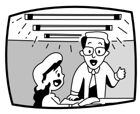
● 照明条件が急に変わるとき



● クローズアップ撮影をするとき



● 単一色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき

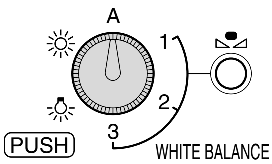


● 水銀灯と一部の蛍光灯で撮影するとき

● WHITE BALANCEダイヤルは誤操作をふせぐため、通常は操作できないようになっています。押し込むとつまみが出て操作できるようになります。調整が終わったら再度押し込んでください。

### オートの設定をする

WHITE BALANCEダイヤルをAにする。

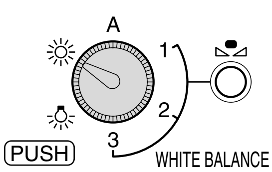



### 屋外の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを ☼ にする。

●夜景や花火などを撮るとき

●朝日や夕焼けなどを撮るとき



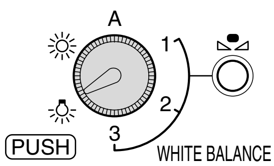

### 屋内の設定をする

WHITE BALANCEダイヤルを 💡 にする。

●パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき

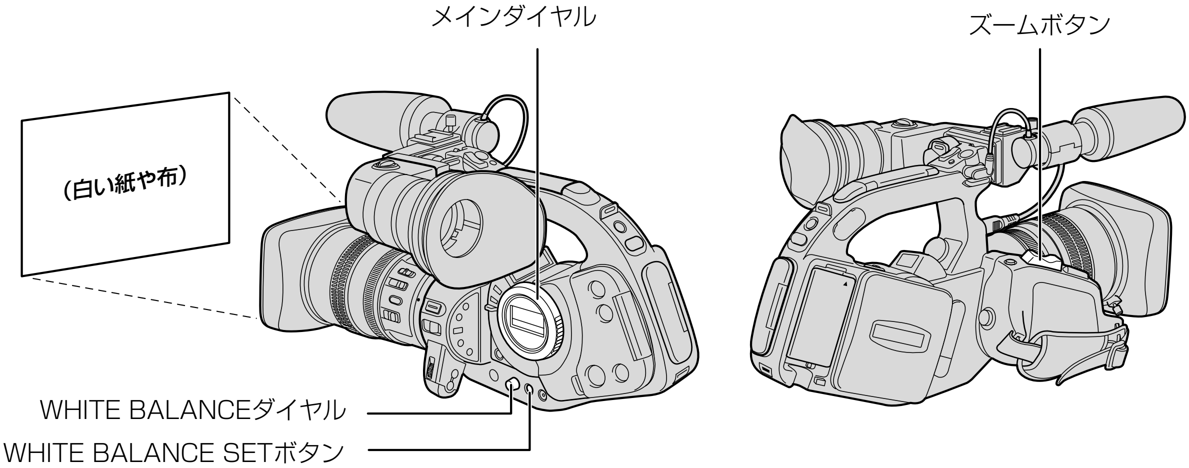
●スタジオなどでビデオライトの照明で撮るとき

●ナトリウムランプの照明で撮るとき

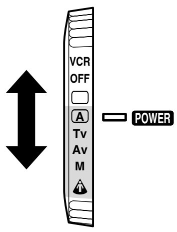


## ホワイトバランスのセット

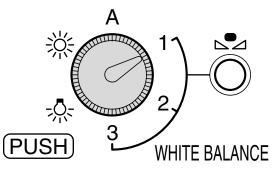
●ここではホワイトバランスを1でセットする場合の画面表示で説明しています。



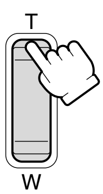

**1** メインダイヤルを
**□（全自動）以外のカメラモードにする**



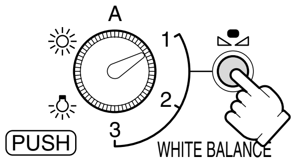

**2** WHITE BALANCEダイヤルを
**設定する番号に合わせる**



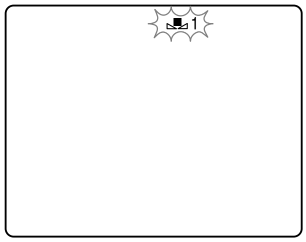

**3** ズームなどを使って白い紙などをビューファインダーいっぱいに写す
●セットの作業が終わるまで、写し続けてください。




**4** WHITE BALANCE （セット）ボタンを
**押す**




● 1が速く点滅し、セットが完了すると点灯する。

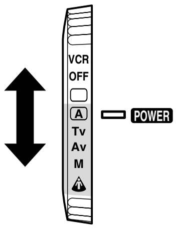



●ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（速い点滅から遅い点滅に変わります）ことがありますが、この場合でも、オートよりも適切なホワイトバランスになっていますので、そのまま撮影できます。
●ホワイトバランスセットで登録したデータは、ボタン型リチウム電池を取り付けていれば、電源の入/切に関係なく保持されます。

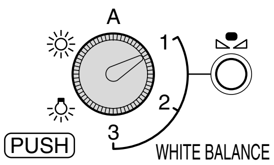
## 登録したホワイトバランスセットで撮影する

**1** メインダイヤルを

**□（全自動）以外のカメラモードにする**




**2** WHITE BALANCEダイヤルを登録した番号に合わせる




- 登録したホワイトバランスになる。

**ホワイトバランスセットをするときは**

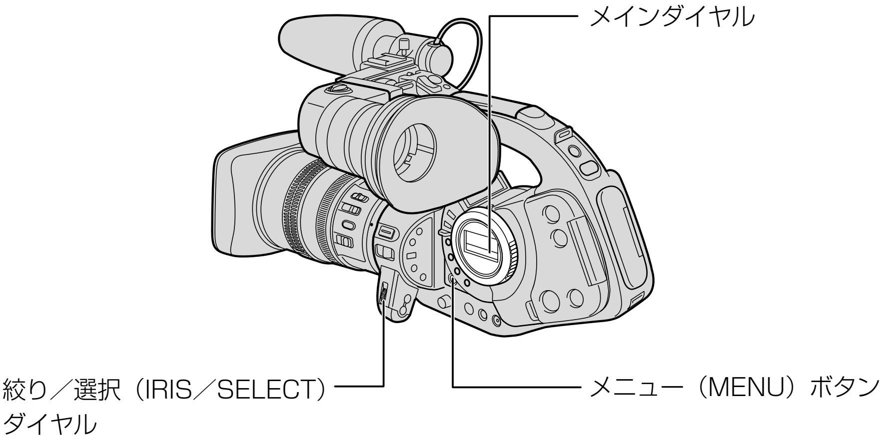
- 照明の十分な場所で行ってください。また光源が変わったときはセットし直してください。
- レンズ内蔵のNDフィルターを入/切したときも､セットし直してください。

# ゼブラパターン

ゼブラパターンは、撮影している映像のなかで輝度が一定のレベルを超えて部分に出る斜めの縞模様のことです。
ゼブラパターンが出ている部分は白とびすることがありますので、絞り、シャッタースピード、ゲイン、AEシフトなどを調整して被写体にパターンが出ないようにしてください。
本機ではゼブラパターン表示の輝度レベルを5段階の%（80、85、90、95、100）から選択できます。

● ゼブラパターンはビューファインダーのみに表示されます。

ご購入時には、ゼブラパターンは「切」、ゼブラパターンレベルは「90」に設定されています。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ゼブラパターン」と「ゼブラパターンレベル」で設定してください。





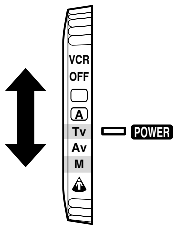

撮影編

# パソコンなどの画面を撮影する（クリアスキャン）

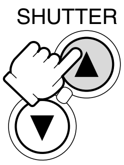
クリアスキャン機能では、パソコンなどを撮影するときに出る黒い帯*を出ないようにして撮影できます。
*パソコンのモニターとビデオカメラのフィールド周期の違いにより、ビデオカメラでそのまま撮影すると黒い帯が出ます。
●設定できる周波数は61.9Hz～201.5Hzです。

## 操作のしかた

### 1 メインダイヤルを **TvまたはMにする**

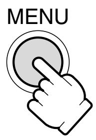


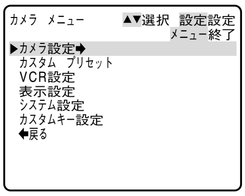

### 2 SHUTTER▲ボタンを押して **「CS」を表示させる**




・・・1/8000秒 ↔ 1/15000秒 ↔ CS（クリアスキャン）

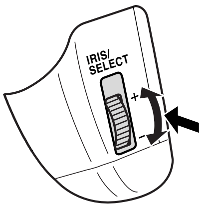
### 3 MENUボタンを **押す**

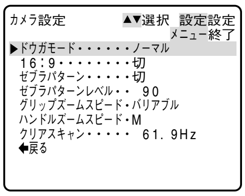



● メインメニューが出る。

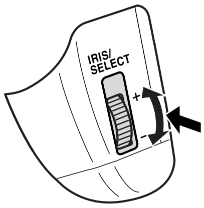
### 4 メインメニューから **「カメラ設定」を選ぶ**

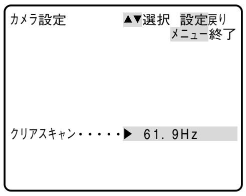



●「カメラ設定」サブメニューが出る。

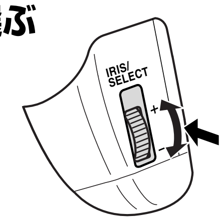
### 5 「カメラ設定」サブメニューから **「クリアスキャン」を選ぶ**

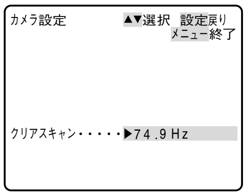



●「クリアスキャン」だけの表示になる。

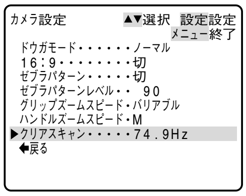
### 6 画面を見ながら黒い帯が出ないように周波数を **選ぶ**



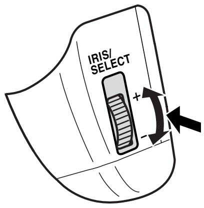



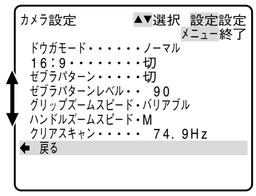

● マニュアルモードでは117段階から選べます。

### 7 「カメラ設定」サブメニューに **戻る**

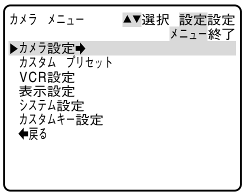



### 8 「カメラ設定」サブメニューの「戻る」を **選ぶ**

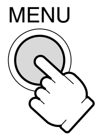


**9** メインメニューに
**戻る**




**10** MENUボタンを
**押す**



# カスタムキー

本機ではさまざまな機能の中から使用頻度の高い2つをカスタムキー（専用ボタン）にカメラモード、VCRモード独立して設定できます。
ご購入時は、下記のように設定されています。

| | カメラモード | VCRモード |
|---|---|---|
| CSTM KEYS 1 | インデックス記録 | オンスクリーン |
| CSTM KEYS 2 | ゼブラパターン | データコード |

カスタムキーの設定は、カメラメニューの「表示設定」サブメニューの「ガイド」で「カスタムキー」を選ぶとビューファインダーに表示できます。

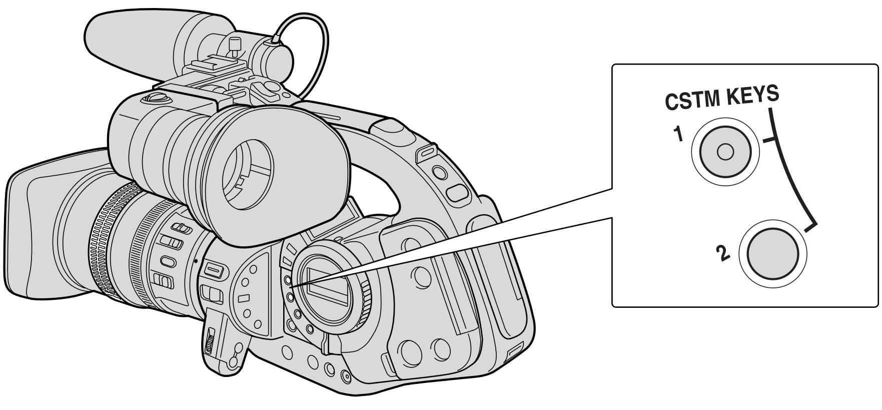
## 設定のしかた

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。
＊の機能はカスタムキーを使った場合のみ操作可能です。

**カメラモード**
（カスタムキー1と2で設定できる項目は共通です）
- インデックス記録*
- ゼブラパターン
- VCRストップ*
- オンスクリーン
- AUDIO1 IN
- AUDIO2 IN
- グリップズームスピード
- ハンドルズームスピード

**VCRモード**
（カスタムキー1と2で設定できる項目は共通です）
- オンスクリーン
- データコード
- AUDIO1 IN
- AUDIO2 IN

カスタムキーの設定を変えるときは、カメラメニューまたはVCRメニューの「カスタムキー設定」サブメニューで機能を選択してください。



## 操作のしかた

ここでは、カスタムキーに設定した機能で使用するボタンを「　」に入れて<「インデックス」ボタン>のように表記しています。

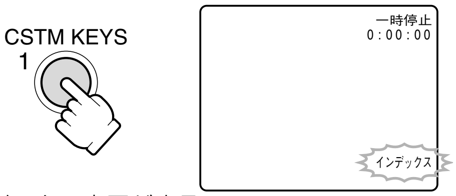
### インデックス記録 カメラモード

撮影場面の任意の位置にインデックス信号を記録できます。再生時に頭出しできますので、編集などに便利です。

●インデックス信号をあとから記録することはできません。また、消去できません。
●静止画撮影、インターバルタイマーによる撮影では使用できません。
●カスタムキーだけで操作できます。

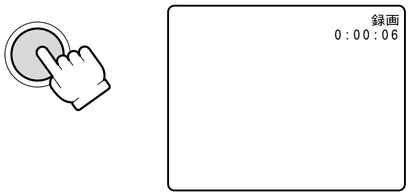
#### 撮影一時停止中

**1** 「インデックス」ボタンを
**押す**




● インデックス表示が出る。

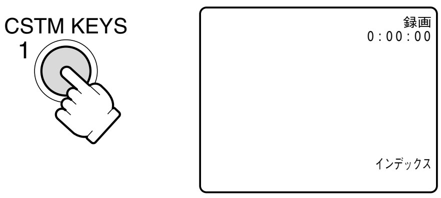
**2** スタート/ストップボタンを
**押す**




● 撮影が始まり、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

#### 撮影中

**1** 「インデックス」ボタンを
**押す**




● インデックス表示が出て、インデックスを約6.5秒記録したのち、インデックス表示が消える。

### ゼブラパターン カメラモード

ゼブラパターン表示の入/切を行います。
「ゼブラパターン」ボタンを押すたびに切り換わります。

### VCRストップ カメラモード

通常撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のため、約5分で電源が切れますが（5分タイマー）、「VCRストップ」ボタンを押すと、ヘッドドラムが回転を止め、5分タイマーが解除されます。
撮影準備などを行う場合に便利です。
もう一度「VCRストップ」ボタンを押すと撮影一時停止に戻ります。
VCRストップ状態でスタート/ストップボタンを押しても、撮影は始まります。
●カスタムキーだけで操作できます。

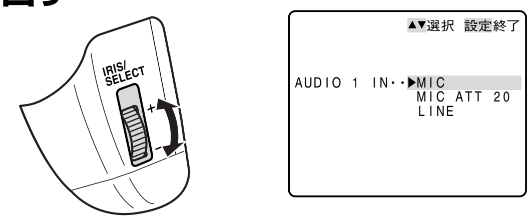
### オンスクリーン カメラモード VCRモード

ビューファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。
「オンスクリーン」ボタンを押すたびに切り換わります。

### AUDIO1 IN カメラモード VCRモード

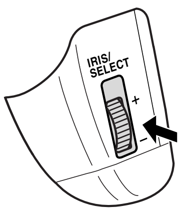
「AUDIO1 IN」ボタンを押すと音声入力1の入力レベル選択のメニュー画面になります。

**1** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**




● MIC、MIC ATT 20、LINEから選ぶ。

**2** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




● 機能を設定する。
● メニュー表示が消える。

撮影編

# カスタムキー…つづき

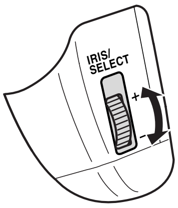
## AUDIO2 IN　カメラモード　VCRモード

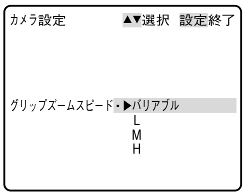
「AUDIO2 IN」ボタンを押すと音声入力2の入力レベル選択のメニュー画面になります
操作は音声入力1と同じです。

## グリップズームスピード　カメラモード

「グリップズームスピード」ボタンを押すとグリップズームスピード選択メニュー画面になります。

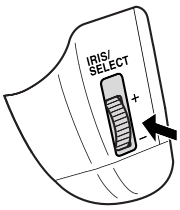
**1** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**




- バリアブル（可変）、L（低速）、M（中速）、H（高速）から選ぶ。
  バリアブルではズームボタンの押しかたでズームスピードが変わります（16段階）。

**2** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**

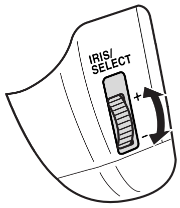


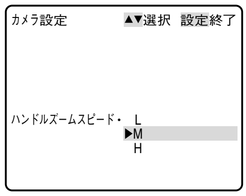

- 機能を設定する。
- メニュー表示が消える。

## ハンドルズームスピード　カメラモード

「ハンドルズームスピード」ボタンを押すとハンドルズームスピード選択メニュー画面になります。

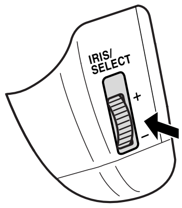
**1** IRIS／SELECTダイヤルを
**回す**




- L（低速）、M（中速）、H（高速）から選ぶ。

**2** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




- 機能を設定する。
- メニュー表示が消える。

## データコード　VCRモード

データコード表示の入/切を行います。
「データコード」ボタンを押すたびに切り換わります。

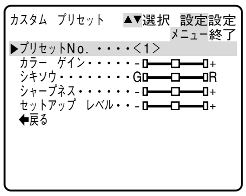
# カスタムプリセット/画質を調整して撮影する

## (カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベル)

本機では、カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベルを変えて撮影できますので、よりクリエイティブな画創りができます。設定した内容は1～3の任意のカスタムプリセットに記憶でき、撮影時にいつでも再現できます。

**カラーゲイン**
－側にすると色が薄くなり、＋側にすると色が濃くなります。

**色相**
G側にすると緑が強くなり、R側にすると画面全体の赤が強くなります。

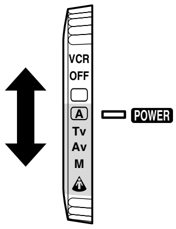



**シャープネス**
－側にすると輪郭がやわらかくなり、＋側にするとシャープになります。
「＋」側にするとノイズが目立つ場合があります。

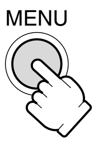
**セットアップレベル**
－側にすると画面が暗くなり、＋側にすると影の部分などが明るくなります。

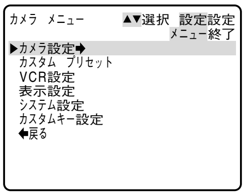
### カスタムプリセット番号の設定

**1** メインダイヤルを
**□(全自動)以外のカメラモードにする**



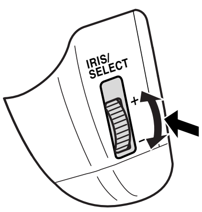

**2** MENUボタンを
**押す**

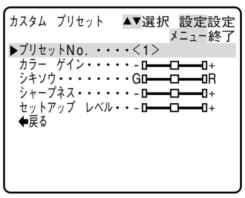



● メインメニューが出る。

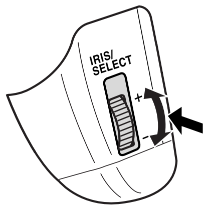
**3** メインメニューから
**「カスタムプリセット」を選ぶ**

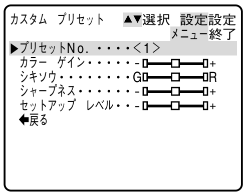


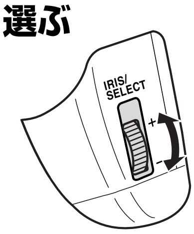

● 「カスタムプリセット」サブメニューが出る。

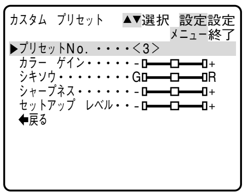
**4** 「カスタムプリセット」サブメニューから
**「プリセットNo」を選ぶ**



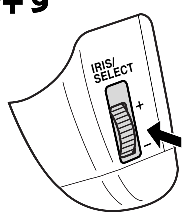



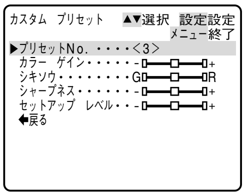

**5** 設定を記憶させる番号を
**選ぶ**



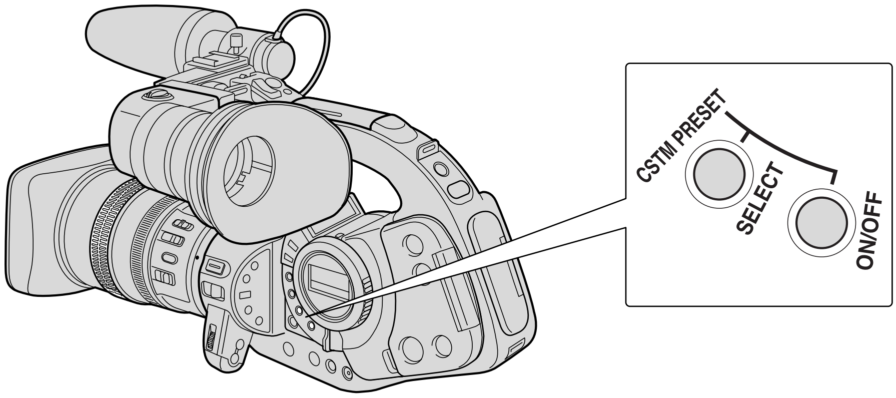

**6** IRIS／SELECTダイヤルを
**押す**




● 「カスタムプリセット」サブメニューに戻る。

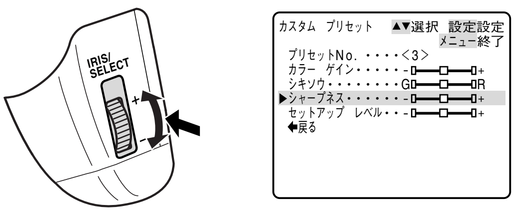
# カスタムプリセット/画質を調整して撮影する（カラーゲイン、色相、シャープネス、セットアップレベル）…つづき




## 設定する項目を選ぶ

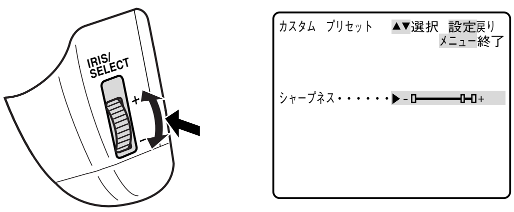
●ビューファインダーで効果を確認しながら設定してください。

**1** 「カスタムプリセット」サブメニューから
**設定する項目を選ぶ**



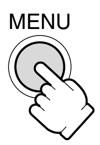

- 選んだ項目だけの表示になる。

**2** 選んだ項目を
**設定する**




- 複数の項目を設定するときは、1、2の操作を繰り返す。

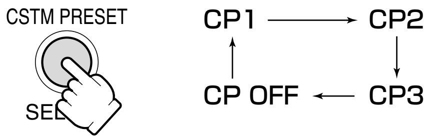
**3** MENUボタンを
**押す**




- 一度設定した内容はあらたに設定し直すまで憶えています。

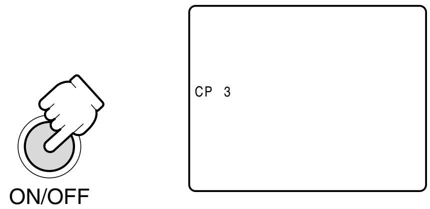
## カスタムプリセットを使って撮影する

**1** CSTM PRESET （カスタムプリセット）SELECTボタンを押してプリセットNoを
**選ぶ**




- カスタムプリセットを使用しないときはCP OFFを選ぶ。（約 4 秒後に消えます）。

**2** CSTM PRESET（カスタムプリセット）ON/OFFボタンを
**押す**

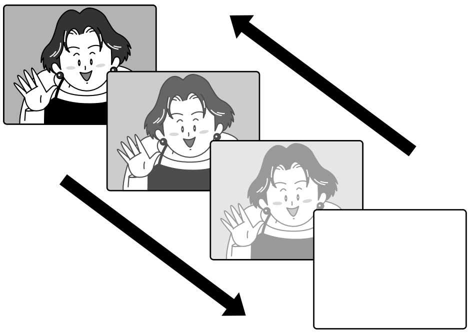



- 設定した画面になる。

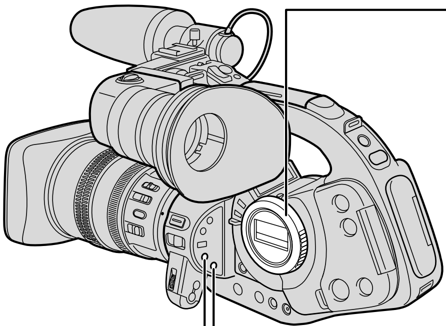
# フェード

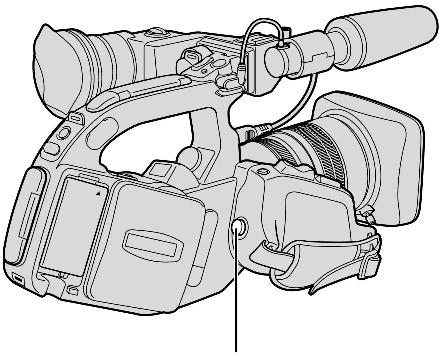
効果的な場面の切り換えができます。

白い画面から、撮影している映像とすべての音声が徐々に現われる：フェードイン
撮影している映像が徐々に白くなり、映像とすべての音声が消える：フェードアウト



## 操作のしかた

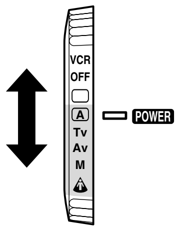




スタート／ストップボタン

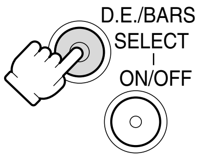
**1** メインダイヤルを

**□（全自動）以外のカメラモードにする**




**2** D.E./BARS（デジタルエフェクト/カラーバー）SELECTボタンを

**押す**




- 押すたびに順番にデジタルエフェクトが表示される。

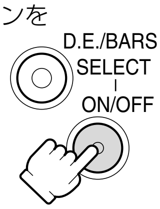
カラーバー → デジタルズーム＊ → **オートフェード** → 表示なし → カラーバー

- 「オートフェード」選択する。

＊使用するレンズにより表示されないことがあります。

**3** D.E./BARS（デジタルエフェクト/カラーバー）ON/OFFボタンを

**押す**



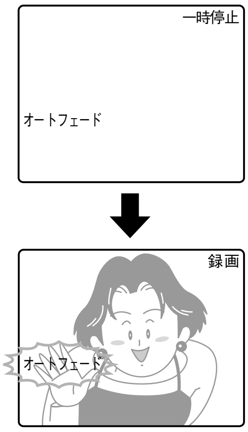

- オートフェード表示が点灯に変わる。

# 4

**撮影一時停止中**

スタート／ストップボタンを
**押す**

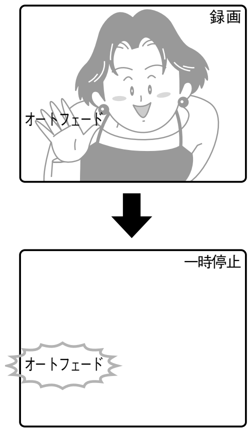
● フェードインになる。




**撮影中**

スタート／ストップボタンを
**押す**

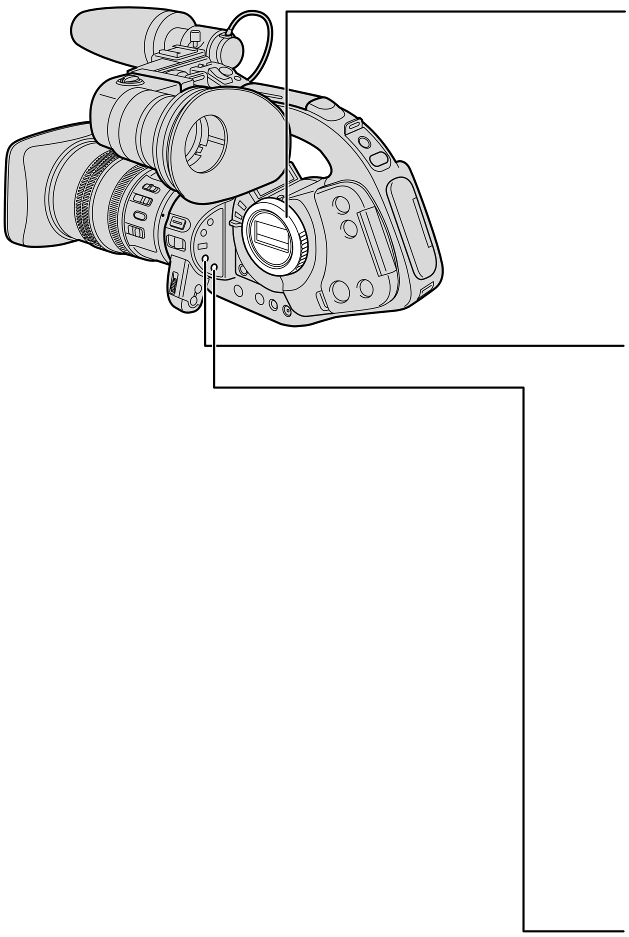
● フェードアウトになる。



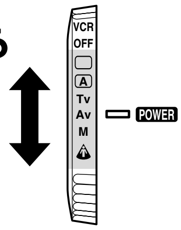

● 表示が点滅に戻る。再度フェードをするときは、D.E./BARS（デジタルエフェクト／カラーバー）ON/OFF ボタンを押す。

# カラーバー

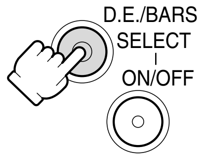
本機では、SMPTEカラーバーを出力、録画できます。



**1** メインダイヤルを
**カメラモードにする**




**2** D.E./BARS（デジタルエフェクト/カラーバー）SELECTボタンを
**押す**



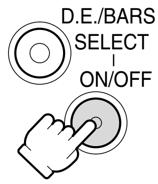

- 押すたびに順番にデジタルエフェクトが表示される。

**カラーバー** → デジタルズーム* → オートフェード → 表示なし → （カラーバーへ戻る）

- 「カラーバー」を選択する。表示は点滅する。

＊使用するレンズにより表示されないことがあります。

**3** D.E./BARS（デジタルエフェクト/カラーバー）ON/OFFボタンを
**押す**




- 画面にカラーバーが表示され、「カラーバー」表示が点灯する。

撮影編

# フレームモードで記録する

フレーム単位で記録するため、静止画再生時に垂直解像度が向上します。動画としては「コマ落とし」の映像になります。

**フレームモード**
フレームモードで記録すると、静止画再生時に垂直解像度がノーマル記録に比べ1.5倍になります。秒間30コマの連続静止画になりますので、パソコンに入力するときなどに最適です。
また、フィルムのコマ数に近いので、フィルムで撮影しているようなニュアンスを出すこともできます。

ご購入時には、「ノーマル」に設定されています。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ドウガモード」で「フレーム」に設定してください。

□（全自動）モードではノーマルに固定され、表示は「- - -」になります。

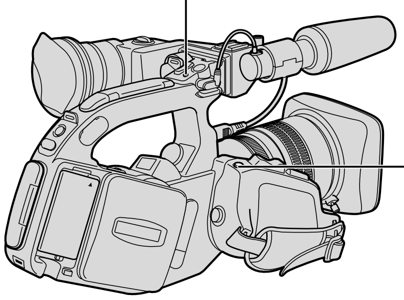
# 静止画撮影（フォト撮影）

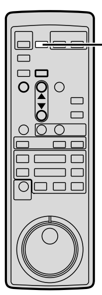
フォト撮影では写真を撮るように静止画を撮影できます。パソコンに静止画を取り込んで加工したり、印刷するのに使います。また、旅行先の案内板や地図などの静止画を、場面の導入部に使うと効果的です。また、撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分をフォトサーチ機能で簡単に探し出せます（113ページ）。
本機では、撮影一時停止から静止画撮影する方法と、動画を撮影中に撮影を中断せず静止画撮影する方法の2種類があります。

●静止画1枚の記録時間は約6.5秒です。
●撮影中の音声はそのまま記録されます。
●動画撮影と同様に、シャッタースピード、絞り、ゲイン、AEシフトなどをマニュアル調整して撮影できます。

## 撮影一時停止から静止画撮影する

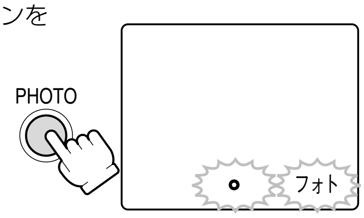
リモコンのPHOTOボタンを押したときは、すぐ静止画撮影が始まります。





### 撮影一時停止中

**1** PHOTOボタンを
**浅く押す**



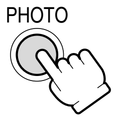

● ◉ が白色に点滅したあと、ピント調整が終わると緑色の点灯に変わる。
●露出がロックされます。

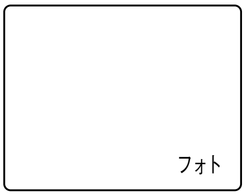
**静止画撮影時のピントと◉表示について**

オートフォーカスのとき：
●ピントが合うと◉は白色の点滅から、緑色の点灯に変わります。
●オートフォーカスが苦手な被写体など（60ページ）を撮影していて、白色の点滅のまま変わらないときがあります。このようなときは、オートフォーカスのままマニュアルフォーカスリングを回してピントを合わせてください（◉は緑色の点灯に変わります）。

マニュアルフォーカスのとき：
●最初から緑色の点灯になります。マニュアルフォーカスリングでピントを合わせてください。

**2** PHOTOボタンを
**深く押す**



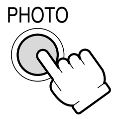



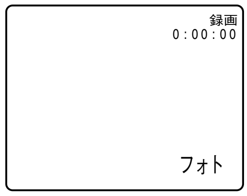

- ◉が消える。
- 静止画撮影が始まる。
- ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

## 動画を撮影中に静止画撮影する

### 撮影中

**1** PHOTOボタンを
**深く押す**




- ビューファインダーの映像も静止画になる。
- 静止画撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になる。

**静止画撮影は**

- 約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。静止画撮影をしている約6.5秒間にメインダイヤルを「OFF」にしても、撮影が終わるまで電源は切れません。
- ビューファインダーで被写体が確認できる明るさで撮影してください。

# 別売のストロボを使う

一眼レフカメラキヤノンEOS用のE-TTL自動調光システムに対応したスピードライト420EX／550EX により、低照度下でより自然で鮮明な静止画撮影ができます。

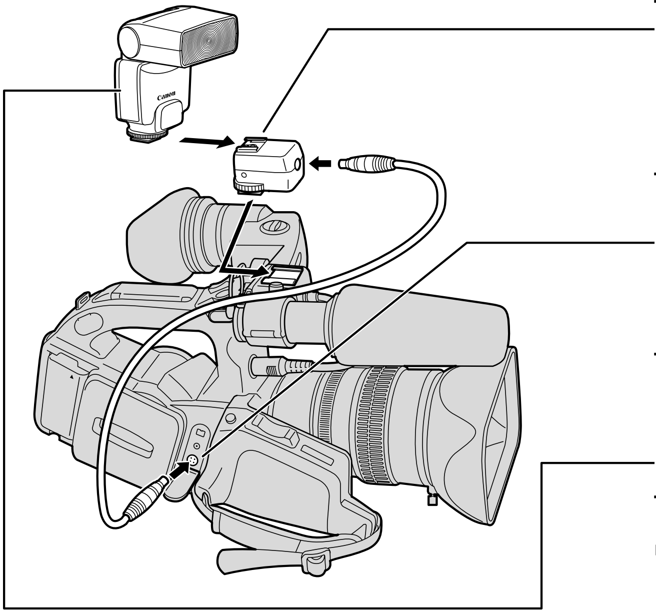
● スピードライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

● スピードライトを使うときは別売のフラッシュアダプターFA-200が必要です。

＊スピードライト380EXも使用できます。

## スピードライトの取り付け

※EOS用オフカメラシュー、コネクティングコードは使用できません。



**1** 別売のフラッシュアダプターFA-200を本機のアクセサリーシューに

**取り付ける**

**2** フラッシュアダプターに付属のケーブルをカチッと音のするまで押し込み、本機に

**接続する**

**3** ストロボの締め付けねじをまわして

**十分にゆるめる**

**4** ストロボの取り付け脚部をフラッシュアダプターに

**止まるまで十分に差し込む**

**5** 締め付けねじを回して

**固定する**

● ロックピンが出て、固定される。

取りはずすときは、締め付けねじを反対方向へ最後まで回し、ロックピンが解除されたのを確認して、本機からはずします。

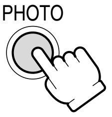
撮影編

# 別売のストロボを使う…つづき

## 操作のしかた

**1** ストロボの電源を入れる
- ストロボ充電中は白色の ⚡ が点滅する。
- 充電が完了すると、⚡ が緑色になり点灯する。
- 白色の ⚡ が長時間点滅し続けているときは、ストロボの電池を交換してください。

**2** 本機のPHOTOボタンを押して
**静止画撮影する**




**撮影するときは**
- 必ず充電が完了したのを確認してから撮影してください。充電中でも撮影はできますが、ストロボは発光しません。
- ストロボを使用しないときはストロボの電源を切ってください。
- マニュアルモードと露出ロック時はストロボは発光しません。
- Tvモード時で、ストロボ撮影時に設定可能なシャッタースピードは、1／60秒～1／1000秒とCS（クリアスキャン）です（それ以外のシャッター速度では発光しません）。
- Avモード時は、絞り値（F値）をF8より開放側に設定してください。
- スピードライト420EX／550EXのバウンス機能には対応していません。
- スピードライトはEFレンズ／14×フルマニュアルレンズには対応していません。
- 420EX／550EXのワイヤレス多灯ストロボには対応していません。
- スピードライトトランスミッターST-E2と420EX／550EXのワイヤレス制御には対応していません。
- 暗い被写体では、本体のPHOTOボタンを浅く押すとスピードライトのフォーカス用の補助光が約8秒間発光します（オートフォーカス撮影時）。

# DVコントロール機能

本機のDV端子とDV端子を持つほかのビデオ機器などを接続することで、本機のスタート/ストップボタンで接続した機器の録画、一時停止を操作できます。

● カメラモードで操作できます。

ご購入時には、「DVコントロール」は「切」に設定されています。
DVコントロール機能を使うときは、メニューの「システム設定」サブメニューで「DVコントロール」を「入」にしてください。

**① 本機が録画一時停止中**
スタート/ストップボタンを押す
本機：録画
接続した機器：録画

**② 本機が録画中**
スタート/ストップボタンを押す
本機：録画一時停止
接続した機器：録画一時停止

**③ カセットが入っていないなど本機が録画できない場合**
スタート/ストップボタンを押す
接続した機器：録画と録画一時停止の繰り返し

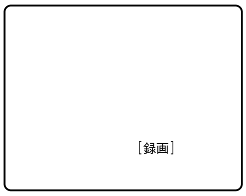
**④ 接続した機器が録画中に本機にカセットを入れた場合**
スタート/ストップボタンを押す

| 本機：録画一時停止<br>接続した機器：録画 | ➡ | 本機：録画<br>接続した機器：録画を継続 |
|---|---|---|

本機と接続した機器が録画中にスタート/ストップボタンを押すとともに録画一停止になる（②と同じ）

● 本機と接続した機器が録画中に、本機のスタート/ストップボタン以外で本機の録画が終了した（テープが終わりになるなど）場合は、接続した機器はそのまま録画を続けます。
● 本機の録画が終了したときに、接続した機種によっては、一瞬音声が途切れることがあります。

接続した機器が録画中　[録画]
接続した機器が録画一停止または停止中　[停止]
接続した機器が録画、録画の一時停止、停止以外の場合　[- - -]
DVコントロール機能が「入」でDV端子にDVコントロール可能な機器が接続されていない場合
[DV IF ]（DV IFが点滅します）

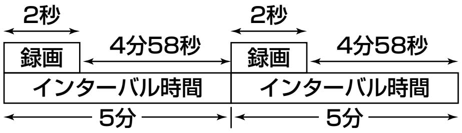



DVコントロール機能では
● DVコントロールの設定は電源を切っても記憶しています（リチウムボタン電池で記憶）。接続した機器のテープを上書きしてしまうことがありますので、DVコントロールを使用したあとは、設定を確認してください。
● XL1Sを2台接続してDVコントロールするときは、「接続した機器」にあたるXL1Sはかならずコントロールを「切」にしてください。
● DVコントロールする場合、接続可能なビデオ機器は本機を含め2台までです。
● 接続する機器によっては正常に動作しないことがあります。
● 接続できるDVケーブルの長さは4.5mまでです。

# インターバルタイマーによる撮影

インターバルタイマーを使うと一定の間隔をおいて、一定の時間だけ撮影を繰り返します。草花の開花や動物の生態、自然観察などの撮影に便利です。
撮影間隔は30秒、1分、5分、10分の4段階から、撮影時間は0.5秒、1秒、1.5秒、2秒の4段階から選べます。

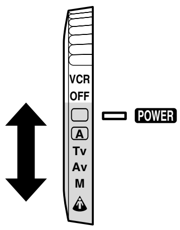
例：インターバル時間5分、記録時間2秒に設定した場合
（撮影している時間2秒と待機している時間の合計が5分になります）




ご購入時には、インターバルタイマーは「切」、撮影間隔は「30秒」、撮影時間は「0.5秒」に設定されています。

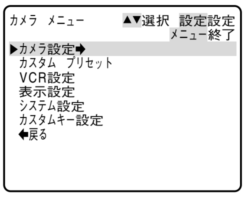
## 操作のしかた

**1** メインダイヤルを
### カメラモードにする



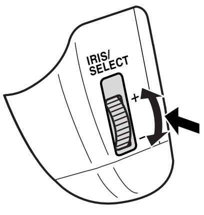

**2** MENUボタンを
### 押す

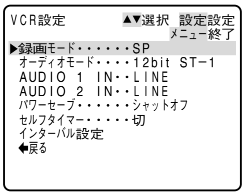



- メインメニューが出る。

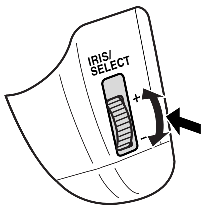
**3** メインメニューから
### 「VCR設定」を選ぶ

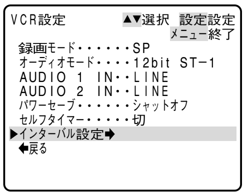



- 「VCR設定」サブメニューが出る。

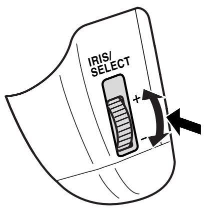
**4** 「VCR設定」サブメニューから
### 「インターバル設定」を選ぶ

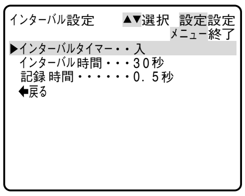


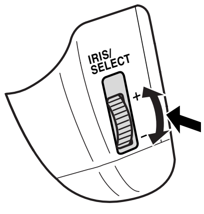

- 「インターバル設定」メニューが出る。

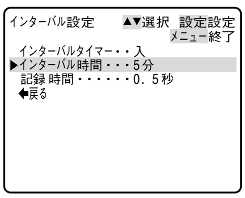
**5** 「インターバルタイマー」を選び、
### 「入」に設定する



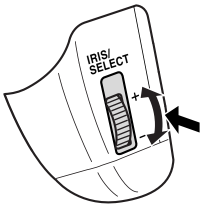

**6** 「インターバル時間」を選び
### 撮影間隔を設定する

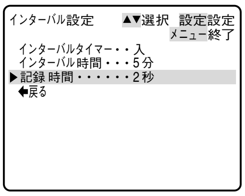


**7** 「記録時間」を選び

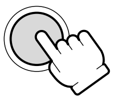
**記録時間を設定する**




**8** スタート／ストップボタンを

**押す**



- インターバル撮影が始まり、「インターバルタイマー」が点灯する。
- 撮影間隔が30秒と1分のときは録画、録画一時停止を繰り返す。
  撮影間隔が5分と10分のときは録画、停止を繰り返す。

## インターバルタイマー撮影を一時停止するとき

スタート／ストップボタンを押す

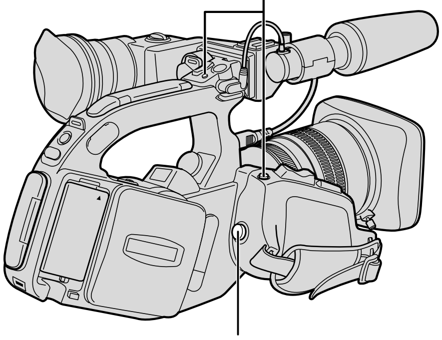
- 撮影が一時停止になり、「インターバルタイマー」が点滅する。
- もう一度スタート／ストップボタンを押すとインターバル撮影を再開する。

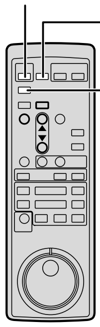
## インターバルタイマー撮影をやめるとき

インターバルタイマー撮影を一時停止して、メニューで「切」にする。

- 長時間（12時間以上）インターバルタイマー撮影をするときはEVF DISPLAY ON/OFFボタンでビューファインダーの表示を消すことをおすすめします。
- 表示される文字の残像がビューファインダーに残る場合は、電源を切って、数時間放置すると元に戻ります。
- テープの残量表示が出ないことがあります。

# セルフタイマーによる撮影




## 操作のしかた

●ここではリモコンで操作する場合で説明しています。
本体で操作する場合は、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューの「セルフタイマー」を「入」にしてください。
ビューファインダー表示が「切」になっていると「セルフタイマー」表示は出ません。

### 動画で撮影する

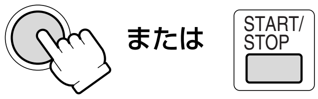
**撮影一時停止中**

**1** リモコンのSELF TIMERボタンを
**押す**




- ファインダーに「セルフタイマー」が出る。
- カセットが入っていなくてもセルフタイマーの設定はできます。
- セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押す。

**2** スタート/ストップボタンを
**押す**




- 本体のボタンでは約10秒後に、リモコンのボタンでは約2秒後に録画を開始する。
- 撮影開始までの時間（10秒～0秒）がビューファインダーに表示され、録画ランプが点滅する（2秒前から点滅が速くなる）。
- 撮影が始まると「セルフタイマー」表示が消える。

撮影が始まる前に、セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押すか、スタート／ストップボタンを押す。

### 静止画で撮影する

**撮影一時停止中**

**1** リモコンのSELF TIMERボタンを
**押す**




- ファインダーに「セルフタイマー」が出る。
- カセットが入っていなくてもセルフタイマーの設定はできます。
- セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押す。

**2** PHOTOボタンを
**（本体のボタンは深く）押す**




- 本体のボタンでは約10秒後に、リモコンのボタンでは約2秒後に録画を開始する。
（本体のボタンを押したときには録画開始の約2秒前に◉表示が出る。リモコンのボタンを押したときには、押すと同時に◉表示が出る）。
- 撮影開始までの時間（10秒～0秒）がビューファインダーに表示され、録画ランプが点滅する（2秒前から点滅が速くなる）。
- 撮影が始まると「セルフタイマー」表示が消える。
- 撮影開始から約6.5秒後に自動的に撮影一時停止する。

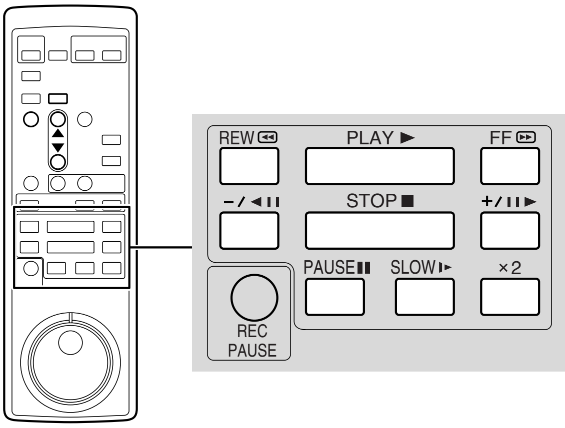
撮影が始まる前に、セルフタイマーを解除するときはもう一度SELF TIMERボタンを押すか、PHOTOボタンを押す。

# 再生する

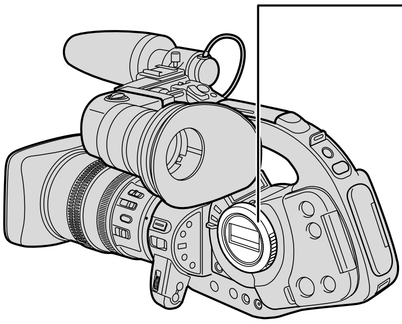
**再生画面がおかしいときは**

ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

●再生の操作はすべてリモコンでもできます。
●2倍録画、3倍録画モードで記録されたテープは再生できません。

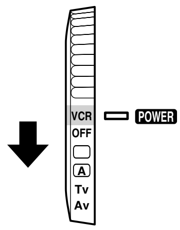


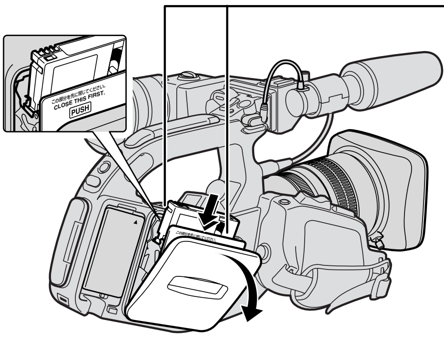

## 再生のしかた



**1** メインダイヤルを

**VCRにする**



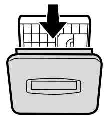



**2** カセットを入れる

❶ EJECTスイッチを

**スライドさせる**

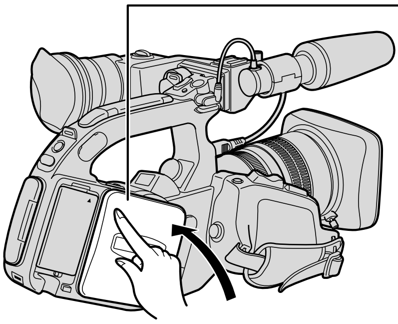
- カセット入れが自動的に開く。



❷ カセットを

**入れる**

- テープの透明な窓を外側に向けて、誤消去防止ツマミのある面を上にして入れる。

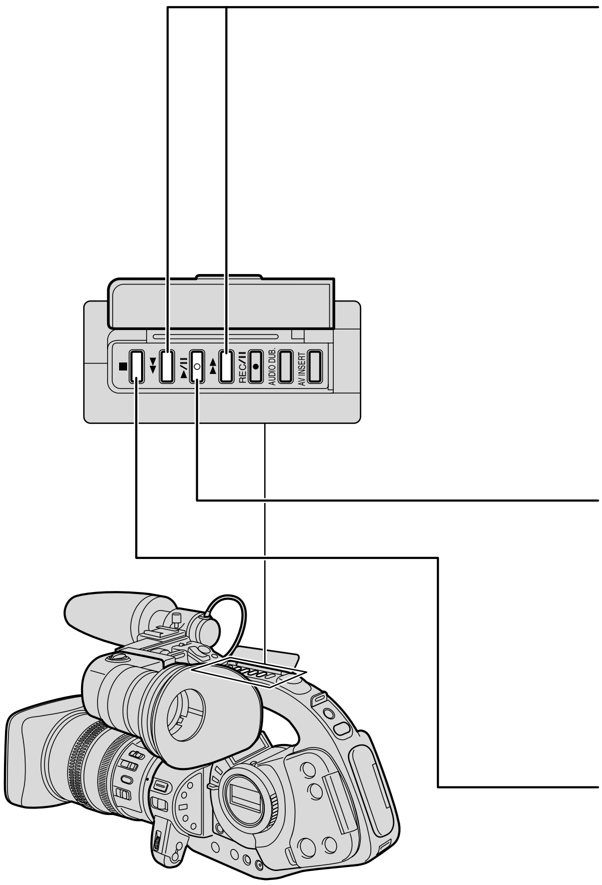


**3 PUSH を押し、カセット入れを閉じる**

- カセット入れが自動的に収納される。
- カセット入れが完全に収納されたらカセット入れカバーを閉じる。

再生編

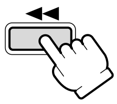
# 再生する…つづき



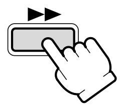

**4** ハンドルのカバーを開け、巻き戻しボタンまたは早送りボタンを

**押す**

**-巻き戻すとき-**



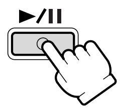
**-早送りするとき-**



●巻き戻し中や、早送り中に画面を見ながら再生を開始する場所をすばやく探すことができます。（107ページ）

**5** 再生ボタンを

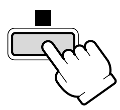
**押す**



- 再生が始まる。
- 再生時に撮影時の日時／時刻を表示するときは116ページをご覧ください。
- ヘッドホンで音声モニターができます。

**6** 停止ボタンを

**押す**



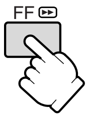
- 再生が終わる。

## 特殊再生

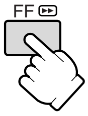
特殊再生時は音声は出力されません。
●早送り再生、巻き戻し再生、静止画再生以外はリモコンのみの操作になります。

### 早送り再生（2つの方法があります）

**再 生 中**
早送りボタンを
**押し続ける**




**早送り中**
早送りボタンを
**押し続ける**



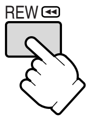

- 押している間だけ約9.5倍速の早送り再生になる。
- 離すともとの操作に戻る。

### 巻き戻し再生（2つの方法があります）

**再 生 中**
巻き戻しボタンを
**押し続ける**



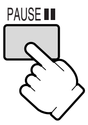

**巻き戻し中**
巻き戻しボタンを
**押し続ける**




- 押している間だけ約9.5倍速の巻き戻し再生になる。
- 離すともとの操作に戻る。

### 静止画再生

**再 生 中**
一時停止ボタンを
**押す**




- 静止画再生になる。
- もう1回押すと、ふつうの再生に戻る。

**静止画再生などでは**

● 一部の特殊再生では画面が多少乱れることがあります。
● 静止画再生が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。再生するときはもう1回再生ボタンを押します。

### 正方向コマ送り

**静止画再生中**
リモコンの
+/II▶ボタンを
**押す**




- 押すたびに1コマずつ送られる。
- 押し続けると連続コマ送りになる。

### 正方向スロー再生

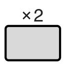
**再 生 中**
リモコンの
SLOW I▶ ボタンを**押す**




- 通常の約1／5のスロー再生になる。
- 再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

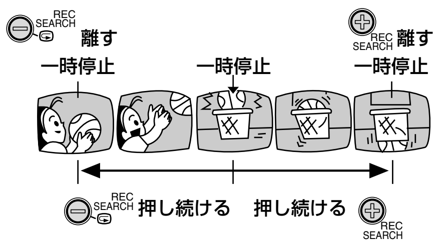
### 正方向2倍速再生

**再 生 中**
×2ボタンを
**押す**




- 2倍速再生になる。
- 再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

### エディットサーチ



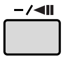

● 静止画再生状態で、再生したい場面の頭だしなどを行う機能です。

# 再生する…つづき

### 逆方向再生

**再 生 中**

リモコンの
ー/◀II ボタンを
**押す**

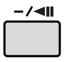


- 逆方向再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。

### 正方向コマ送り

**静止画再生中**

リモコンの
ー/◀II ボタンを
**押す**

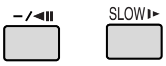


- 押すたびに1コマずつ送られる。
- 押し続けると連続コマ送りになる。

### 逆方向スロー再生

**再 生 中**

リモコンの
ー/◀II ボタンを
**押し、**
SLOW I▶ ボタンを
**押す**

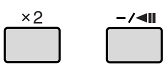



- 通常の約1／5のスロー再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。

### 逆方向2倍速再生

**再 生 中**

×2ボタンを
**押し、**
ー/◀II ボタンを
**押す**

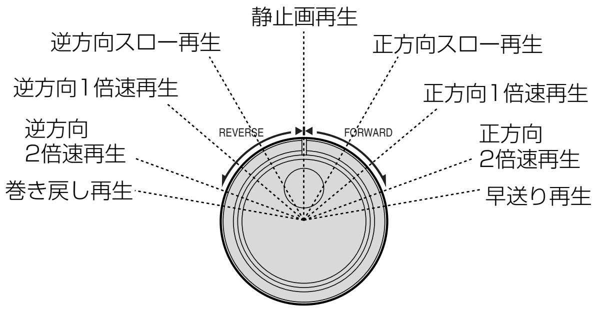



- 逆方向2倍速再生になる。
- 再生ボタンを押すと、正方向再生に戻る。

### シャトルダイヤル

再生中また静止画再生中に操作すると、角度によってスロー（1／5速）／1倍速／2倍速／早送り再生（巻き戻し再生）になります。

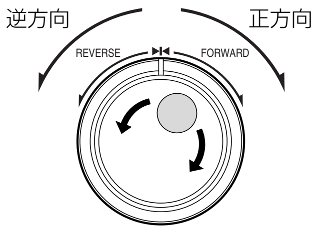
- ダイヤルを中央に戻すと、静止画再生になります。
- 停止中に端まで回すと早送り（巻き戻し）になります。




### ジョグダイヤル

再生中また静止画再生中に回すと、回転速度によってコマ送り／スロー（1/5速）／1倍速再生になります。

- ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。



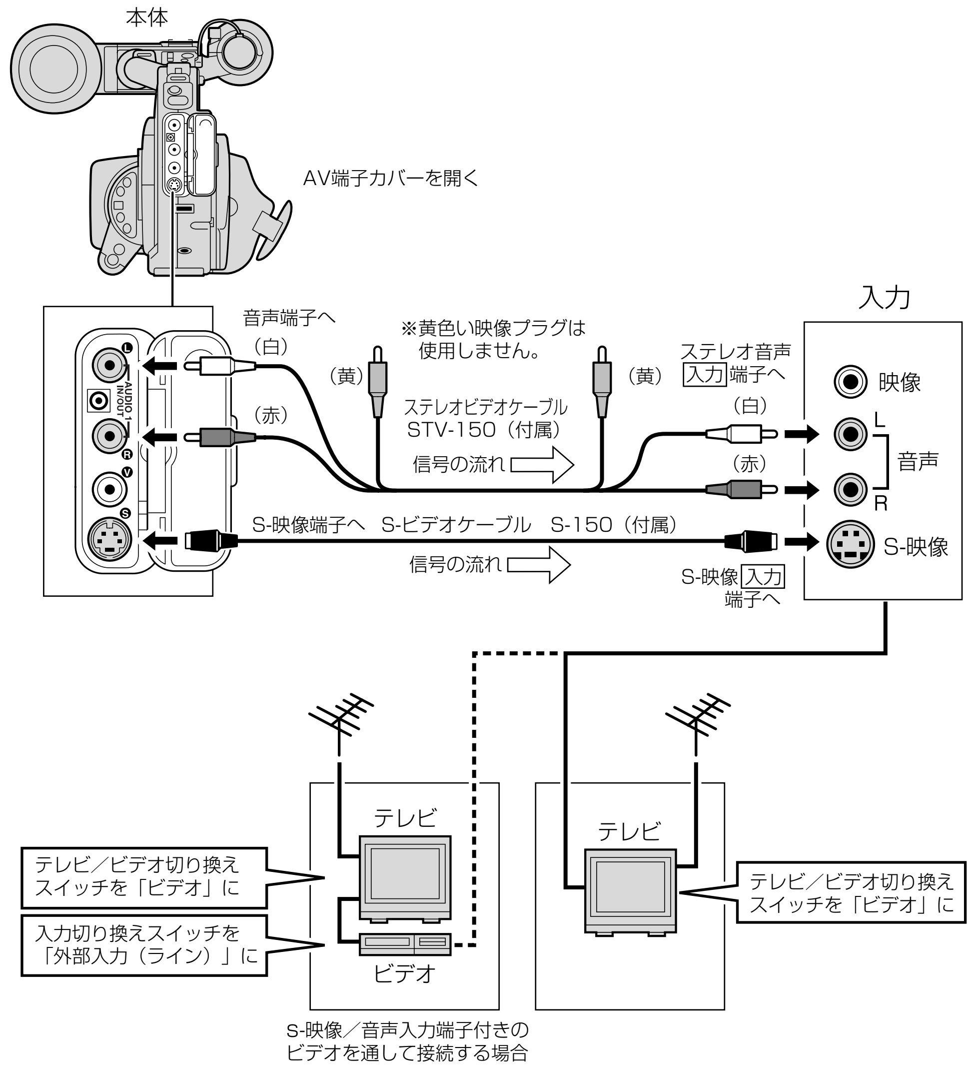
# テレビで見る

コンパクトパワーアダプターと電源カプラーを使用して、AC電源を電源とすることをおすすめします。
接続は各機器の電源を切って行ってください。

## 接続のしかた

### S-映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る（ステレオ）

S-ビデオケーブルS-150、ステレオビデオケーブルSTV-150を使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※黄色い映像プラグは使用しません。




#### テレビについて

再生時には、S-映像端子のついたテレビをおすすめします。DV方式の持つ高画質が十分にお楽しみいただけます。

#### S1-映像入力端子付きのテレビの場合

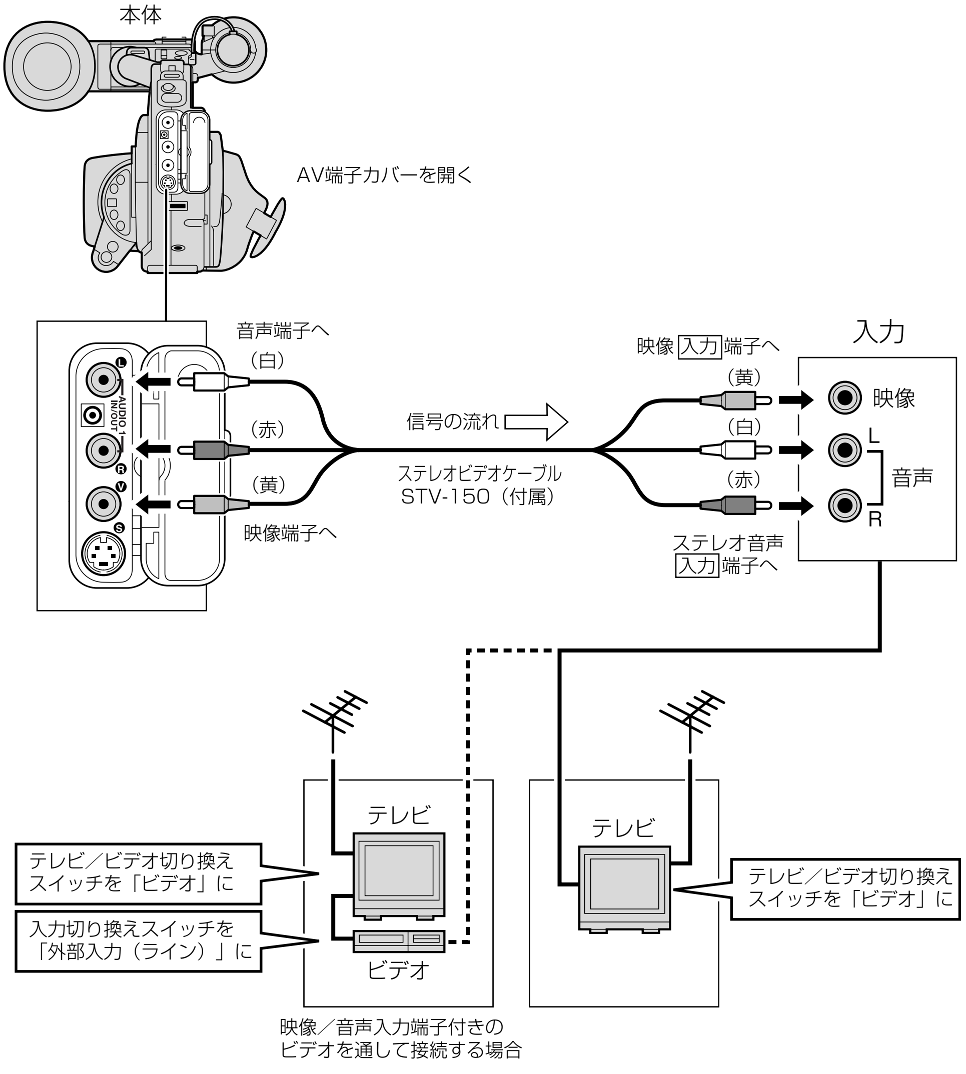
● 本機のワイドテレビ用「16：9」機能（37ページ）で撮影した画像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子付きのテレビにつないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

#### ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合

● 本機のワイドテレビ用「16：9」機能（37ページ）で撮影した画像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイドテレビ用の画像に切り換わります。

## 映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る（ステレオ）

ステレオビデオケーブルSTV-150を使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※S-映像プラグは使用しません。



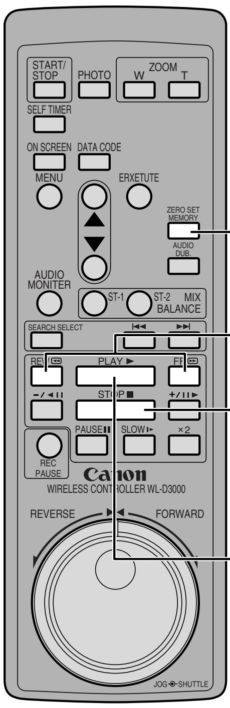
# 見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう1度見たと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻き戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。
● ゼロセットメモリーは、カメラモードでも設定できます。

通　常　　　　　　　　　　ゼロセットメモリー設定時



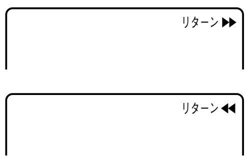

## 操作のしかた




**1** 再生中にあとで見たい場面が出てきたら、ZERO SET MEMORYボタンを
**押す**
- カウンター表示が「0：00：00」になり、M 表示が出る。
- ZERO SET MEMORYボタンをもう1回押すと、ゼロセットメモリーが解除される。

**2** 再生が終わったら、停止 ■ ボタンを
**押す**

**3** 早送り FF ボタンまたは巻き戻し REW ボタンを
**押す**
- カウンター表示に「－」がついているときは早送りボタンを、「－」がついていないときは巻き戻しボタンを押す。




- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止し、カウンター表示がタイムコードにもどり、M が消える。

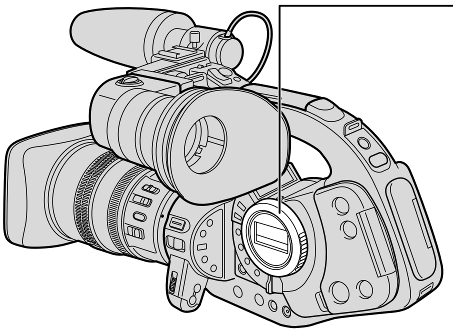
**4** 再生 ▶ ボタンを
**押す**

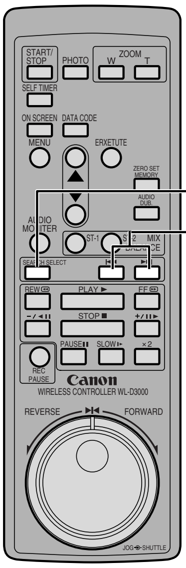
**ゼロセットメモリー機能は**
- ● カウンター表示は、タイムコード（撮影時間表示）とテープカウンターで多少の誤差が出ることがあります。
- ● タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
- ● カセットを取り出すと、ゼロセットメモリーが解除され、カウンター表示がタイムコードに戻ります。

# 任意の場所をすばやく探す（インデックスサーチ）

インデックス信号を記録した場面をすばやく探し出せます。

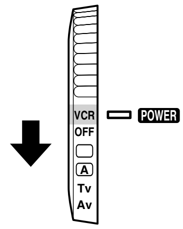
## 操作のしかた





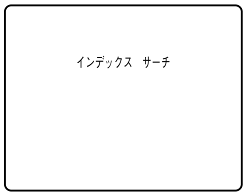

**1** メインダイヤルを

### VCRにする




**2** リモコンのSEARCH SELECTボタンで

### インデックスサーチを選択する




- 「インデックスサーチ」の文字が出る。

**3** リモコンの ⏮ または ⏭ を

### 押す

- インデックスサーチでは ⏭ は正方向、⏮ は逆方向のサーチになる。
- 押した数だけ前/後ろのインデックス（最多10）の頭出しになる。
- インデックスが見つかると再生が始まる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏮ または ⏭ を押す。

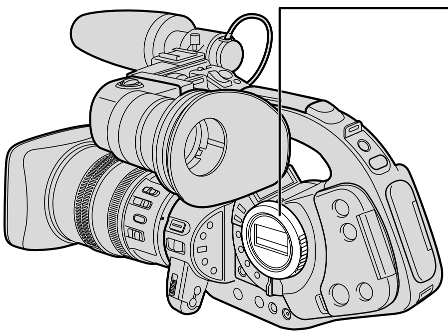
**インデックスサーチを行うときは**

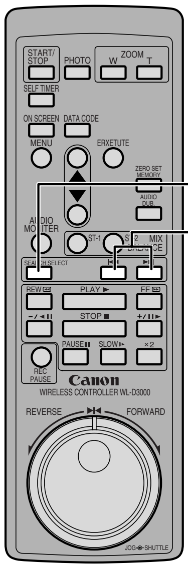
- インデックスサーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。

# 静止画を探す（フォトサーチ）

静止画だけを探し出せます。また、撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分を簡単に探し出せます。

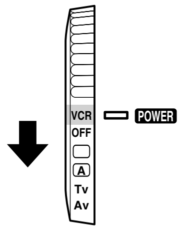
## 操作のしかた





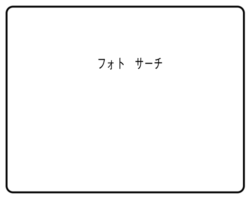

**1** メインダイヤルを

### VCRにする




**2** リモコンのSEARCH SELECTボタンで

### フォトサーチを選択する




- 「フォトサーチ」の文字が出る。

**3** リモコンの ⏮ または ⏭ を

### 押す

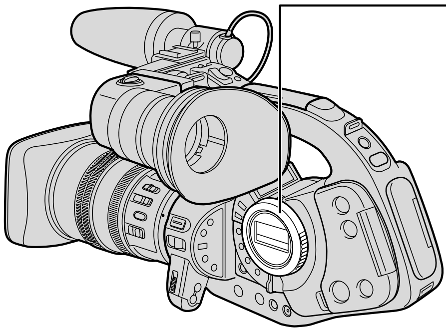
- フォトサーチでは ⏭ は正方向、 ⏮ は逆方向のサーチになる。
- 押した数だけ前/後ろの静止画（最多10枚）の頭出しになる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏭ または ⏮ を押す。

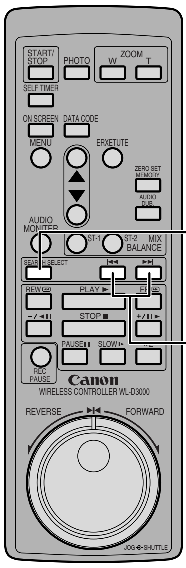
●サーチを始めた部分のすぐ近くの静止画は頭出しされないことがあります。

# 撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

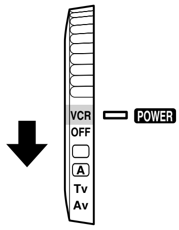
撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（116ページ）を使って撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。

## 操作のしかた

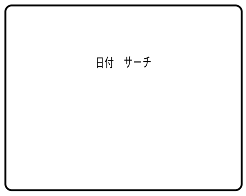




**1** メインダイヤルを
### VCRにする




**2** リモコンのSEARCH SELECTボタンで
### 日付サーチを選択する




- 「日付サーチ」の文字が出る。

**3** リモコンの ⏮ または ⏭ を
### 押す

- 日付サーチでは、日付をさかのぼるときは ⏮ を、日付を進めるときは ⏭ を押す。
- 押した数だけ前/後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになる。
- 日付の変わり目が見つかると再生が始まる。
- サーチを止めるときは停止 ■ ボタンを押す。
- サーチの方向を変えるときは、⏭ または ⏮ を押す。

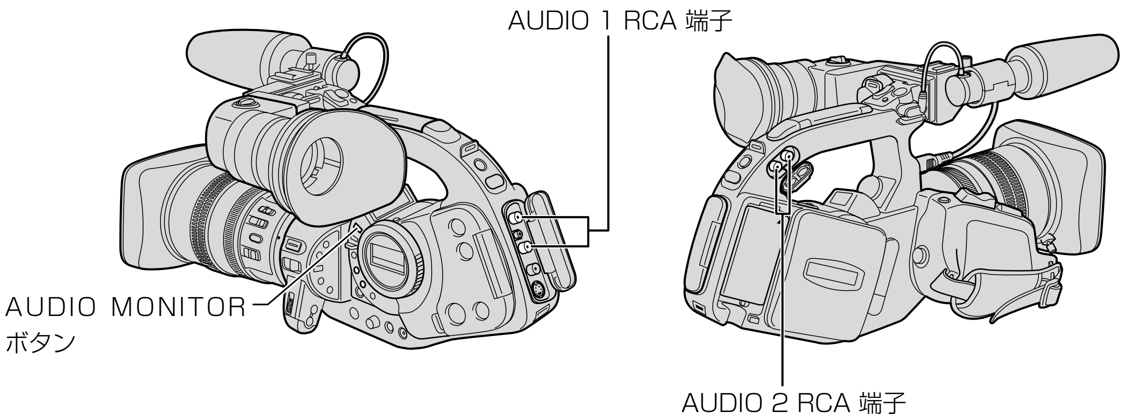
**日付サーチを行うときは**

- 1日/1エリアあたり約1分以上の記録部分が必要です。
- 日付サーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。
- データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

# オーディオモニター（VCRモード）

VCRモード時の本機のオーディオ出力は、4チャンネルで録音した（または12bit-ST1でアフレコした）場合には、ステレオ1、ステレオ2、ステレオ1／ステレオ2のミックスが選択でき,さらに16bit、12bitともにL（チャンネルAまたはC)、R（チャンネルBまたはD）の組み合わせ（L／R、L／L、R／R、L+R／R）が自由に選択できます。

● ヘッドホンではAUDIO 1端子と同じ音声がモニターできます（「L+R／R」を選んだときには「L／R」になります）。

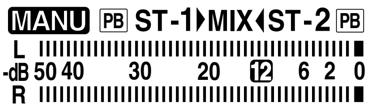


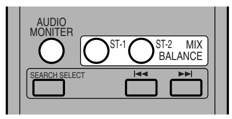

## オーディオモニターの切り換え

AUDIO MONITORボタンでAUDIO 1(AUDIO 2) RCA端子に出力する信号を選択します。
ステレオ1、ステレオ2、ステレオ1／ステレオ2のミックスが選択できます。ボタンを押すたびに切り換わり、オーディオレベルメーターにそれぞれ ST1、ST2、MIXと表示します。

● ステレオ2とステレオ1／ステレオ2のミックスでは、アフレコした音声を出力できます。




ステレオ1を選択した場合：AUDIO 1のL端子にはST1のチャンネルA、R端子にはST1のチャンネルBを、AUDIO 2端子のL端子にはST2のチャンネルC、R端子にはST2のチャンネルDを出力しますので、4チャンネル同時記録をした場合に各チャンネルを独立して出力できます（出力モードがL／Rの場合)。

ステレオ2を選択した場合：AUDIO 1のL端子にはST2のチャンネルC、R端子にはST2のチャンネルDを出力します（出力モードがL／Rの場合)。

MIXを選択した場合：AUDIO 1のL端子にはST1のチャンネルAとST2のチャンネルC、R端子にはST1のチャンネルBとST2のチャンネルDを出力します（出力モードがL／Rの場合)。
MIXを選択した場合には、さらにVCRメニューの「VCR設定」サブメニューで「ミックス選択」を「バリアブル」か、「1：1」を選択することにより、ST1とST2の比率を可変したり、1：1に固定できます。
1：1＝ ST1とST2のミックスの比率を1：1に固定して出力します。
バリアブル＝リモコンのMIX BALANCE ST1、ST2ボタンにより、ST1とST2のミックスの比率を自由に可変できます。

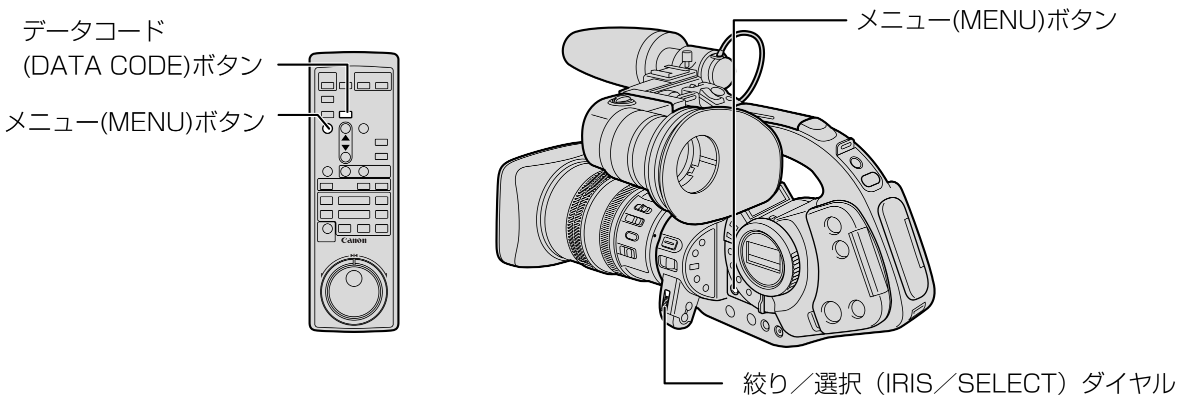
再生編

# 再生時の日時、カメラデータを表示する

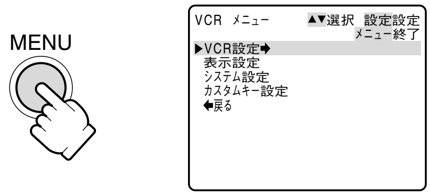
## （データコード）

あらかじめ日付と時刻を設定しておくと、撮影している映像とは別に、撮影時の日付/時刻を自動的に記録します。また、撮影時のシャッタースピード、絞り値（F値）とゲインも同様に記録します（これをカメラデータと呼びます）。本機ではカメラデータと日付/時刻を合わせてデータコードと呼びます。
テープを再生するときに、撮影時の日付/時刻、カメラデータを自由に表示できます。

● 本機で撮影したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したときにはデータコードが表示できないことがあります。データコードは、正方向再生、逆方向再生*、2倍速再生（正逆両方向）*、スロー再生（正逆両方向）、静止画再生（正逆両方向）、早送り再生*、巻き戻し再生*中に表示します。
ただし、カメラデータは＊マークのついた動作中はまれに「- - - -」になることがあります。

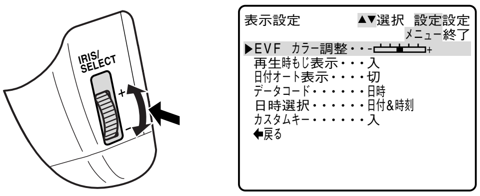



**1** MENUボタンを
**押す**




● メインメニューが出る。

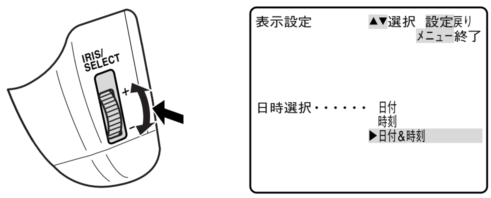
**2** メインメニューから
**「表示設定」を選ぶ**




● 「表示設定」サブメニューが出る。

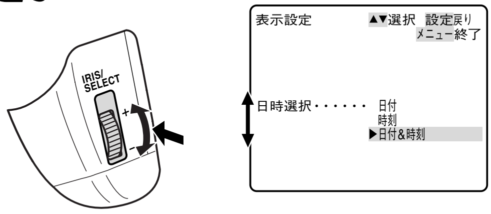
**日時の表示のしかたを選ぶ**

**3** 「表示設定」サブメニューから
**「日時選択」を選ぶ**



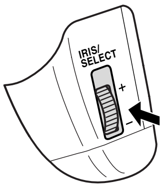

● 「日時選択」だけの表示になる。

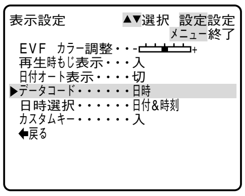
**4** 日時の表示内容を
**選ぶ**



## データコードの表示内容を選ぶ

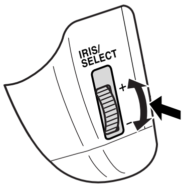
**5 設定する**

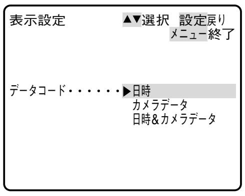



- 「表示設定」サブメニューに戻る。

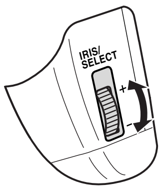
**6** 「表示設定」サブメニューから
**「データコード」を選ぶ**

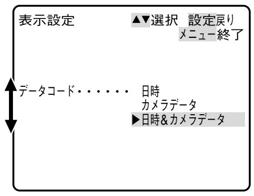


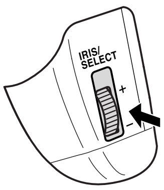

- データコードだけの表示になる。

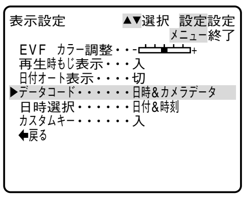
**7** データコードの表示内容を
**選ぶ**




**8 設定する**



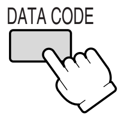

- サブメニューに戻る

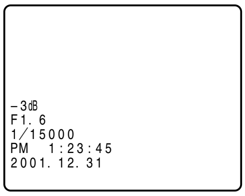
**9** MENUボタンを
**押す**




- メニュー表示が消える。

**10** 再生中　DATA CODEボタンを
**押す**




- データコード表示が出る。

**データコード表示について**

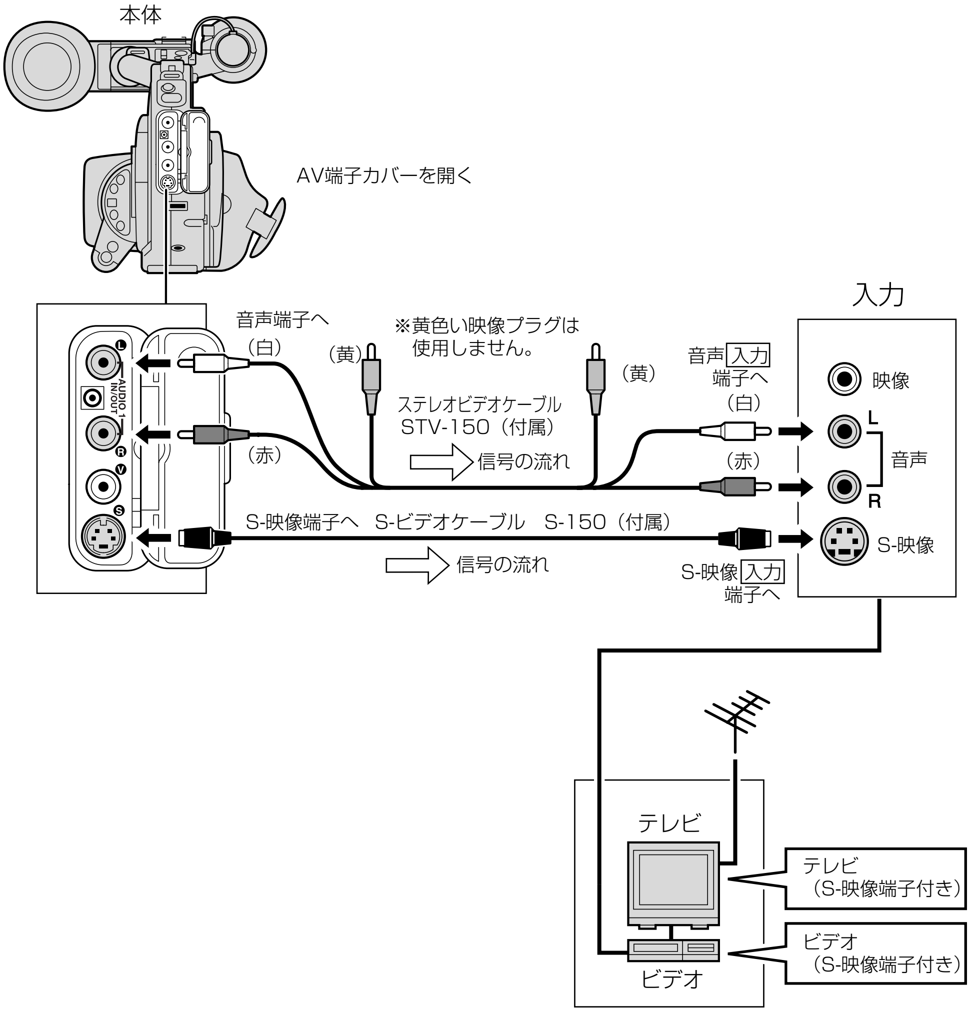
- メニューで設定する「日時選択」と「データコード」の内容により、データコードの表示内容が変わります。

# ビデオデッキなどへ録画する

本機を再生機として、ビデオデッキなどのビデオ機器を録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング・編集できます。録画側のビデオ機器は、どの方式でも使えます。
また、録画側のビデオ機器がDV端子付きの場合は、デジタル信号のまま、画質や音質の劣化がほとんどないダビング編集ができます。

## 接続のしかた

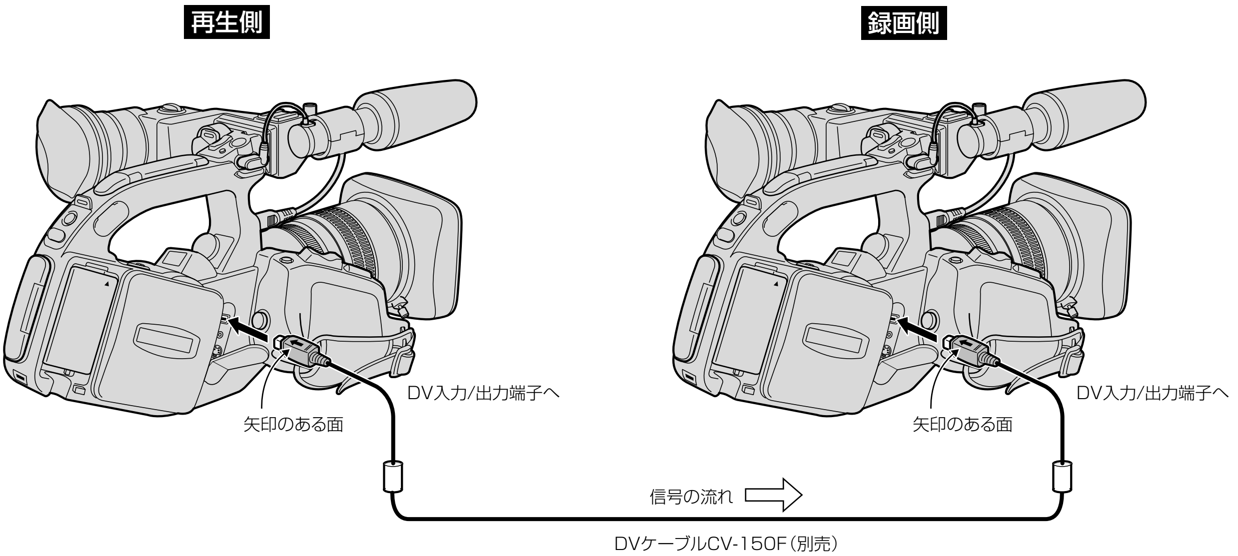
S-ビデオケーブルS-150、ステレオビデオケーブルSTV-150を使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※黄色い映像プラグは使用しません。



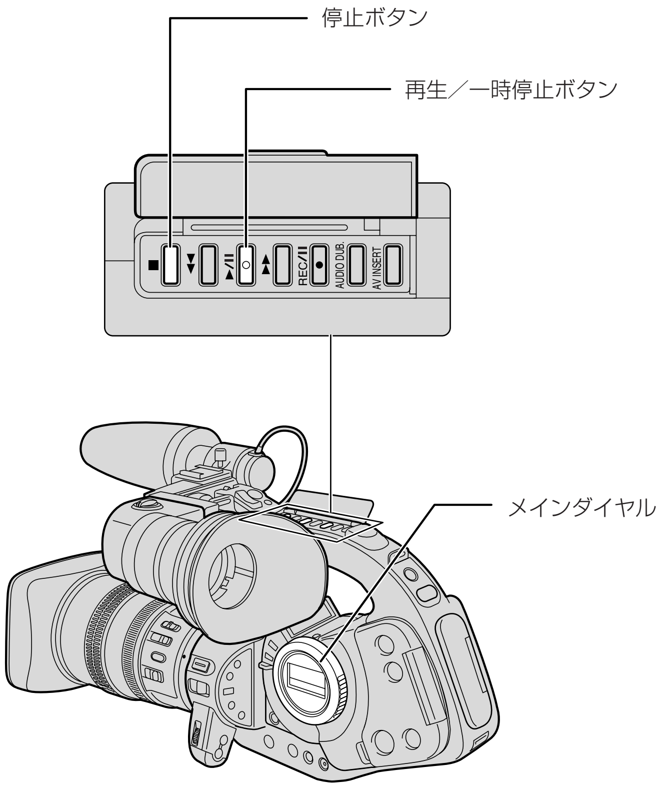
## DV端子付きビデオ機器へ録画する

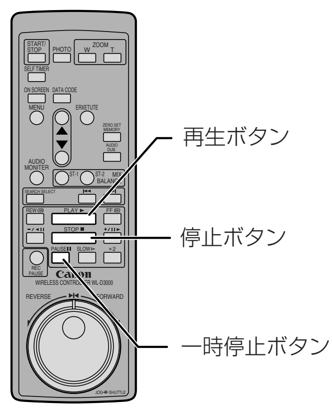
本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。




- 再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。



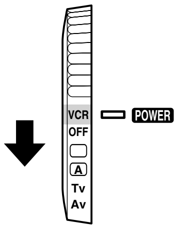

編集編

# ビデオデッキなどへ録画する…つづき

## 操作のしかた

### 本機 再生機 の操作

**1** メインダイヤルを
**VCRにする**

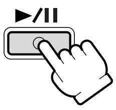



- 再生するカセットを入れる。

**2** 巻き戻しボタンまたは早送りボタンを
**押して、**
再生を始める少し手前の位置を探す



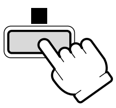
**3** 再生／一時停止ボタンを
**押す**




- 再生が始まる。

**再生**

**4** 停止ボタンを
**押す**



- 再生が終わる。

### ビデオデッキまたはDV端子付きビデオ機器 録画機 の操作

**1** 録画用のカセットを入れる

**2** 録画一時停止状態にする

**3** 録画を開始する場面で録画を始める

**録画**

**4** 録画を終える

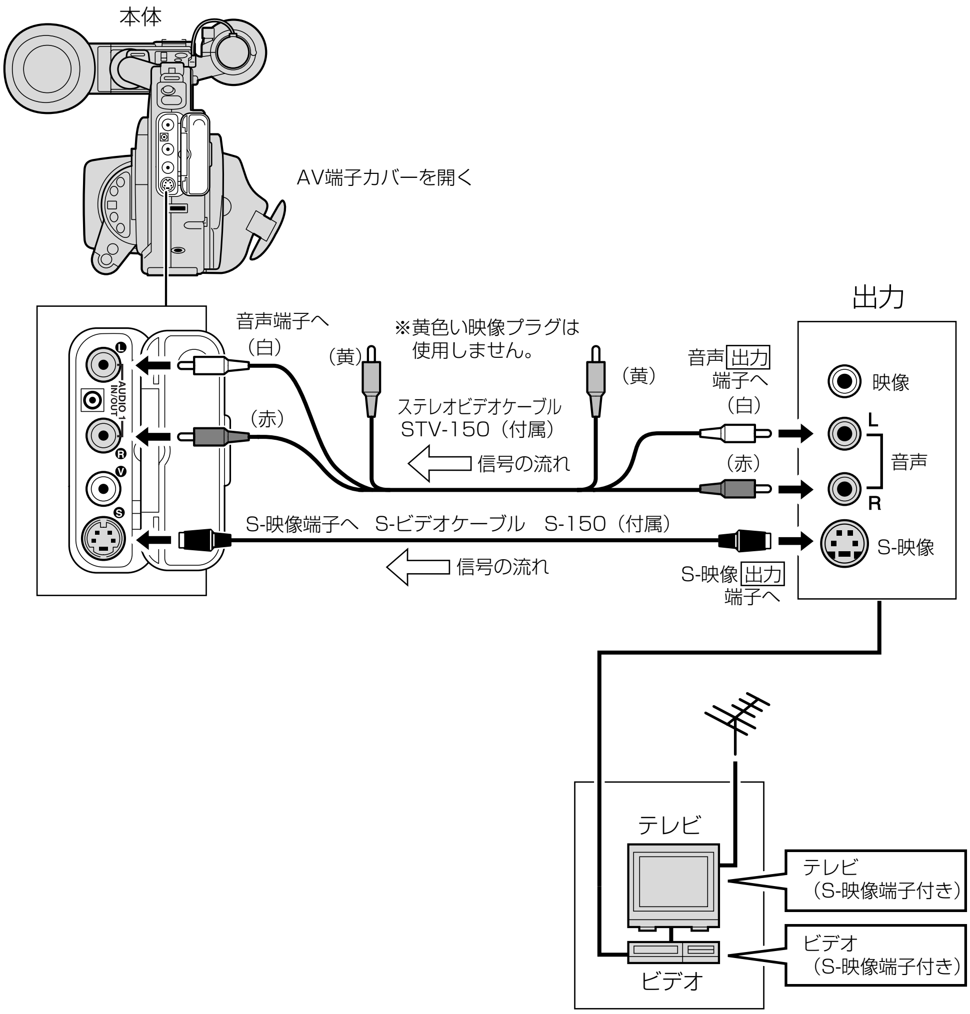
**ダビング編集すると**
- DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣ります。

# ほかのビデオ機器やテレビの画像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオ機器の画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。
テレビやビデオ機器から出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープでは、ダビング録画できません。

## 接続のしかた

S-ビデオケーブルS-150、ステレオビデオケーブルSTV-150を使います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
※この例では、黄色い映像プラグは使用しません。




編集編

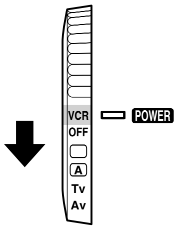
## 本機を録画機として使用する場合

### 操作のしかた

### 本機 録画機 の操作

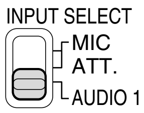
● VCRメニューの「VCR設定」サブメニューの「オーディオモード」で「12bit ST-1,2」を選ぶと4チャンネル同時録音も可能です（65ページ）。

**1** メインダイヤルを
**VCRにする**




● 録画用のカセットを入れる。

**2** INPUT SELECTスイッチを
**AUDIO 1にする**




**3 VCRメニューの「VCR設定」サブメニューのAUDIO 1 INでLINEを選択する**




**4** 録画一時停止ボタンを
**押す**




または

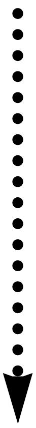



● 録画一時停止になる。
● 録画一時停止中、録画中はビューファインダーで映像の確認ができます。

### 再生機 の操作

**1** 再生するカセットを入れる

**2** 再生を始める



**再生**

## 本機 録画機 の操作

**5** 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
**押す**




**6** 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
**押す**

－録画を終えるとき－




● 録画が終わる。

－一時停止するとき－




●録画を再開するとき
はもう1回押す。

## 再生機 の操作

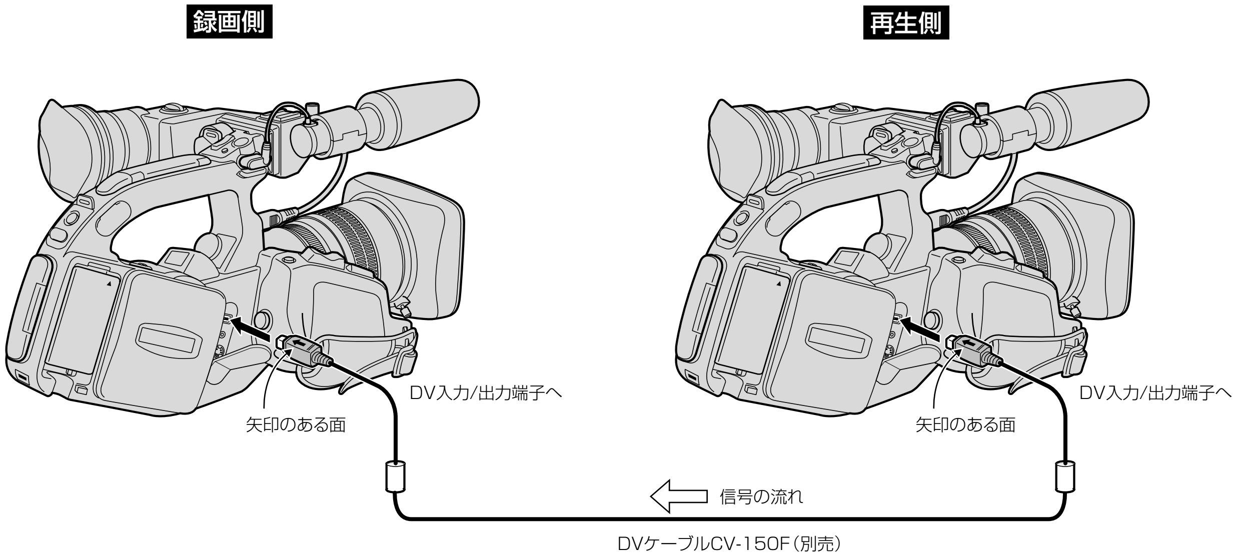
**3** 再生

**4** 再生を終える

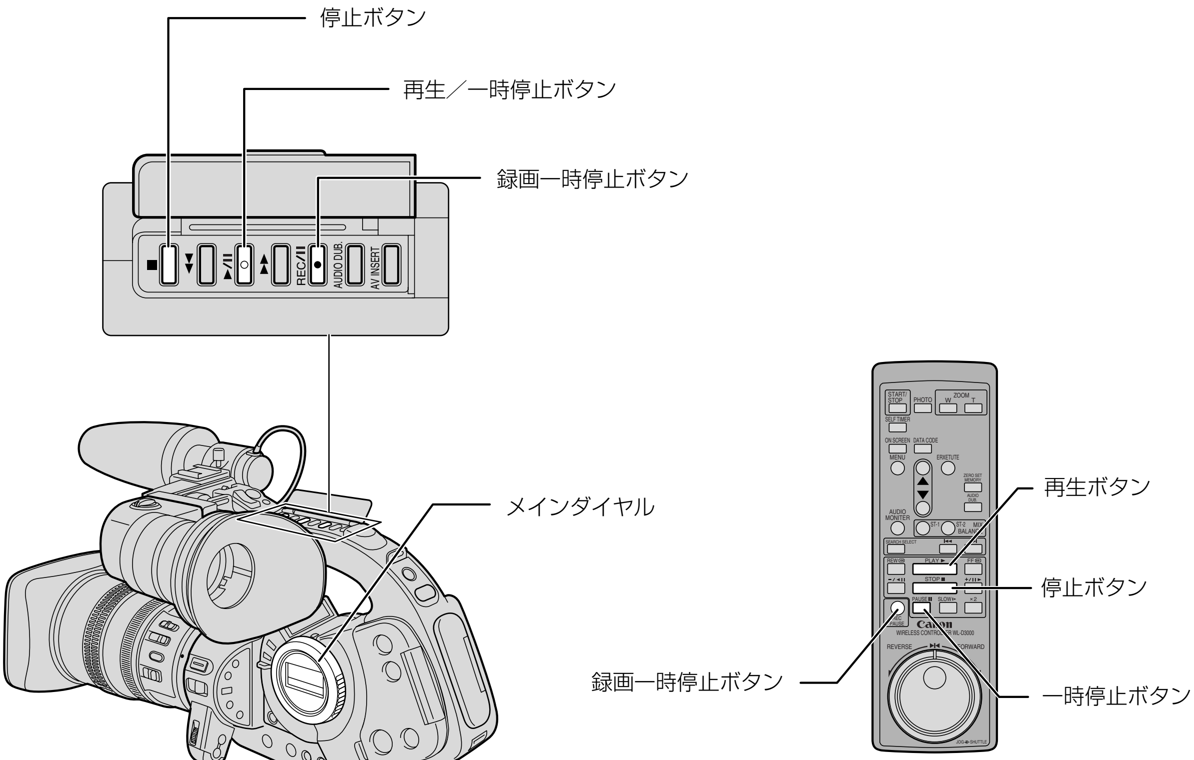
編集編

# DV端子付きビデオ機器から録画する

本機と、DV端子を持つビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。
ビデオ機器から出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
著作権保護信号が記録されているテープでは、ダビング録画できません。
● 2倍録画、3倍録画モードで記録されたテープでは、ダビング録画できません。




● DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
● DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。
● 再生機が無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
● DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

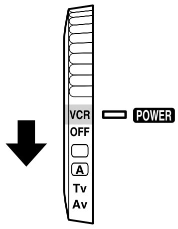


## 本機を録画機として使用する場合

### 操作のしかた

#### 本機 録画機 の操作

**1** メインダイヤルを
**VCRにする**




- 録画用のカセットを入れる。
- DV端子付きビデオ機器とDVケーブルで接続されるとビューファインダーに「DV入力」の表示が出る。

**2** 録画一時停止ボタンを
**押す**




- 録画一時停止になる。
- 録画一時停止中、録画中はビューファインダーで映像の確認ができます。

**3** 録画を開始する場面で一時停止ボタンを
**押す**




- 録画が始まる。

**4** 停止ボタンまたは一時停止ボタンを
**押す**

－録画を終えるとき－




- 録画が終わる。

－一時停止するとき－




- 録画を再開するときはもう1回押す。

#### 再生機 の操作

**1** 再生するカセットを入れる

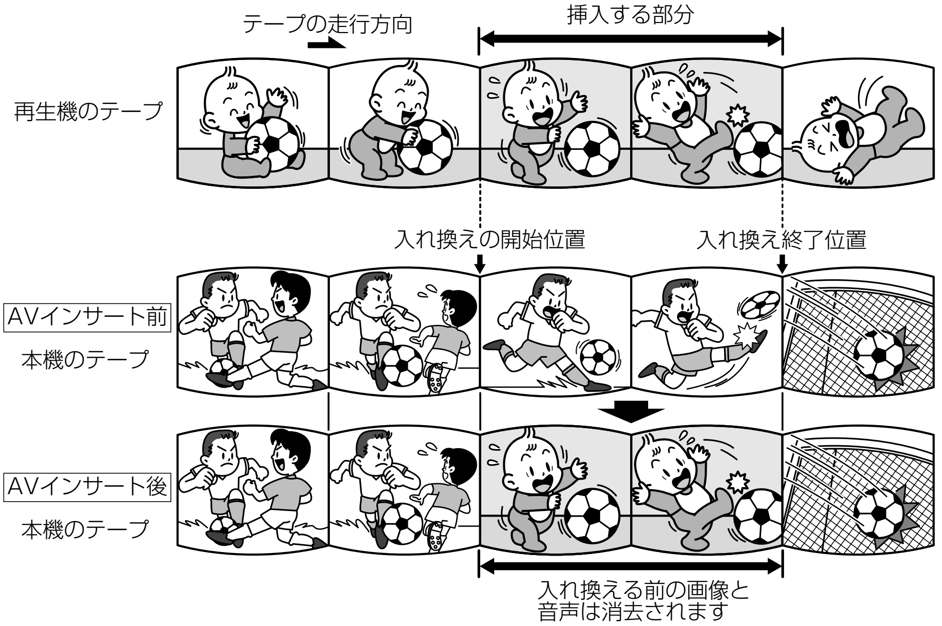
**2** 再生を始める

**3** **再生**

**4** 再生を終える

# 撮影した映像と音声を入れ換える（AVインサート）

本機で撮影したテープの音声を、ほかのビデオ機器からの映像/音声と入れ換えることができます（AVインサート）。
AVインサートは、アナログ入力（121ページ）、DV入力（124ページ）のいずれも可能です。
テープを再生する機器を本機に接続してください。




## AVインサートするときは

**本　機**

本機で、SPモード、連続してタイムコードを記録しているテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモードで記録した部分があるテープでAVインサートを行うと、記録が中断されます。

**再生機**

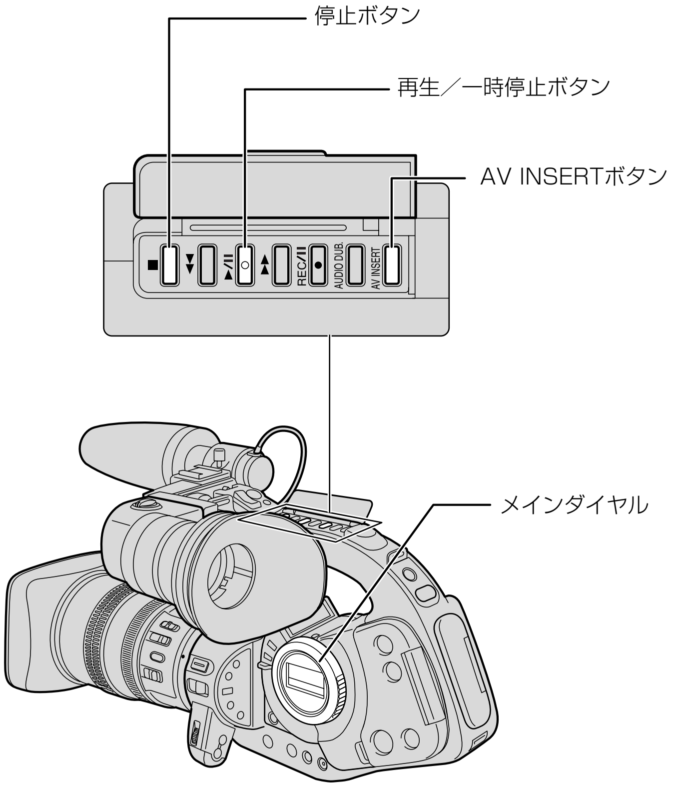
無記録部分のないテープを使用してください。
途中に無記録部分や録画モードを変更している部分があると、本機で正しくAVインサートできない場合があります。
次のような場合にはAVインサートできません。

- 記録状態が悪いビデオテープを再生する
- 再生機が、早送り、巻き戻し、静止画再生、スロー再生などの特殊再生中（アナログ入力時）

**テレビ**

受信状態の悪いテレビ番組など、同期信号に乱れがある場合、AVインサートはできません。

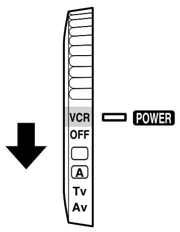
## 操作のしかた




**1** 本機／再生機に撮影済みテープを入れる

- カセットの誤消去防止つまみが録画できる状態（REC）になっていることを確認してください。

**2** メインダイヤルを
**VCRにする**




**3** INPUT SELECTスイッチを
**AUDIO 1にする**

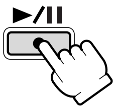



**4** **VCRメニューの「VCR設定」サブメニューのAUDIO 1 INでLINEを選択する**

編集編

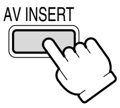
**5** **再生機** 再生を開始したい場面の約3秒手前の位置で再生一時停止にする

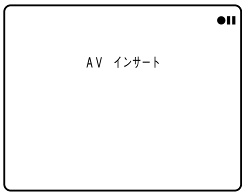
**6** **本　機** 再生／一時停止ボタンを押してAVインサートを開始する位置を探し、再生一時停止にする




● 本機のAVインサートしたい場面を探すときに、特殊再生を使うと便利です（107ページ）。

**7** AV INSERTボタンを
**押す**

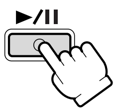



● 「AVインサート」の表示が出る。

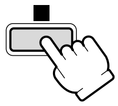
**8** **再生機** テープを再生する

**9** **本　機** 再生中のテープのAVインサートを開始したい位置で再生／一時停止ボタンを押す。




● AVインサートが始まる。

**10** **本　機** AVインサートを終了する位置で停止ボタンを押す。




● AVインサート表示が消え、停止になる。

**11** **再生機** 停止ボタンを押す

● あらかじめAVインサートを終了したい位置でZERO SET MEMORYボタンを押してからAVインサートを開始すると、その位置で自動的に停止します。

# 撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

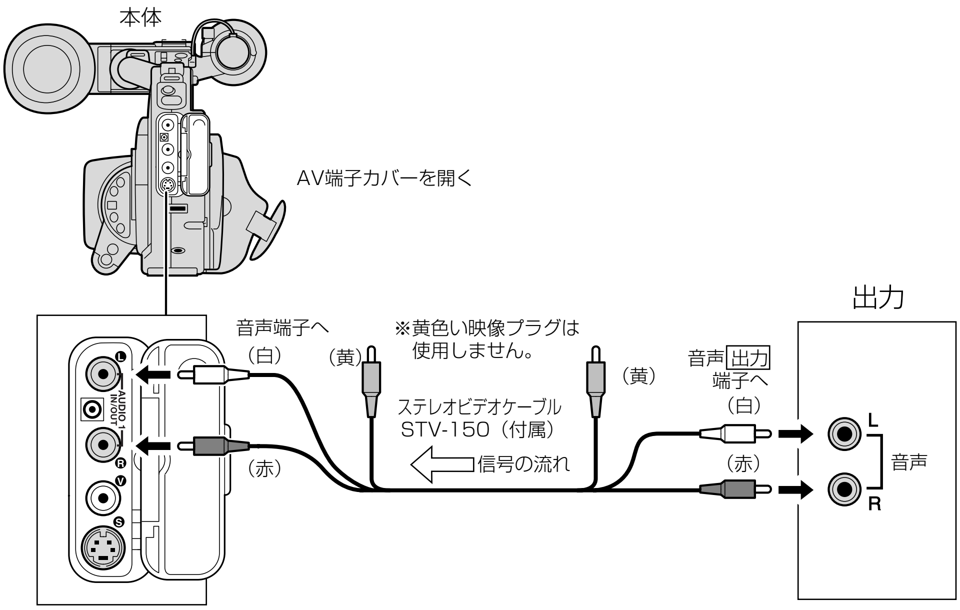
本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。AUDIO1 RCA端子に接続したCDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり、本機の付属マイクまたは市販のマイクを使って音声を録音します。

## アフレコするときは

本機で、SPモード、オーディオ12bit-ST1で記録したテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録した部分、12bit同時4チャンネルで記録した部分があるテープでは、記録が中断されます。

- ●このような場合には、本機で、SPモード、オーディオ12bit-ST1でアナログ入力録画してアフレコすることをおすすめします。
- ●AUDIO2端子からはアフレコできません。
- ●アフレコするとき、または、アフレコしている間は、本機に接続しているケーブルを抜き差ししないでください。
- ●S-映像、映像端子にテレビをつなぐと、テレビで画像を確認できます。音声は、ヘッドホンで確認できます。

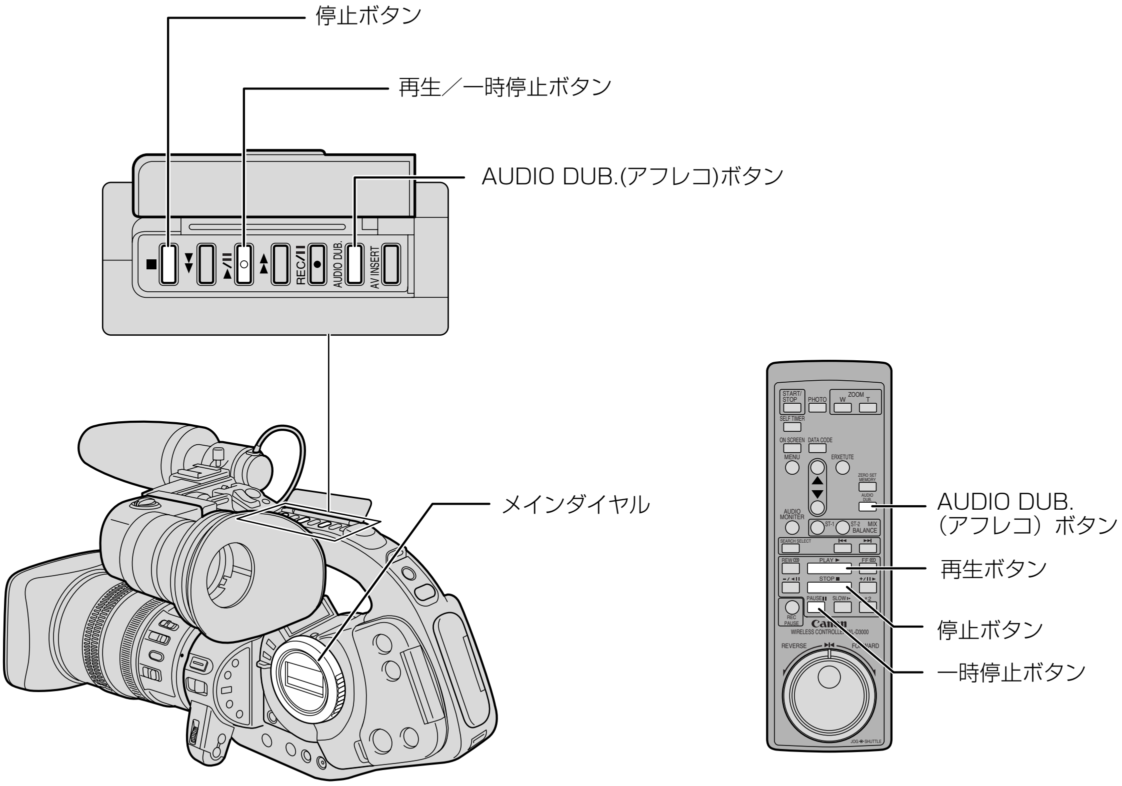
## AUDIO1端子でアフレコする場合




編集編

# 撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）…つづき

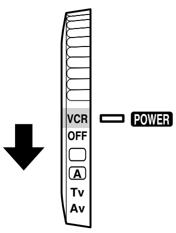
## 操作のしかた




3、4の操作は「2チャンネルで録音する」（64ページ）と同じです。

**1** 本機に撮影済みのカセットを入れる

**2** メインダイヤルを
**VCRにする**

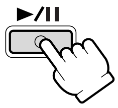



**3** INPUT SELECTスイッチで入力（マイク、AUDIO1端子）を
**選ぶ**

- AUDIO1端子を選んだ場合は、カメラメニューの「VCR設定」サブメニューの「AUDIO1 IN」で入力信号のレベルを選ぶ。

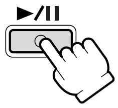
**4** 音声入力信号の
**レベル調整を行う**

**5** 再生／一時停止ボタンを押して、音声を追加したい場面の開始位置を探す




● 音声を追加する場面を探すのに、特殊再生を使うと便利です（107ページ）。

**6** 再生／一時停止ボタンを
**押す**




● 再生一時停止になる。

**7** AUDIO DUB.（アフレコ）ボタンを
**押す**

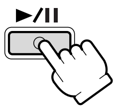






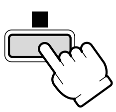
●「アフレコ」の表示が出る。

**8** 再生/一時停止ボタンを
**押す**




● アフレコを始める。
●マイクに向かって話してください。
オーディオ機器を再生してください。

**9** アフレコを終了したい位置で停止ボタンを
**押す**




● アフレコ表示が消え、停止になる。

●あらかじめアフレコを終了したい位置でZERO SET MEMORYボタンを押してからアフレコを開始すると、その位置で自動的に停止します。
●DV端子からのアフレコはできません。
●ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
●テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。
●アフレコした音声を聞くときは115ページをご覧ください。

# メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入/切しても保持している設定項目

メインダイヤルを切り換えたり、STANDBYボタンを入/切しても次の機能の設定は保持されます（ボタン型リチウム電池装着時）。

●カメラモード

<table>
<tr><th></th><th>メインダイヤルで電源を切る</th><th>STANDBYボタンを入/切する</th></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、<br>シャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>露出ロックの入/切</td><td>切になる</td><td>○</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、<br>シャッタースピード</td><td>リセット</td><td>○</td></tr>
<tr><td>デジタルエフェクトの選択</td><td>リセット（デジタルズームを除く）</td><td>○</td></tr>
<tr><td>デジタルエフェクトの入/切</td><td>リセット（デジタルズームを除く）</td><td>×</td></tr>
<tr><td>カメラメニューの設定項目＊</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマーの入/切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>インターバルタイマーの入/切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ビューファインダー表示入/切</td><td colspan="2">通常表示に戻る</td></tr>
<tr><td>液晶表示部照明の入/切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>ゼロセットメモリーのカウンター</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

＊セルフタイマーとインターバルタイマーの入／切は除く。

メインダイヤルで撮影モードを切り換えても次の機能の設定は保持されます（ボタン型リチウム電池装着時）。

●カメラモード

<table>
<tr><th></th><th>ほかの撮影モードに<br>切り換える</th><th>□（全自動）モードに<br>切り換える</th></tr>
<tr><td>Avモードで設定した絞り値</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>Tvモードで設定したシャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>マニュアルモードで設定した絞り値、<br>シャッタースピード</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランスセット</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>露出ロックの入/切</td><td colspan="2">切になる</td></tr>
<tr><td>露出ロックで設定した絞り値、<br>シャッタースピード</td><td colspan="2">リセット</td></tr>
<tr><td>デジタルエフェクトの選択</td><td>○</td><td>リセット（デジタルズームを除く）</td></tr>
<tr><td>デジタルエフェクトの入/切</td><td>○</td><td>リセット（デジタルズームを除く）</td></tr>
<tr><td>カメラメニューの設定項目</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>セルフタイマーの入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>インターバルタイマーの入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>オンスクリーンの入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ビューファインダー表示入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>液晶表示部照明の入/切</td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td>ゼロセットメモリーのカウンター</td><td colspan="2">○</td></tr>
</table>

メインダイヤルで電源を切っても次の機能の設定は保持されます（ボタン型リチウム電池装着時）。

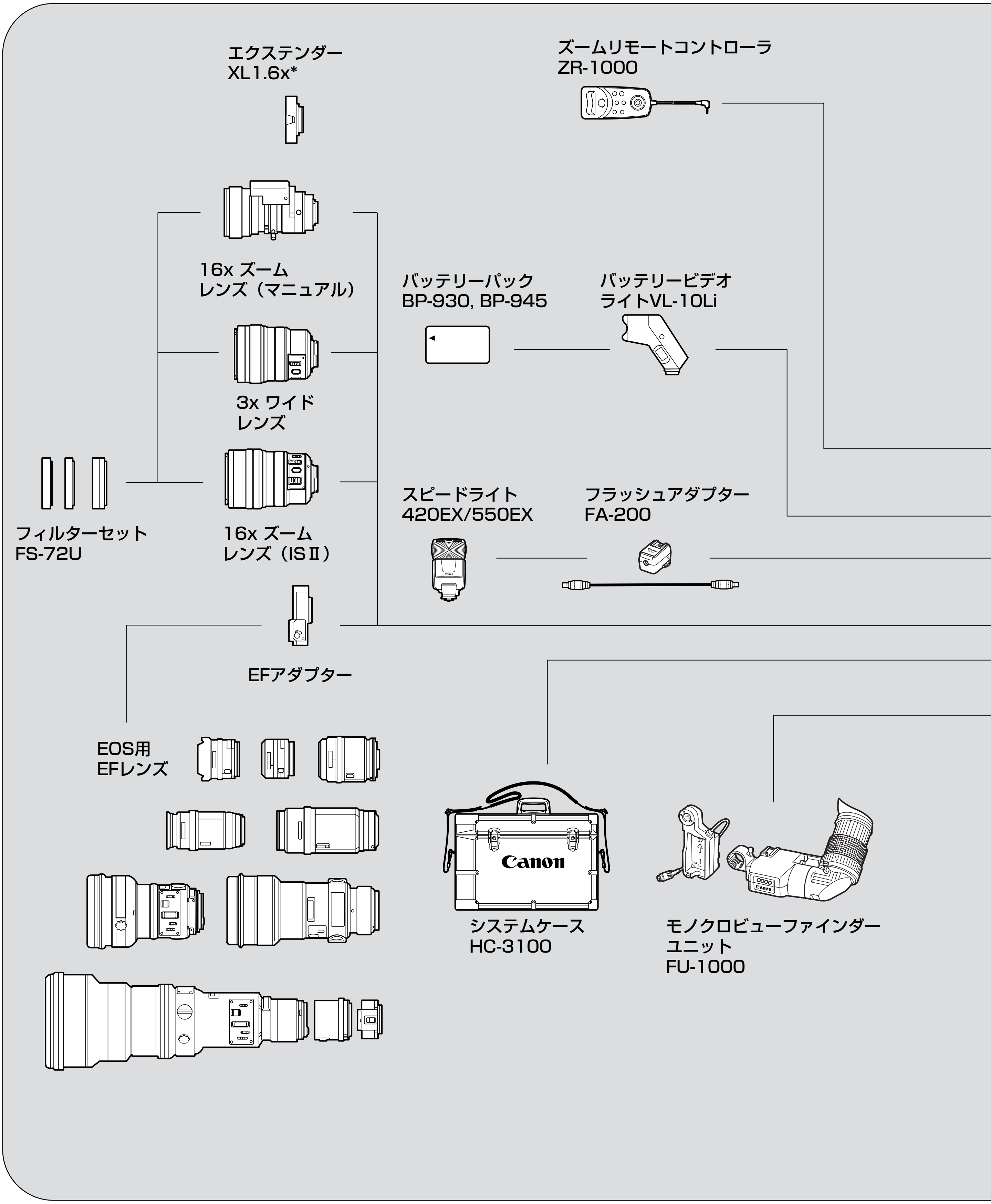
●VCRモード

| | |
|---|---|
| オンスクリーンの入/切 | 切になる |
| 液晶表示部照明の入/切 | 切になる |
| ゼロセットメモリーのカウンター | ○ |
| データコード表示の入/切 | 切になる |
| オーディオ12bit出力の選択 | ステレオ1になる |
| ミックスバランスの設定 | ○ |
| サーチ選択の設定 | フォトサーチになる |
| VCRメニューの設定項目 | ○＊ |

＊OUTPUT CHのみ「L/R」になる。

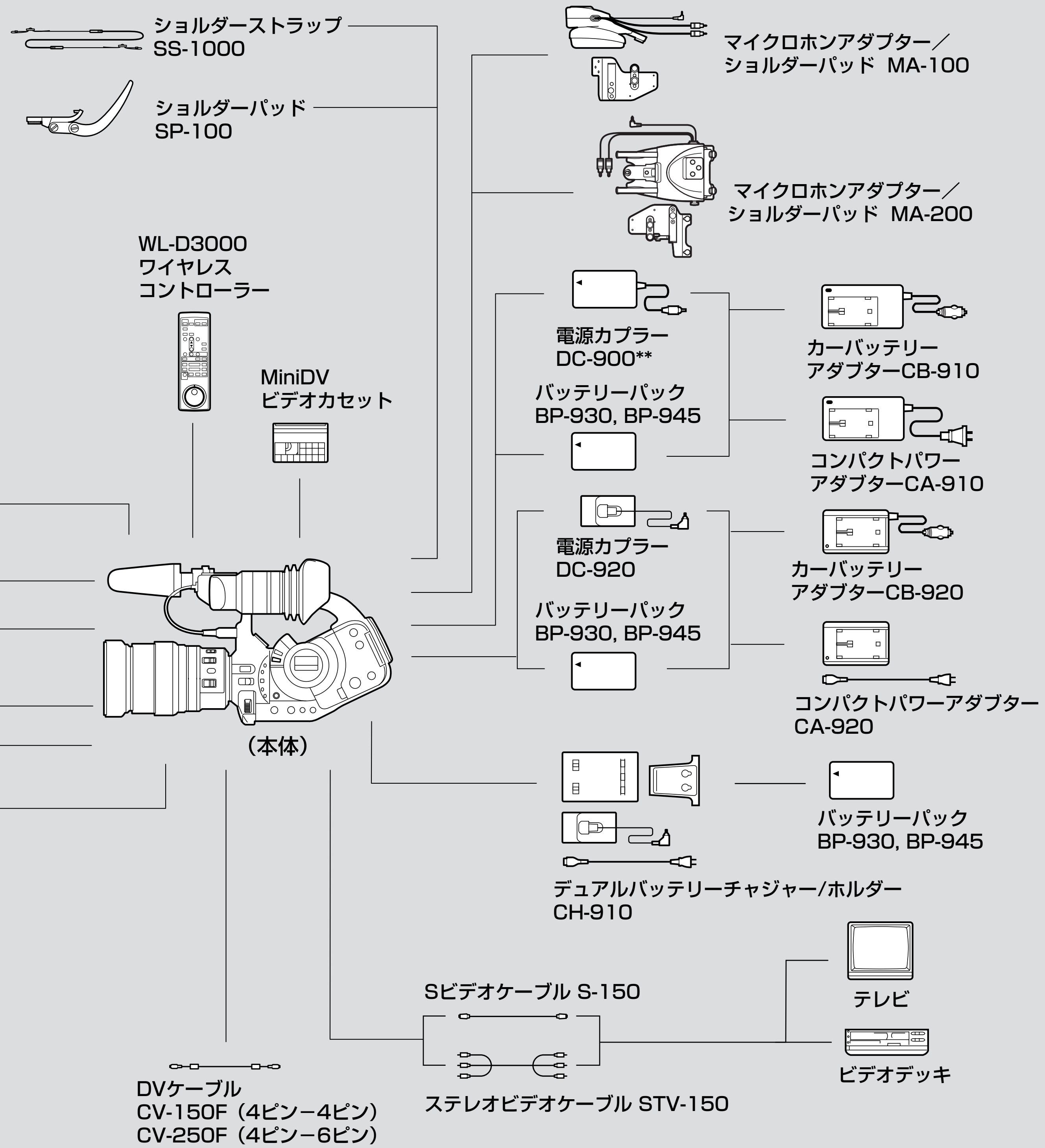
その他

# キヤノンビデオシステム



※16×ズームレンズ（ISⅡ）、16×ズームレンズ（マニュアル）に使用可。

※※別途お求めの場合は、DC-905をお求めください。




キヤノンビデオ機器に他社製の電源関連製品（バッテリーパック、コンパクトパワーアダプターなど）を組み合わせた場合、正しく取り付けられなかったり、正常に動作しないことがあります。ご注意ください。
キヤノンビデオ機器と他社製の電源関連製品を組み合わせてお使いになって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。
記載内容は2002年8月現在のものです。

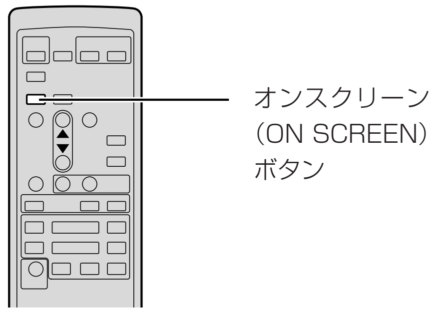
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

# ビューファインダー表示

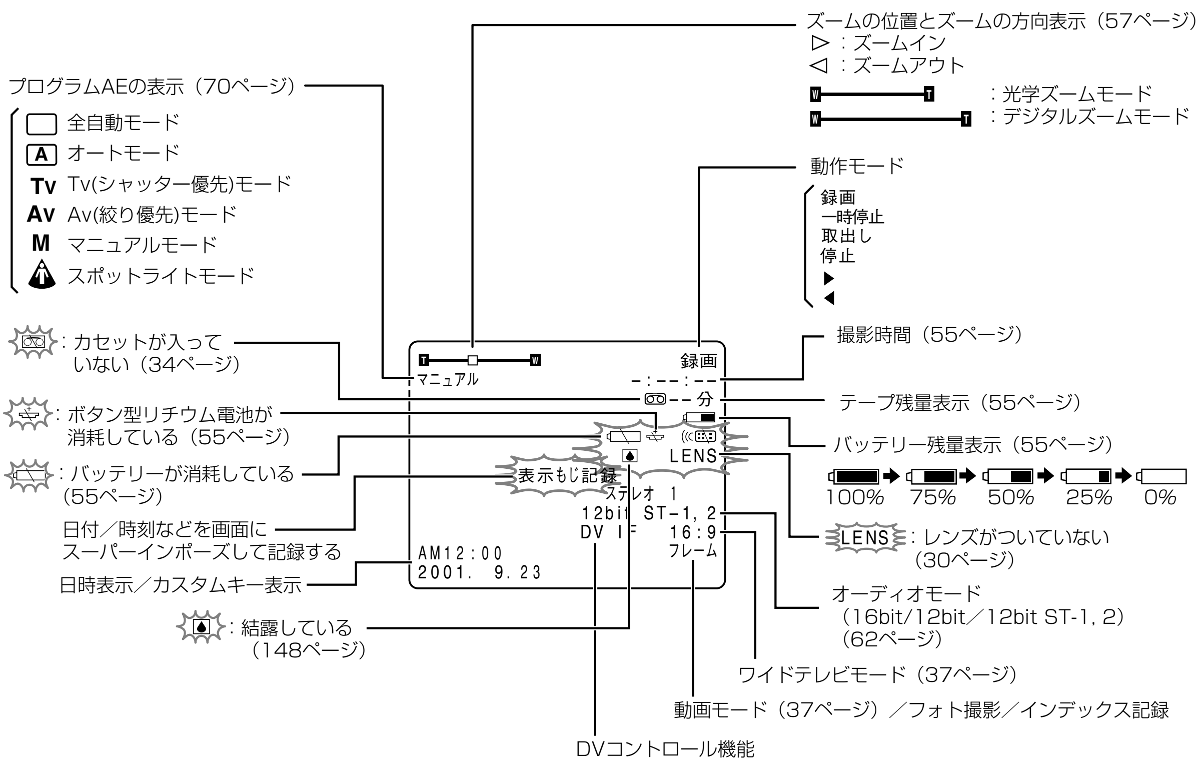
ビューファインダーは、カメラの動作状態のさまざまな情報を表示します。
ビューファインダーの情報を本機と接続したテレビにも表示できます。

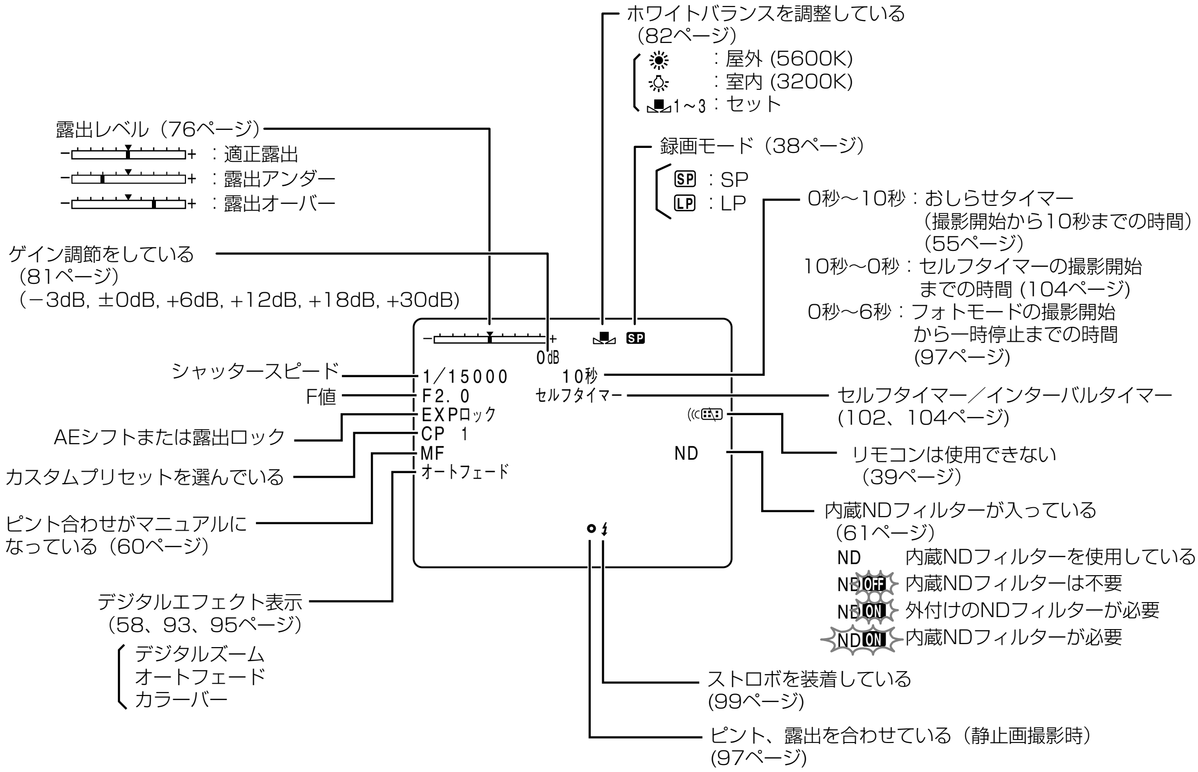
**カメラモード：**
オンスクリーンボタンを押すと表示し、もう一回押すと消えます。

**VCRモード：**
オンスクリーンボタンを押すと表示し、もう一回押すと消えます。
表示の中で、日付と時刻はダビングできます。
詳しい説明は、39ページにあります。




## 撮影するときの表示

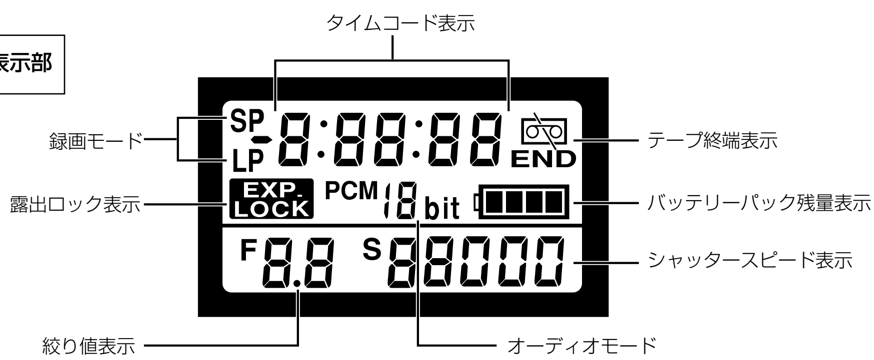





**オーディオレベルメーター**



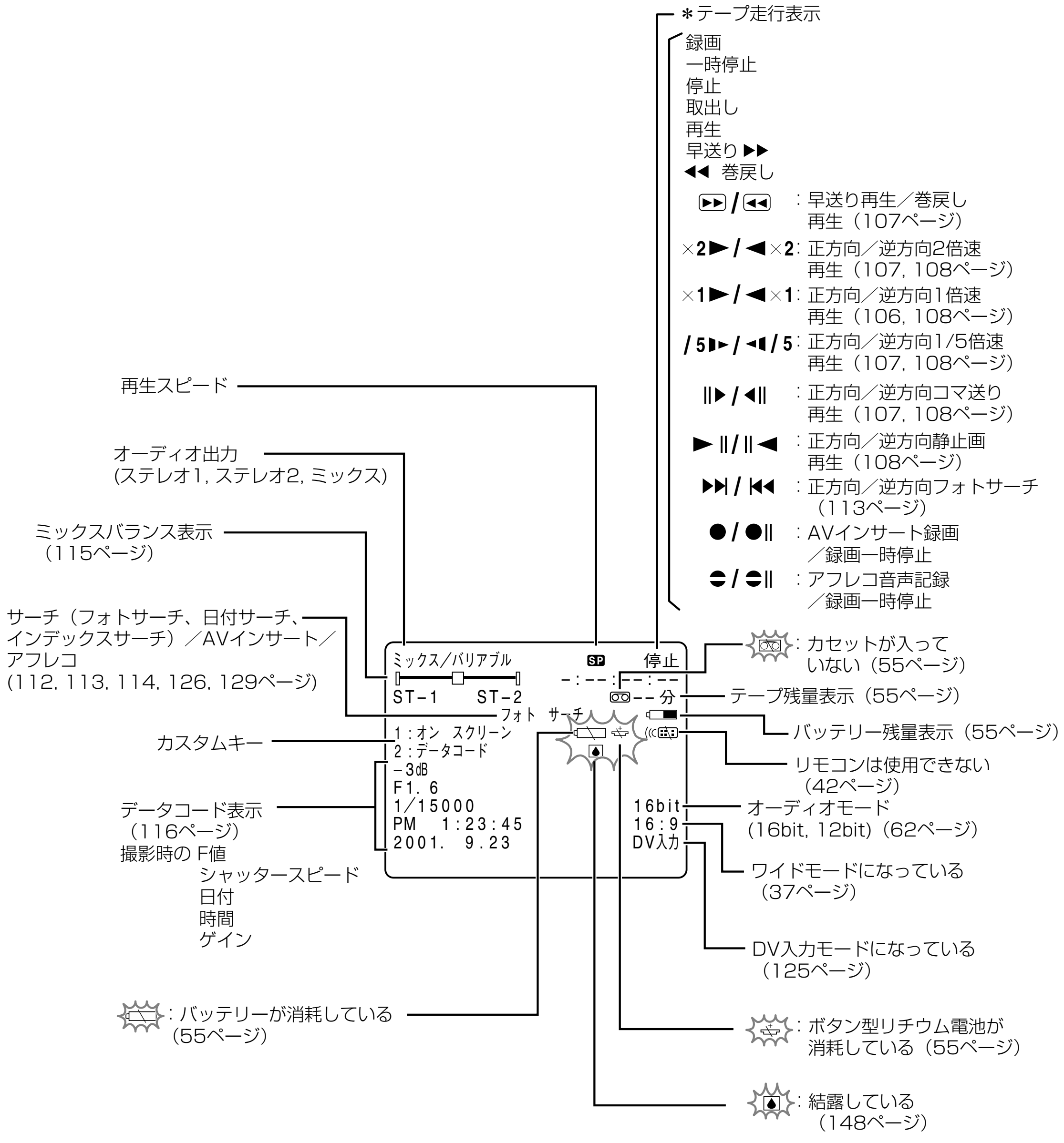

**メイン液晶表示部**




その他

# ビューファインダー表示…つづき

## 再生するときの表示



## 警告文表示

| | |
|---|---|
| エリア／日時を<br>設定してください | 世界時計のエリアまたは日時を設定していません。<br>世界時計のエリアと日時を設定してください。<br>(47、50ページ) |
| バッテリーパックを<br>取りかえてください | バッテリーパックが消耗している場合に表示されます。<br>十分に充電されたバッテリーと交換してください。<br>(22ページ) |
| カセットの<br>誤消去防止ツマミ<br>を確認してください | カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ替えるか、カセットの誤消去防止ツマミをＲＥＣに切り換えてください。(35ページ) |
| カセットを<br>取出してください | テープ保護のため、本機が動作を中止した状態です。カセットを取り出して入れ直してください。(34ページ) |
| ＤＶ入力を<br>確認してください | ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されてない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れている状態で操作しています。ケーブルと端子、電源を確認してください。(124ページ) |
| 結露しています | ビデオカメラ内部に水滴がついている場合に表示されます。結露の項目をご覧ください。(148ページ) |

# ビューファインダー表示…つづき

テープ終了です

再生または早送り、録画でテープが最後まで巻かれた場合、あるいは最後まで巻かれているにもかかわらず、再生ボタンまたは早送りボタン、スタート／ストップボタン、録画ボタンを押した場合に表示されます。カセットを巻きもどす、または取り出してください。
(34, 106ページ)

テープを
確認してください
［録画モード］

長時間記録モードで記録された部分です。アフレコまたはAVインサートできません。（126, 129ページ）

テープを
確認してください
［オーディオモード］

16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません。（129ページ）

テープを
確認してください
［録画していません］

記録されていない部分のため、アフレコまたはAVインサートできません。（126、129ページ）

クリーニングカセットを
使ってください
［ヘッドよごれ］

ビデオヘッドが汚れたとき。
(記録時のみ)

パワースタンバイします

STANDBYボタンを押している1秒間表示されます。(53ページ)

レンズのセツゾク
を確認してください

レンズが正しく取り付けられていないときに表示されます。
レンズはカチッと音がするまで回して取り付けてください。（30ページ）または、電源を切ってから、レンズを取り付け直し、もう一度電源を入れてください。

## 著作権保護信号

コピー禁止テープです
再生できません

(本機が再生側の場合)
コピー禁止のテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生することができません。(121ページ)

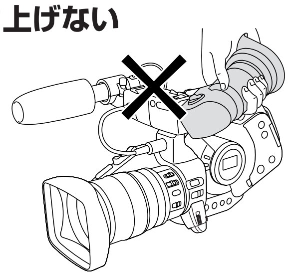
コピー禁止です

(本機が録画側の場合)
他のＤＶ端子搭載のビデオ機器と本機をＤＶケーブルで接続して、コピー禁止テープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録することができません。(124ページ)

# 取り扱い上のご注意

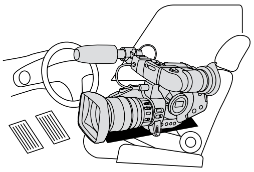
ビデオカメラやカセットを使うときは次のことに注意してください（使用したカセットはケースに収納してください）。

**ビューファインダーやマイクをつかんで、本機を持ち上げない**



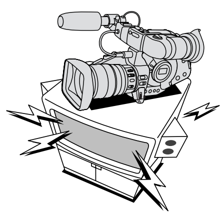
**高温、多湿の場所に放置しない**

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



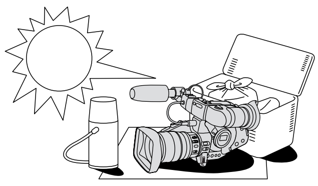
**強い磁気の発生する場所で使わない**

テレビの近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影は避けてください。画面がゆがんだり、ノイズが入ることがあります。



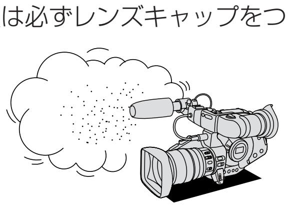
**太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない**

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



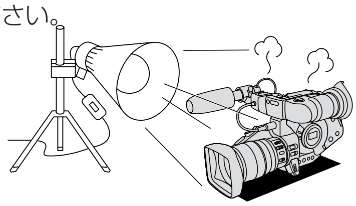
**ホコリや砂の多い場所では使わない**

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。レンズにホコリや砂がつくのを防止するために、使用後は必ずレンズキャップをつけてください。



**照明器具に注意する**

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。

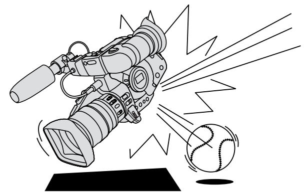


**ハンドルを持って運ぶときは振り回したりしない**

ぶつけたりすると故障の原因になります。

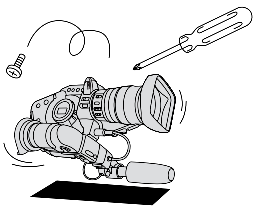
**振動や衝撃を与えない**

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



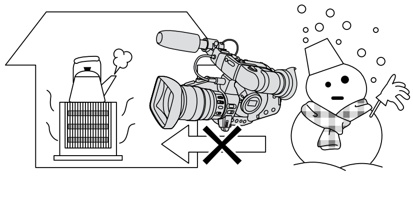
**分解しない**

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



**極端な温度差にさらさない**

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（148ページ）の指示にしたがってください。



# ビデオヘッドをクリーニングする

ビューファインダーに「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見るために約20時間使ったら、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

**正常な画像**



**ビデオヘッドが汚れているときの画像**



**ヘッドクリーニングするときは**

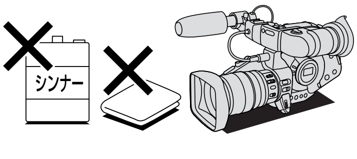
● 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

# 日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

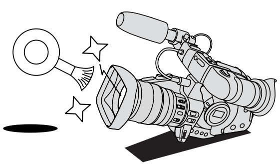
**お手入れ**

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



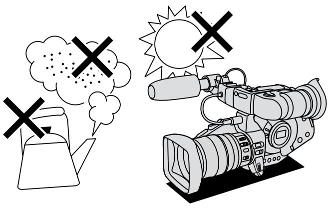

**レンズはいつもきれいに**

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。



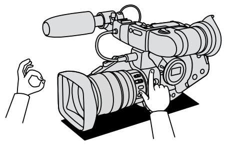
**長期間使わないときは**

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



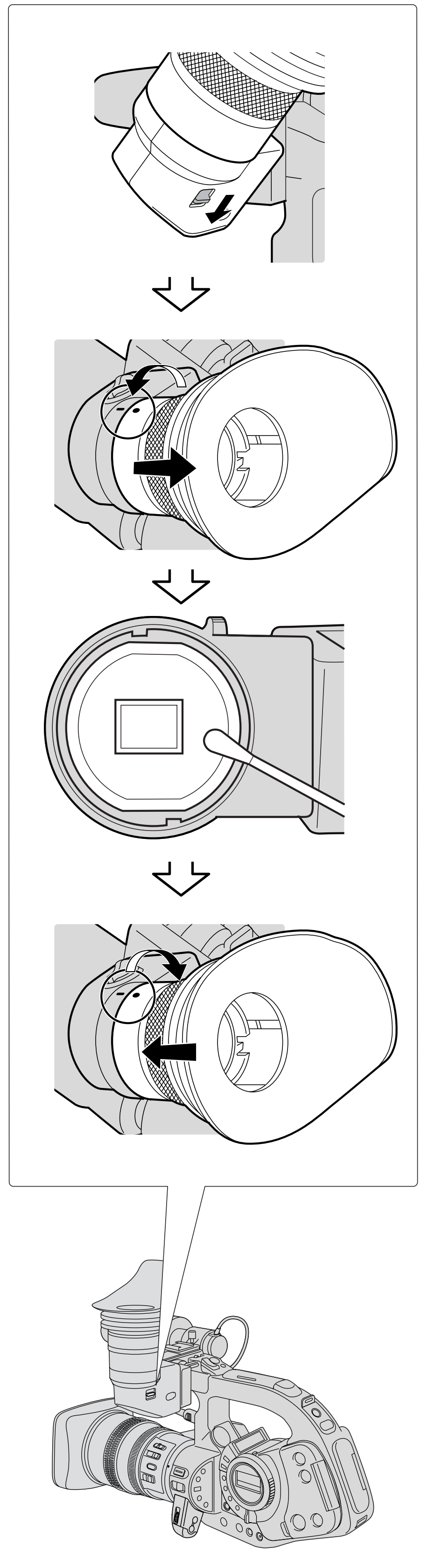
**各部のチェック**

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。



# ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダー内部のゴミを取り除く



**1** RELEASEスイッチを押しながら、アイカップを反時計方向に回す

**2** 綿棒でガラス部のゴミを取り除く

- ガラス部以外には触れないでください。

**3** ファインダーとアイカップのマークを合わせてはめ込み、まわして固定する

- ガラス部の表面は傷つきやすいので、ご注意ください。

# トラブルシューティング

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、お買上げの店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 電源 | **電源が入らない。** | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 22 |
| | | バッテリーパックが正しく装着されていない。 | バッテリーパックを正しく装着し直す。 | 23 |
| | **途中で電源が切れる。** | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 22 |
| | | 撮影一時停止状態が5分以上続いた。 | もう一度電源を入れる。 | 53 |
| | **ビューファインダーがついたり消えたりをくり返す。** | バッテリーパックが消耗している。 | 十分に充電したバッテリーパックと交換する。 | 22 |
| 撮影時・再生時 | **操作ボタンを押しても動かない。** | 電源が入っていない。 | 電源を入れる。 | 52, 105 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 34 |
| | **電源ランプが点滅しビューファインダーに“ ”が点滅する。** | ビデオカメラの内部に水滴が付いた。 | 結露の項目をご覧ください。 | 148 |
| | **電源ランプが点滅しビューファインダーに“カセットを取り出してください”が点滅する。** | 保護機能が働いている。 | カセットを一度取り出して、入れ直す。 | 34 |
| | **リモコンが動作しない。** | メニューでリモコンセンサーを「切」にしてある（ビューファインダーに「 」が出ている）。 | メニューでリモコンセンサーを「入」にする。 | 39, 42 |
| | | リモコンの電池が消耗した。 | 新しい電池と交換する。 | 33 |

| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 撮影時 | **ビューファインダーに映像が映らない。** | メインダイヤルがカメラモードになっていない。 | メインダイヤルをカメラモードにする。 | 52 |
| | **ビューファインダーが点灯しない。** | 長時間使用しないで放置した後で起こることがあり、故障ではありません。 | 電源を再度入れてください。 | 52 |
| | **「エリア／日時を設定してください」が表示される。** | 世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、ボタン型リチウム電池が入っていないか消耗している。 | 世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいボタン型リチウム電池CR2025と交換する。 | 32, 47, 50 |
| | **スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。** | 電源が入っていない。 | メインダイヤルをカメラモードにする。 | 52 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 34 |
| | | メインダイヤルがVCRになっている。 | メインダイヤルをカメラモードにする。 | 52 |
| | | ハンドルのロックレバーがロックになっている。 | 左にスライドさせ、ロックを解除する。 | 52 |
| | **ピントが合わない。** | ピントの自動調整が苦手な被写体である。 | マニュアルでピントを合わせる。 | 60 |
| | | ビューファインダーの視度が合っていない。 | 視度調整ダイヤルで画像がはっきり見えるように調整する。 | 28 |
| | | 「EYE POINT SELECT」スイッチが正しく設定されていない。 | 「FAR」と「NEAR」を正しく設定する。 | 27 |
| | | レンズが汚れている。 | 最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーで拭くのはなるべく避けてください。） | 143 |
| | **録画ランプが点滅しない。** | メニューで録画ランプ「切」を選んだ。 | メニューで録画ランプを「入」にする。 | 39 |
| | **キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に白い帯が出る。** | CCDのスミア現象で故障ではありません。 | Avモードで、F5.6～F11で撮影してください。 | 76 |
| | **ビューファインダーの画像がはっきりしない。** | 視度調整ダイヤルで調整していない。 | 視度調整ダイヤルで調整する。 | 28 |

| | こんなときには | 考えられる原因 | どうするの？ | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| 再生時 | **再生ボタンを押しても再生しない。** | 電源が入っていない、またはVCR以外になっている。 | メインダイヤルを「VCR」にする。 | 105 |
| | | カセットが入っていない。 | カセットを入れる。 | 34 |
| | **テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。** | ビデオヘッドが汚れている。 | 市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。 | 143 |
| | | コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。 | 再生またはダビング録画を中止してください。 | 121, 124 |
| | | 2倍録画モード、3倍録画モードで記録したテープを再生しようとしている。 | 再生できません。 | |
| その他 | **手ぶれ補正機能付きレンズ使用時：レンズ内部に気泡ができる。** | ごくまれに飛行機や高い山などでは、レンズ内部に気泡が発生することがありますが、故障ではありません。気泡は、通常約1週間程度で消えますが、気圧や使用状況により変わります。 | | |

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズ、静電気などにより、ビューファインダーに通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびボタン型リチウム電池をいったん取り外し、しばらくしてから取り付け直して、操作をしてください。

## 液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

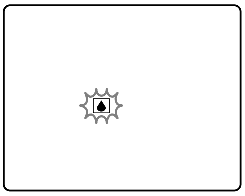
## 低照度下での撮影について

低照度下で、スローシャッターやゲインを上げて撮影しているときに、CCDの構造上白く輝く点が見えることがあります。
このような場合は、シャッタースピードを速くするか、ゲインを下げる、またはビデオライトなどの補助光を使用して撮影してください。

# トラブルシューティング…つづき

### 結露について
夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

### 結露したときは？
電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。ビューファインダーに「結露しています」が約4秒間表示され、 が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、 が点滅します。

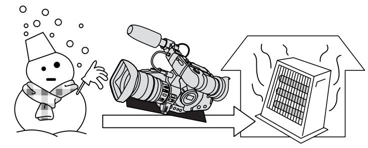


● カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチと取出しボタンのみ働きます）。結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

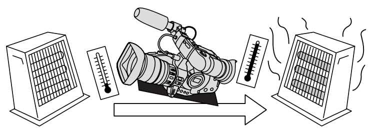
### 結露を防ぐためには
● 温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

### 使い始めるには
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、ビューファインダーのや電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

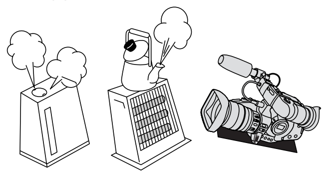
## こんなときにはご注意
● 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



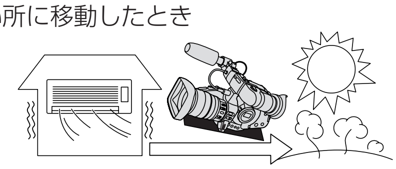
● 寒い部屋を急に暖房したとき



● 湿度の高い部屋の中



● 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



# 海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

## テレビでの再生

● 録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



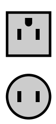
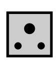
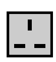
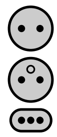
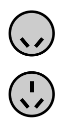
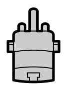
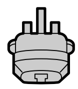
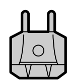
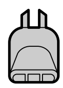
- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバコ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●ヴァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

## バッテリーパックの充電

コンパクトパワーアダプターCA-910/CA-920は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国／地域では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

## ■海外の電源コンセントの種類

| タイプ | A | B | BF | C | S |
|---|---|---|---|---|---|
| コンセントの形状 |  |  |  |  |  |
| 変換プラグ | 不要です |  |  |  |  |

## 主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

| ●北米 | |
|---|---|
| アメリカ合衆国 | A |
| カナダ | A |

| ●ヨーロッパ | |
|---|---|
| アイスランド | C |
| アイルランド | C |
| イギリス | B. BF |
| イタリア | C |
| オーストリア | C |
| オランダ | C |
| ギリシャ | C |
| スイス | C |
| スウェーデン | C |
| スペイン | A. C |
| デンマーク | C |
| ドイツ | C |
| ノルウェー | C |
| ハンガリー | C |
| フィンランド | C |
| フランス | C |
| ベルギー | C |
| ポーランド | B. C |
| ポルトガル | B. C |
| ルーマニア | C |

| ●アジア | |
|---|---|
| インド | B. C. BF |
| インドネシア | C |
| シンガポール | B. BF |
| スリランカ | B. C. BF |
| タイ | A. BF. C |
| 大韓民国 | A. C |
| 中華人民共和国 | A. B. BF. C. S |
| ネパール | C |
| パキスタン | B. C |
| バングラディシュ | C |
| フィリピン | A. BF. S |
| ベトナム | A. C |
| 香港特別行政区 | B. BF |
| マカオ特別行政区 | B. C |
| マレーシア | B. BF. C |

| ●オセアニア | |
|---|---|
| オーストラリア | S |
| グアム | A |
| タヒチ | C |
| トンガ | S |
| ニュージーランド | S |
| フィジー | S |

| ●中南米 | |
|---|---|
| アルゼンチン | BF. C. S |
| コロンビア | A |
| ジャマイカ | A |
| チリ | B. C |
| ハイチ | A |
| パナマ | A |
| バハマ | A |
| プエルトルコ | A |
| ブラジル | A. C |
| ベネズエラ | A |
| ペルー | A. C |
| メキシコ | A |

| ●中近東 | |
|---|---|
| イスラエル | C |
| イラン | C |
| クウェート | B. C |
| ヨルダン | B. BF |

| ●アフリカ | |
|---|---|
| アルジェリア | A. B.BF. C |
| エジプト | B. BF. C |
| カナリア諸島 | C |
| ギニア | C |
| ケニア | B. C |
| ザンビア | B. BF |
| タンザニア | B. BF |
| 南アフリカ共和国 | B. C. BF |
| モザンビーク | C |
| モロッコ | C |

# 保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

## 保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

### 修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

### 補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

### 修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

# 主な仕様（型式：XL1S）

## システム

| | |
|---|---|
| 録画方式： | 回転2ヘッドヘリカルスキャン<br>DV方式（民生用デジタルVCR　SD方式） |
| 映像記録方式： | デジタルコンポーネント記録 |
| 音声記録方式： | PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch)<br>12bit (32kHz/4ch) |
| 信号方式： | NTSC方式準拠 |
| 使用可能ビデオカセット： | マークの付いたミニDVカセット |
| テープ速度： | 約18.81mm／秒　（SPモード時）<br>約12.56mm／秒　（LPモード時） |
| 録画／再生時間： | 80分（80分テープ使用時／SPモード時）<br>120分（120分テープ使用時／LPモード時） |
| 早送り／巻戻し時間： | 約2分20秒（60分テープ使用時） |
| 撮像素子： | 1／3インチCCD×3（画素ずらし方式）、<br>総画素数27万画素、有効画素数25万画素 |
| ビューファインダー： | カラー液晶ビューファインダー<br>（0.7型、約18万画素、RGBデルタ配列） |
| マイク： | MS方式ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク |
| レンズマウント： | XLマウントシステム準拠 |
| 焦点調整： | TTL TV-AF方式、フォーカスリングによる手動調節可<br>（XL 5.5−88mm ISⅡ装着時） |
| 色温度切り換え： | 自動追尾型WB、セット、プリセット機能付き |
| 最低被写体照度： | 2ルクス（XL 5.5−88mm ISⅡ装着時、デジタルスローシャッター1／8秒時） |
| 推奨被写体照度： | 100ルクス以上 |
| 被写体照度範囲： | 2−10万ルクス |

## 入・出力端子（レベル／インピーダンス）

| | |
|---|---|
| S映像入出力端子： | 4ピンミニDIN<br>輝度信号：1Vp-p／75Ω<br>色信号：0.286Vp-p／75Ω |
| 映像入出力端子： | RCAピンジャック<br>1Vp-p／75Ω　不平衡、同期負 |
| 音声出力端子： | RCAピンジャック（L、R）、2系統<br>4dBm（47kΩ負荷時、フルスケール）／3kΩ以下、不平衡 |
| 音声入力端子： | RCAピンジャック（L、R）、2系統<br>−11dBV／47kΩ LINE、不平衡<br>−35dBV／600Ω マイクATT、不平衡<br>−55dBV／600Ω マイク、不平衡 |
| DV入出力端子： | マルチコネクター、IEEE1394準拠 |
| マイク入力端子： | φ3.5mmステレオミニジャック<br>−59dBV（600Ωマイク使用時）／600Ω |
| ヘッドホン端子： | φ3.5mmステレオミニジャック<br>−25dBV（16Ω負荷時）／120Ω |
| LANC　リモート端子： | φ2.5mmステレオミニミニジャック |

## 電源／その他

| | |
|---|---|
| 電源電圧： | DC7.2V（公称） |
| 消費電力： | 約8.7W（録画中・AF合焦時、XL 5.5−88mm ISⅡ装着時） |
| 動作温度： | 0℃−+40℃ |
| 外形寸法： | 約233（幅）×214（高さ）×415（奥行）mm |
| 撮影時総質量： | 約2,860g　（XL 5.5−88mm ISⅡ、レンズフード、<br>ショルダーパッドSP-100、バッテリーパックBP-930、ボタン型リチウム電池、<br>ビデオカセット30分用含む） |
| 本体質量： | 約1,700g |

## コンパクトパワーアダプター　CA-920

### おもな仕様

| | |
|---|---|
| 電源 | AC 100-240V、50/60Hz |
| 出力電力／消費電力 | アダプターモード時　公称DC7.2V、2.0A |
| | 35VA(AC 100V)〜47VA(AC 240V) |
| | チャージモード時　公称DC8.4V、1.5A |
| | 29VA(AC 100V)〜40VA(AC 240V) |
| 使用温度 | 0℃〜+40℃ |
| 外形寸法（幅×高さ×奥行き） | 約75×51×99mm |
| 本体質量 | 約215g |

# 索 引

## ア行



## カ行



## サ行



## タ行



## ハ行



## マ行



## ラ行



## ワ行



## その他

# メニュー索引

操作からメニューが探せます。

| ア行 | サブメニュー | カメラモード | VTRモード |
|---|---|---|---|
| インターバルタイマーを使う | → VCR設定 | ○ | |
| エリア／サマータイムを設定する | → システム設定 | ○ | |
| オーディオモード（12bit ST-1/12bit ST-1,2/16bit）を変える | → VCR設定 | ○ | ○ |
| オンスクリーンを入／切する | → 表示設定 | ○ | |
| **カ行** | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| カスタムキー／日時表示のガイド表示を入／切する | → 表示設定 | ○ | |
| カスタムキー1の機能を設定する | → カスタムキー設定 | ○ | ○ |
| カスタムキー2の機能を設定する | → カスタムキー設定 | ○ | ○ |
| カスタムキーの設定表示を入／切する | → 表示設定 | | ○ |
| カスタムプリセットの番号を選ぶ | → カスタムプリセット | ○ | |
| カラーゲインを調整する | → カスタムプリセット | ○ | |
| クリアスキャンの周波数を変える | → カメラ設定 | ○ | |
| グリップにあるズームのスピードを変える | → カメラ設定 | ○ | |
| **サ行** | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| 再生時の文字表示を入／切する | → 表示設定 | | ○ |
| 撮影一時停止5分後（シャットオフ／VCRストップ）を選ぶ | → VCR設定 | ○ | |
| 色相を変える | → カスタムプリセット | ○ | |
| シャープネスを変える | → カスタムプリセット | ○ | |
| セットアップレベルを変える | → カスタムプリセット | ○ | |
| ゼブラパターンの表示レベルを変える | → カメラ設定 | ○ | |
| ゼブラパターンを入／切する | → カメラ設定 | ○ | |
| **タ行** | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| データコードの日時の表示を選ぶ | → 表示設定 | | ○ |
| データコードの表示内容を選ぶ | → 表示設定 | | ○ |
| 動画モードの設定（ノーマル／フレームを変える） | → カメラ設定 | ○ | |
| **ナ行** | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| 日時を設定する | → システム設定 | ○ | |
| 日時（データコードで表示する）を選ぶ | → 表示設定 | | ○ |

その他

# メニュー索引…つづき

| ハ行 | | サブメニュー | カメラモード | VTRモード |
|---|---|---|---|---|
| ハンドルにあるズームのスピードを変える | → | カメラ設定 | ○ | |
| 日付の自動表示を入／切する | → | 表示設定 | | ○ |
| ビューファインダーのカラー調整をする | → | 表示設定 | ○ | ○ |
| ビューファインダーに出ている文字を記録するかどうかを選ぶ | → | システム設定 | ○ | |
| **マ行** | | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| ミックス選択（ST-1とST-2の音声バランス）を選ぶ | → | VCR設定 | | ○ |
| **ラ行** | | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| リモコンを使うかどうかを選ぶ | → | システム設定 | ○ | ○ |
| 録画モード（SP／LP）を変える | → | VCR設定 | ○ | ○ |
| 録画ランプを入／切する | → | システム設定 | ○ | |
| **その他** | | **サブメニュー** | **カメラモード** | **VTRモード** |
| 16：9を使う | → | カメラ設定 | ○ | |
| 16：9のエリアマーカー表示を入／切する | → | 表示設定 | ○ | |
| AUDIO1端子の入力レベル（MIC／MIC ATT20／LINE）を選ぶ | → | VCR設定 | ○ | ○ |
| AUDIO2端子の入力レベル（MIC／MIC ATT20／LINE）を選ぶ | → | VCR設定 | ○ | ○ |
| DVコントロールするかどうかを選ぶ | → | システム設定 | ○ | |
| OUTPUT CH（音声出力の組み合わせ）を選ぶ | → | VCR設定 | | ○ |

**キヤノン株式会社**
**キヤノン販売株式会社**

〒108-8011　東京都港区港南2－16－6

## 製品の取り扱い方法、および修理に関する相談窓口

| 製品名 | お問い合わせ |
|---|---|
| XL1S | **キヤノン販売　お客様相談センター** |

**（全国共通番号）　0570-01-9000　該当番号 66**

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日　10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルビデオカメラの該当番号＜66＞をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。なお、PHS・海外からの電話をご使用の方は、03-3455-9353をご利用ください。

※ 音声対応システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 電話回線の状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。
その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

この使用説明書は70%再生紙を使用しています。


PUB. DIJ-108A
DY8-9010-066-001
PRINTED IN JAPAN